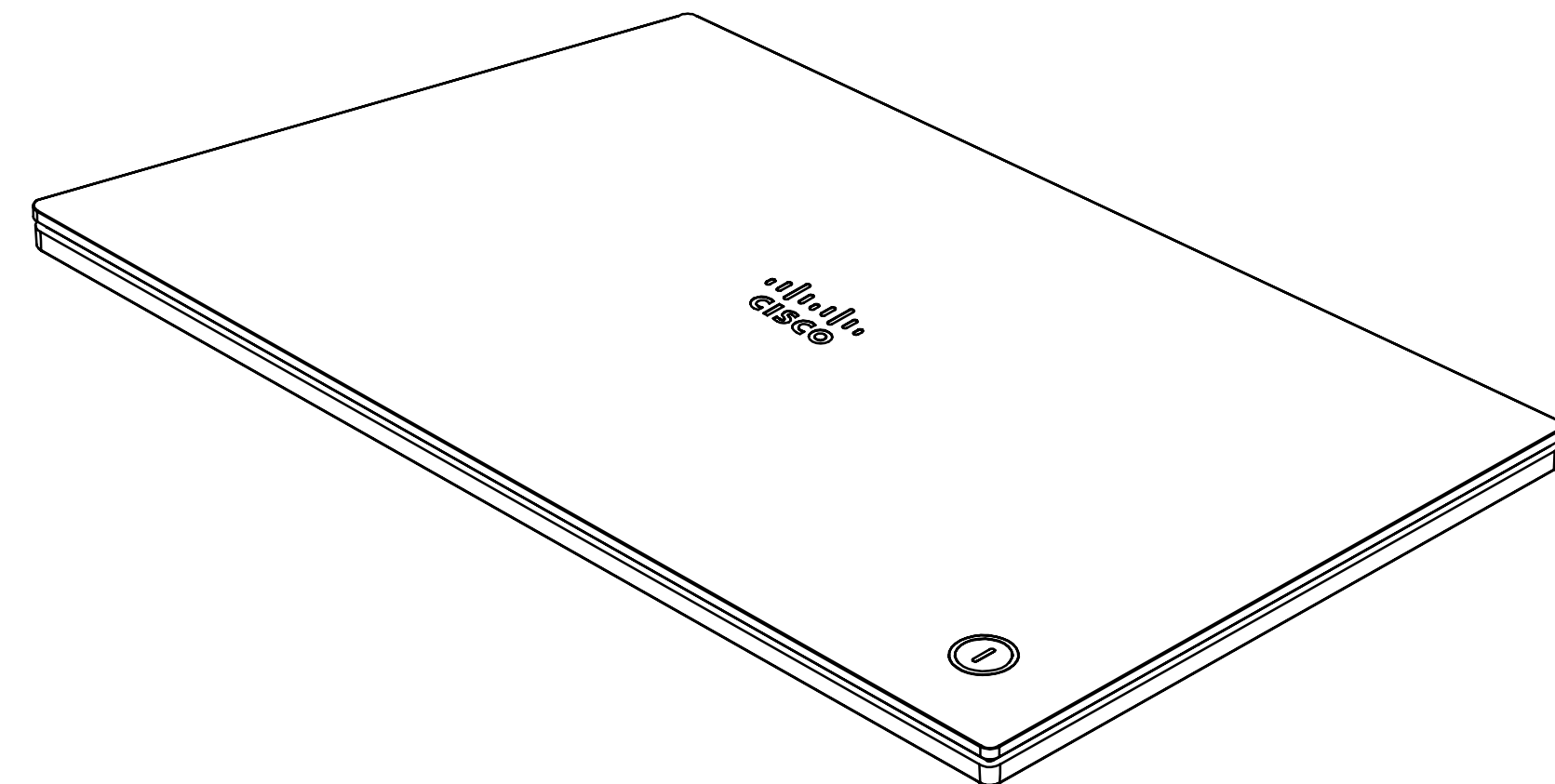
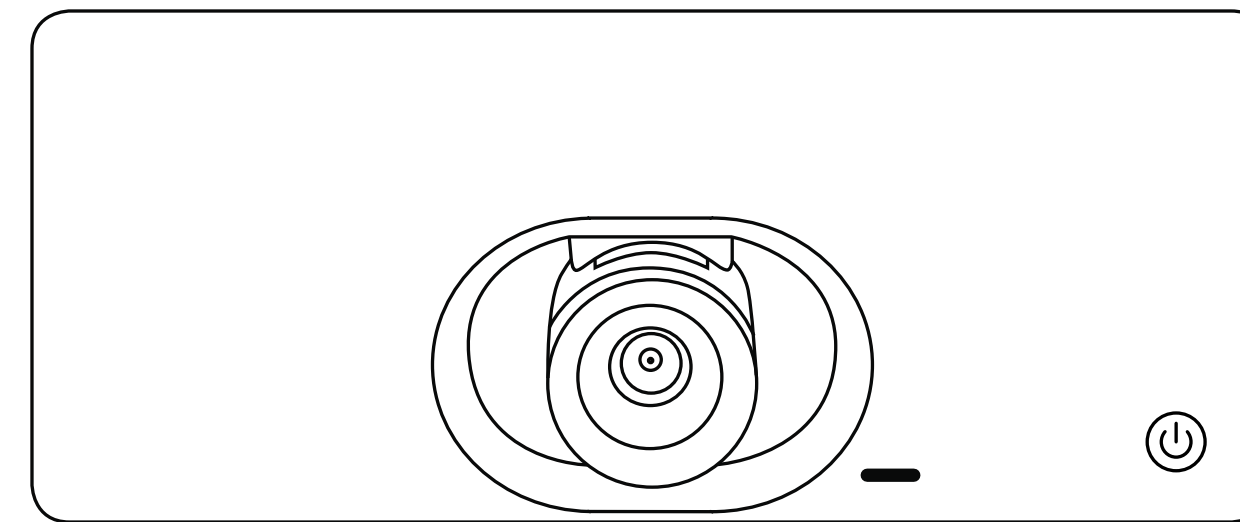


CE 9.1 Cisco TelePresence ユーザ ガイド SX10、SX20



目次

このユーザ ガイドの内容

ビデオ会議:概要	
ベスト プラクティス	4
その他のヒント	4
タッチ スクリーンの説明.....	5
操作ヒント	5
リモート コントロールの説明 (I)	6
操作ヒント.....	6
リモート コントロールの説明 (II)	7
操作ヒント	7
ビデオ通話	
連絡先リストから発信する	9
連絡先リストについて	9
[連絡先 (Contacts)] リストのエントリを編集して発信する.....	10
エントリの編集について	10
帯域を編集して発信する	11
帯域について.....	11
名前、電話番号、または IP アドレスを使用して発信する.....	12
発信について.....	12
既存の通話に参加者を追加する	13
ビデオ会議について	13
会議から参加者を切断する	14
ビデオ会議について	14
着信	15
着信があった場合	15
通話中に追加の着信を受ける	16
通話の拡張.....	16
対応中の通話を転送する.....	17
通話転送について.....	17
スクリーンのレイアウトの変更	18
レイアウトについて	18
[応答不可 (Do Not Disturb)] を有効にする	19
応答不可について.....	19
[スタンバイ (Standby)] を有効にする	20
スタンバイについて	20

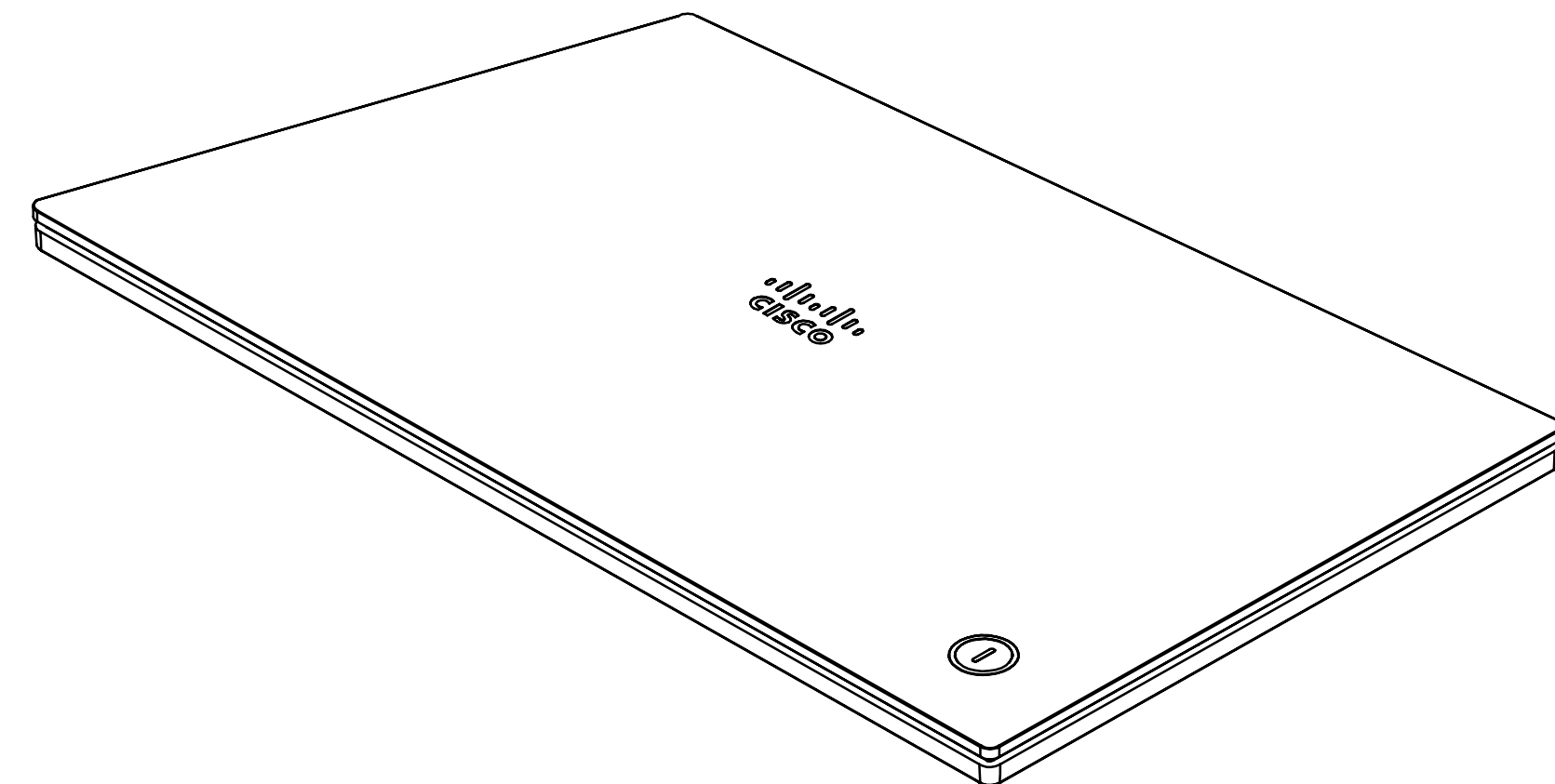
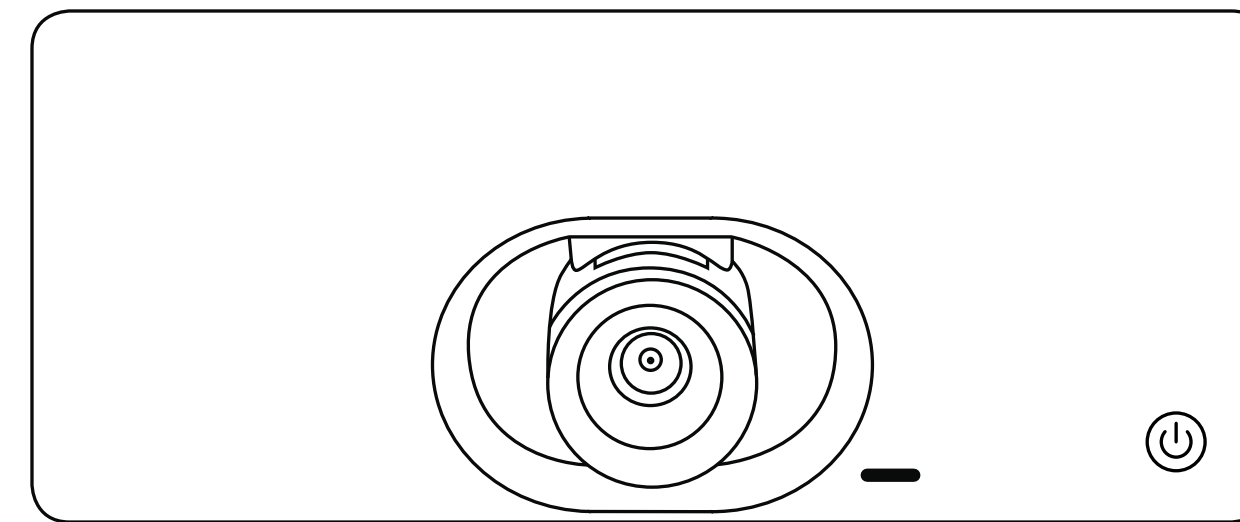
すべての通話を転送する	21
転送について.....	21
Intelligent Proximity	
Intelligent Proximity のアクティブ化.....	23
プロキシミティについて	23
コンテンツ共有	
プレゼンテーションの開始と中止.....	25
コンテンツの共有について.....	25
通話中にプレゼンテーション レイアウトを変更する	26
プレゼンテーション レイアウトについて.....	26
予定された会議	
予定された会議に参加する	28
会議への参加	28
連絡先	
非通話時に [お気に入り (Favorite)] に追加する	30
[ディレクトリ (Directory)]、[発信履歴 (Recents)]、 [お気に入り (Favorites)] について	30
通話中に [お気に入り (Favorite)] に追加する	31
お気に入りについて	31
カメラ制御	
カメラ設定を表示する (ローカル カメラ)	33
カメラ設定について	33
相手先カメラ制御	34
相手先カメラ制御について	34
自画面 PiP の移動	35
自画面を移動する理由	35
設定	
設定にアクセスするには.....	37
設定について.....	37

目次の各行はすべてアクティブなハイパーリンクになっており、対応する項目に移動できます。

サイドバーのアイコンをクリックして章を移動することもできます。

注: このユーザ ガイドで説明する機能の一部はオプションです。システムによっては該当しない場合もあります。

ビデオ会議： 概要



ベスト プラクティス

- 効果的なビデオ会議では、出席者の距離がどれだけ離れていても、対面式の会議を行えます。ビデオ会議であっても、会議であることには変わりありません。通常のマナーや、服装を心がけるようにしてください。
- 必要に応じて、リハーサルや確認を行ってください。
- マイクの前方には、物などを置かないようにしてください。
- テーブルにコンピュータなどのノイズ源を置く場合は、必ず本体のマイクから離してください。これらのノイズ源からの雑音は、遠隔地の出席者には、予想以上に大きく聞こえます。
- 遠隔地からの出席者について、バックグラウンド音楽に注意してください。カメラに部屋の外の廊下が映り込むと、人が通る際にリモート出席者の注意が散漫することがあります。柄の目立つカーテンや、風によるカーテンの動きなども、集中を妨げる場合があります。
- コンテンツを共有する場合、システムは 2 本のビデオ ストリームを使用します (デュオ ビデオ)。1 本はプレゼンテーション用、もう 1 本はプレゼンター (またはプレゼンター グループ) 用です。小規模のシステムの場合、プレゼンテーションとプレゼンターのどちらを表示するかを視聴者が選択する必要があるかもしれません。
- デュオ ビデオの場合、注意が必要な点があります。一部のビデオ システムのデュオ ビデオは、画面を半分に分けて、プレゼンテーションとプレゼンターを横に並べて表示します。このため、プレゼンテーションに背を向けて座っているように見えないよう、カメラをまっすぐ見るようにしてください。

その他のヒント

カメラのプリセットを使用する

Cisco TelePresence システムでは、ズームおよびカメラの向き (パンとチルト) を事前定義できます。必要であれば、これらを使用し、発表者にズームします。後からズーム アウトすることを忘れないでください。

スピーカーの音量

オーディオ システムでは、モニタに内蔵されたスピーカーか、Cisco Digital Natural Audio Module を使用します。システムによっては、モニタのリモートを使用してボリュームを調整し、デフォルトのボリュームを設定できます。

明るさのコントロール

モニタの明るさや色などの設定を調整するには、モニタのリモート コントロールを使用してください。会議室の条件に合わせて、モニタを調整してください。シスコのモニタには、非常に簡単に使用できる、画面上のメニューがあります。各モニタの設定方法については、該当するユーザ ガイドと管理マニュアルを参照してください。

はじめに タッチ スクリーンの説明

操作ヒント

画面の左上には、[スタンバイ (Standby)] モード、[システム情報 (System information)]、[応答不可 (Do Not Disturb)] の各機能にアクセスできる設定アイコンがあります。

このシステムでプロキシミティを使用できる場合、[設定 (Settings)] ボタンの右にアイコンが表示されます (この機能の詳細については、ページ右側の説明を参照)。

ディスプレイの右上には、カメラ コントロール メニューアイコンがあります。

ディスプレイの下よりの左には [発信 (Call)] ボタンがあります。

ディスプレイの下よりの右には [コンテンツ共有 (Share)] ボタンがあります。

システムにメッセージング システムがあれば、ここからメッセージにアクセスできます。

画面上を移動するには、リモート コントロールにある方向キーを使用します。選択したメニュー フィールドを開くには、OK/Enter を押します。

変更を実行せずにメニューを終了するには、キャンセルキーを使用します ([ホーム (Home)] 画面に戻ります)。

戻るキーを使用して 1 つ前のステップに戻ります。

リモート コントロールのボタンについては、次のページで説明します。

Intelligent Proximity機能を使用すれば、手元の端末でワイヤレスにビデオ システムのコンテンツを共有、表示、キャプチャできます。またビデオ システムの通話を制御することもできます。

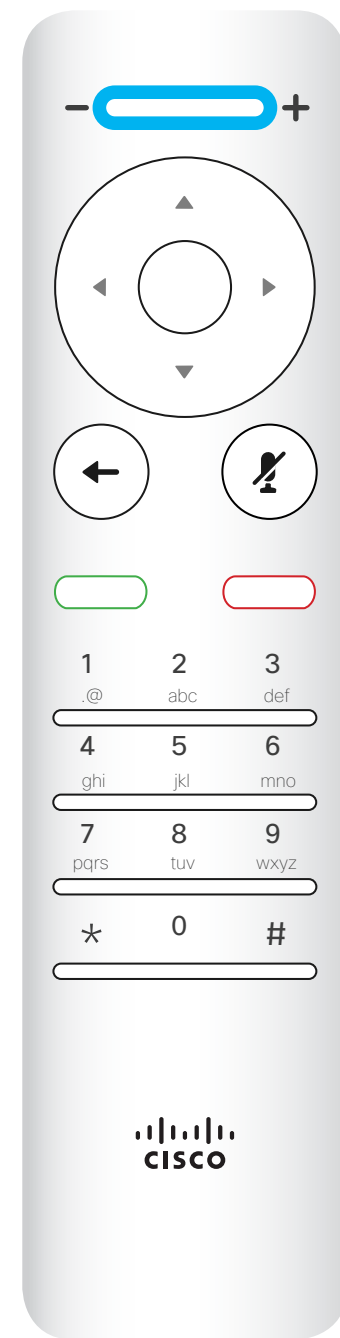
[「Intelligent Proximity」、22 ページ](#) も参照してください。

ヒント: [応答不可 (Do Not Disturb)] に設定すると、着信音はミュートになり、他者からの着信は不在着信として表示されます。ただし、こちらからは必要時にいつでも発信することができます。

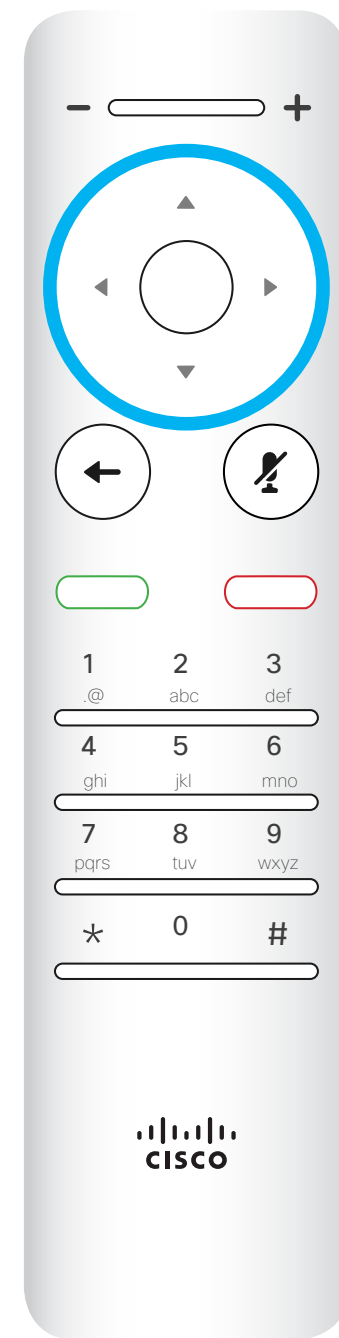
デフォルトでは、[応答不可 (Do Not Disturb)] には 60 分のタイムアウトがあります (その後、システムは通常動作に戻ります) が、ビデオ サポート チームによって異なる設定に変更されている場合があります。

はじめに
リモート コントロールの説明 (I)

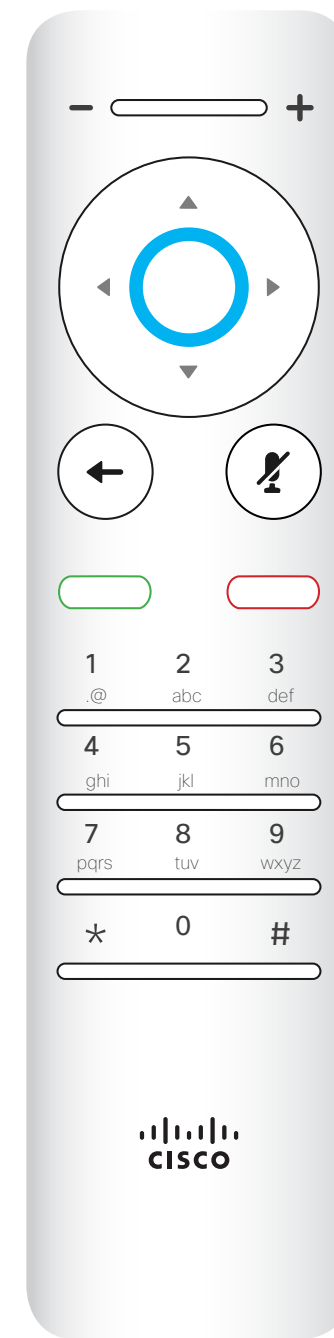
操作ヒント



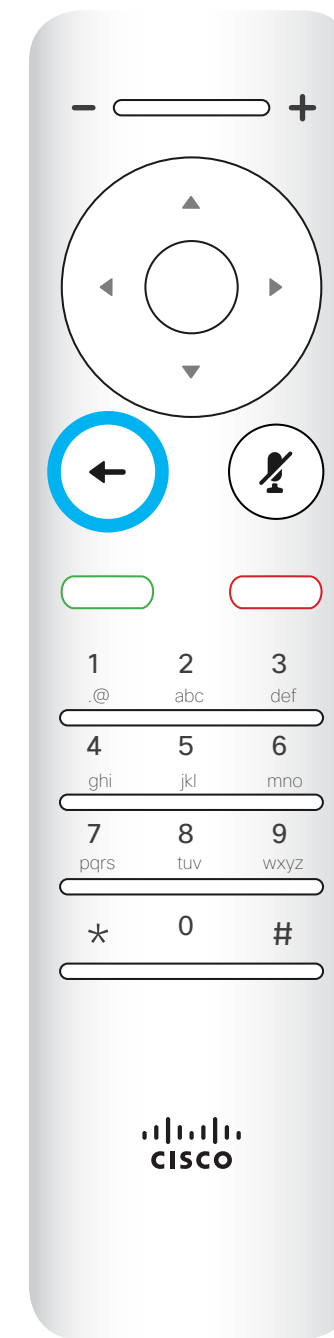
一番上のボタンの左側を押すと、音量が下がります (減)。
一番上のボタンの右側を押すと、音量が上がります (増)。



フィールド選択/方向キーを操作するには、円形部分の周囲にあるキーを使用します (左/右/上/下)。



OK/Enterは中央の円形キーを使用します。



1 つ前のステップに戻る操作は左側の円形キーを使用します。

画面の中を移動するには、方向キーを使用します。選択したメニュー フィールドを開くには、OK や Enter を押します。

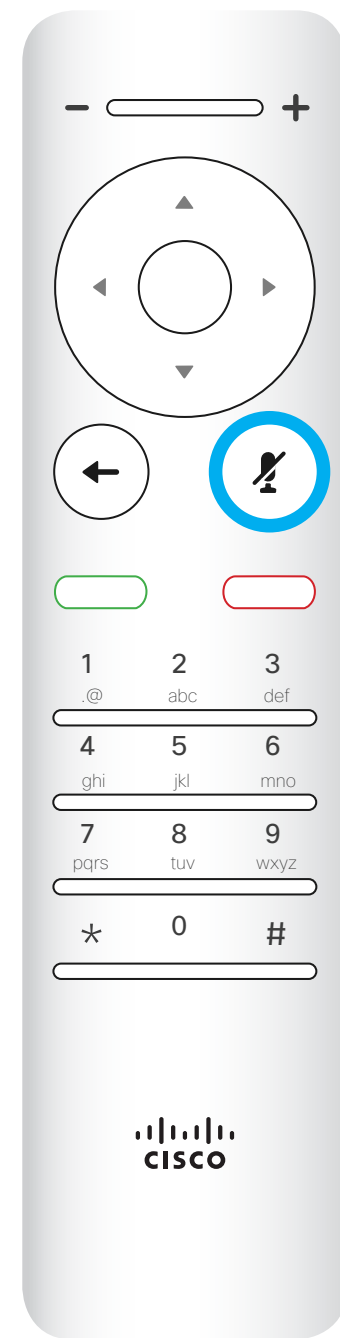
変更を実行せずにメニューを終了するには、キャンセルキーを使用します ([ホーム (Home)]画面に戻ります)。
戻るキーを使用して 1 つ前のステップに戻ります。

はじめに リモート コントロールの説明 (II)

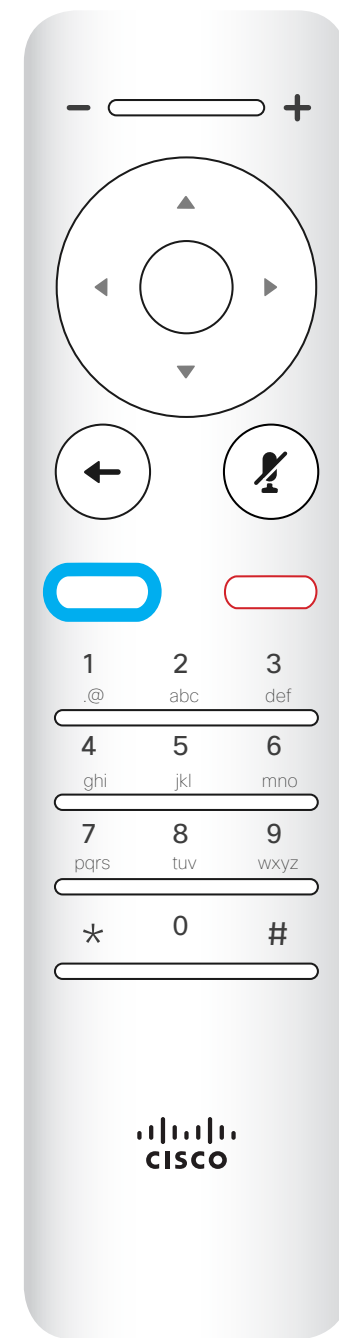
操作ヒント

画面の中を移動するには、方向キーを使用します。選択したメニュー フィールドを開くには、OK や Enter を押します。

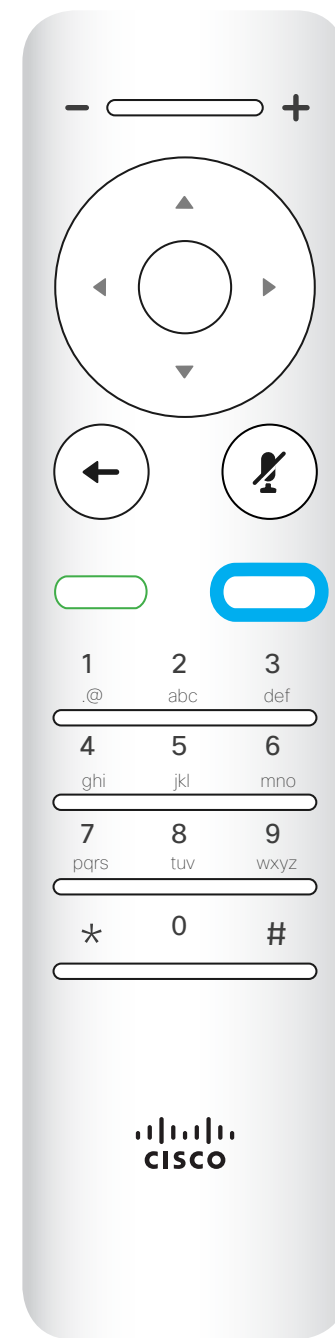
変更を実行せずにメニューを終了するには、キャンセルキーを使用します ([ホーム (Home)]画面に戻ります)。戻るキーを使用して 1 つ前のステップに戻ります。



マイクのみュート/のみュート解除は右側の円形キーを使用します。



戻るキーの下にある緑色のキーは、発信/着信通話ボタンです。

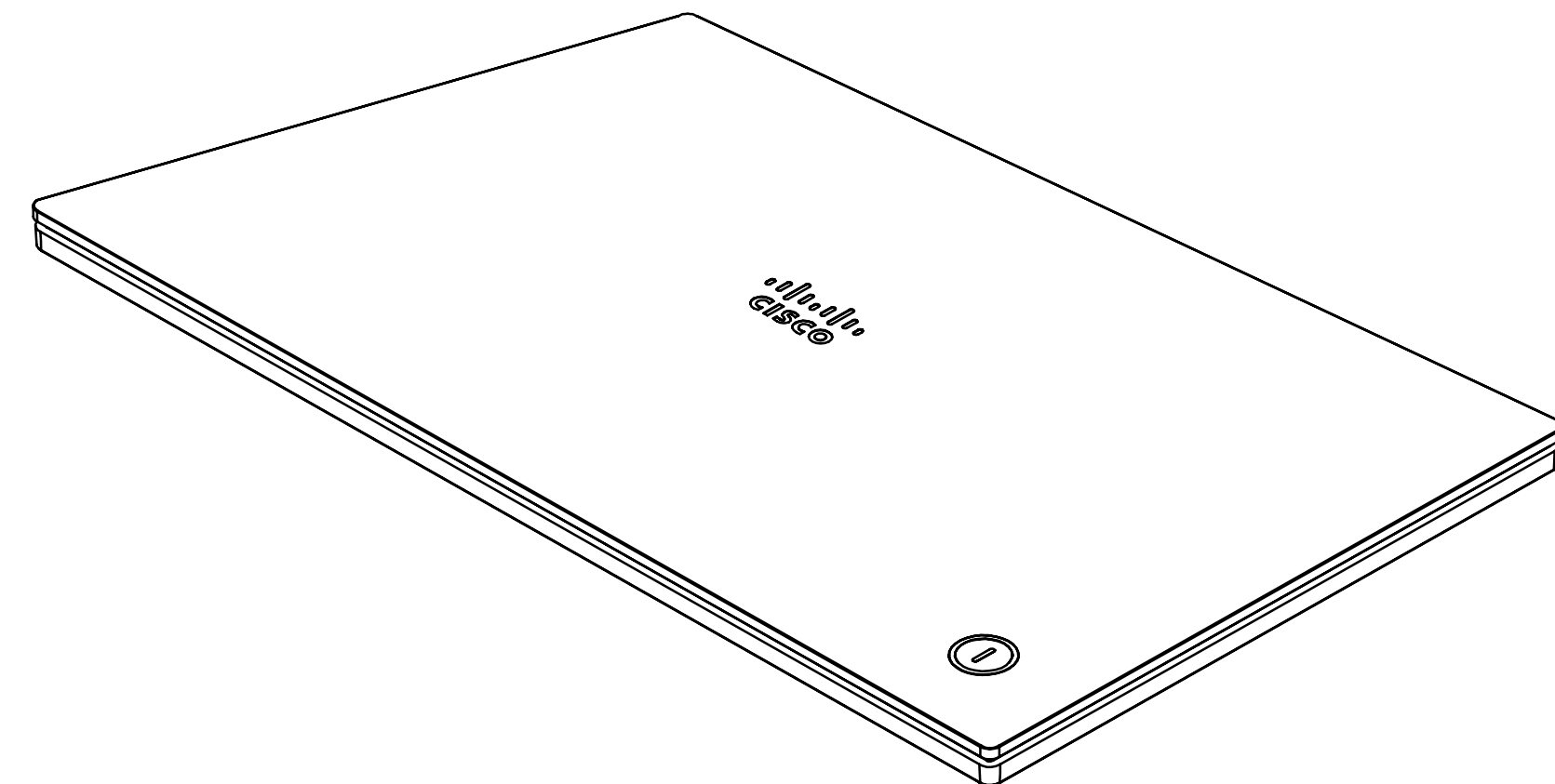
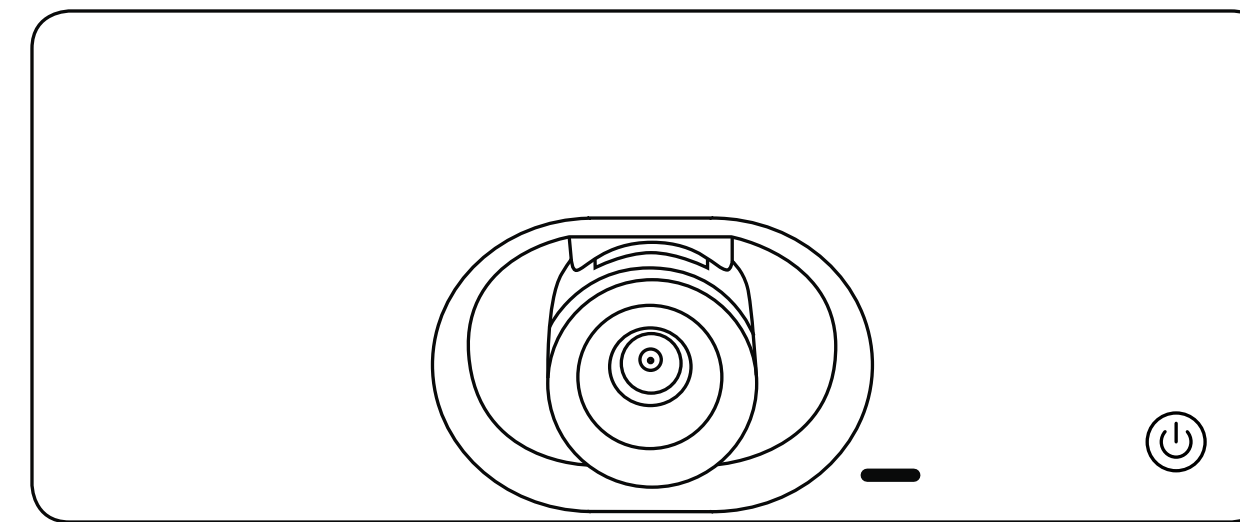


ミュート キーの下にあるキーは、着信拒否/通話終了/キャンセル/ホーム画面に戻る (外部発信) ボタンです。



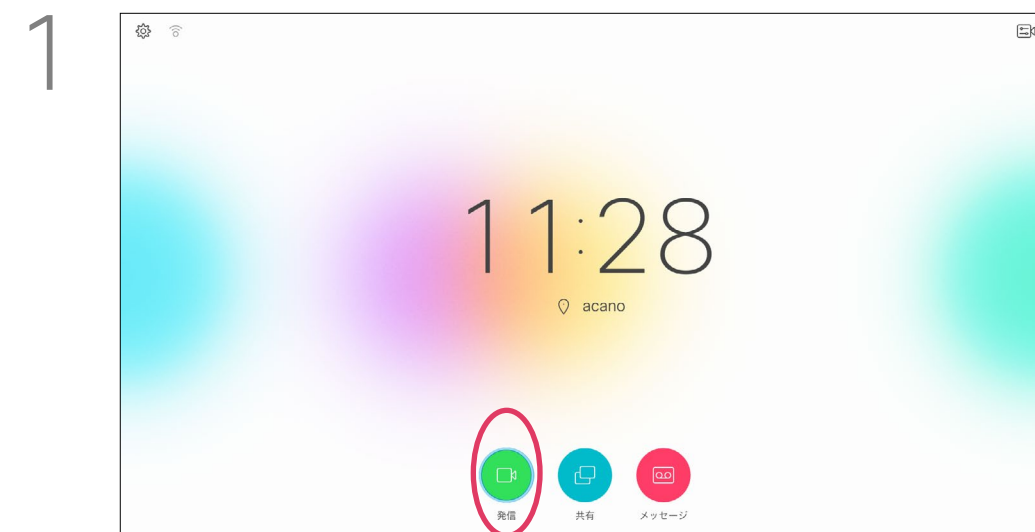
キーパッドは、電話をダイヤルするときや数字を入力するときに使用します。キーがわかるように、数字の 5 のところに突起があります。

ビデオ 通話

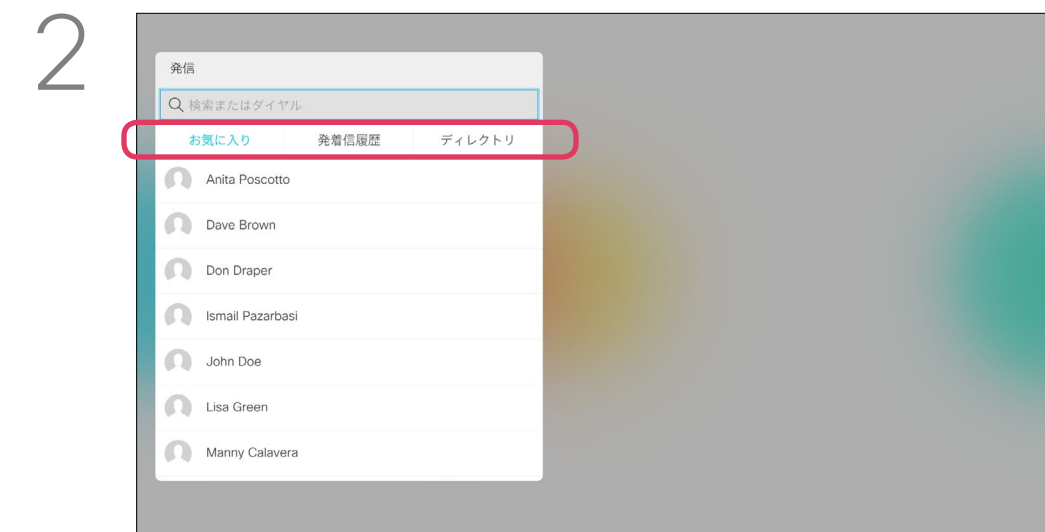


ビデオ通話 連絡先リストから発信する

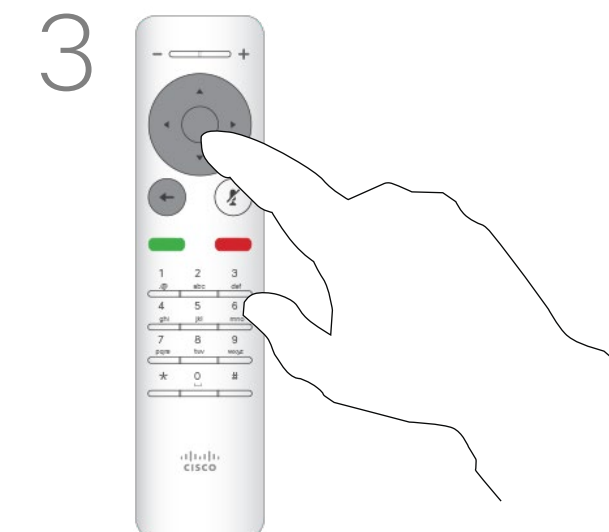
連絡先リストについて



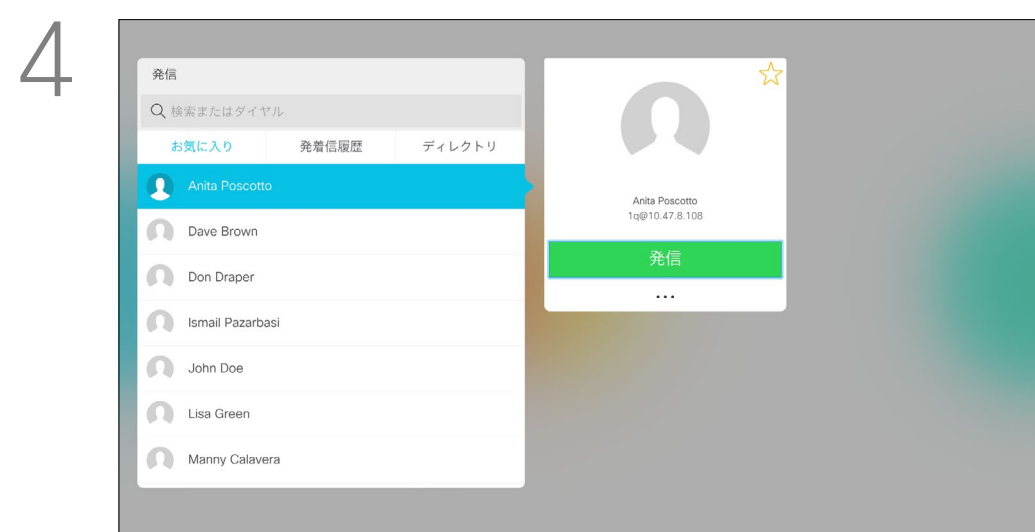
1 [発信 (Call)] (画面の下部に並んでいる一番左のアイコン) を選択し、リモートコントロールの OK を押すか、リモート コントロールの緑色の発信ボタンを押します。



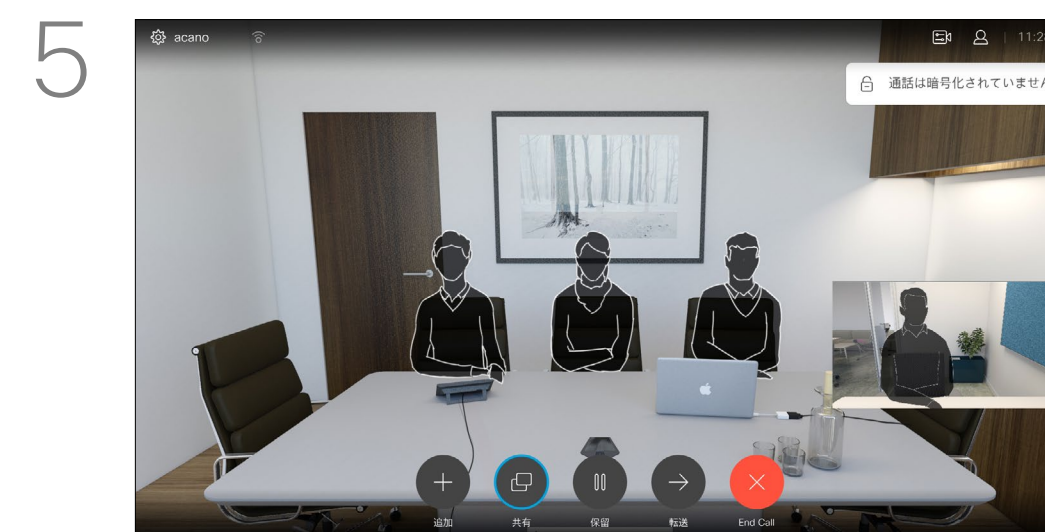
2 連絡先リストが表示されます。リモートコントロールの方向キーを使用すると、[お気に入り (Favorites)]、[発信履歴 (Recents)]、[ディレクトリ (Directory)] を切り替え (横方向)、いずれかのリストを選択できます。



3 特定のエントリが見つかったら、リモートコントロールの OK を押して、[発信 (Call)] メニューを開きます。



4 次に、リモート コントロールの OK または緑色の発信ボタンを押して発信します。



5 リモート コントロールの赤い通話終了ボタンを押すか、方向キーを使用して画面上の [終了 (End)] を選択し、OK を押して通話を終了します。

連絡先リストは、次の 3 つの部分で構成されています。

[お気に入り (Favorites)] の連絡先は自分で設定します。通常は、頻繁に通話する相手や、すばやく簡単に連絡を取りたい相手を指定します。

[ディレクトリ (Directory)] は通常、ビデオ サポート チームがシステムにインストールした社内ディレクトリです。

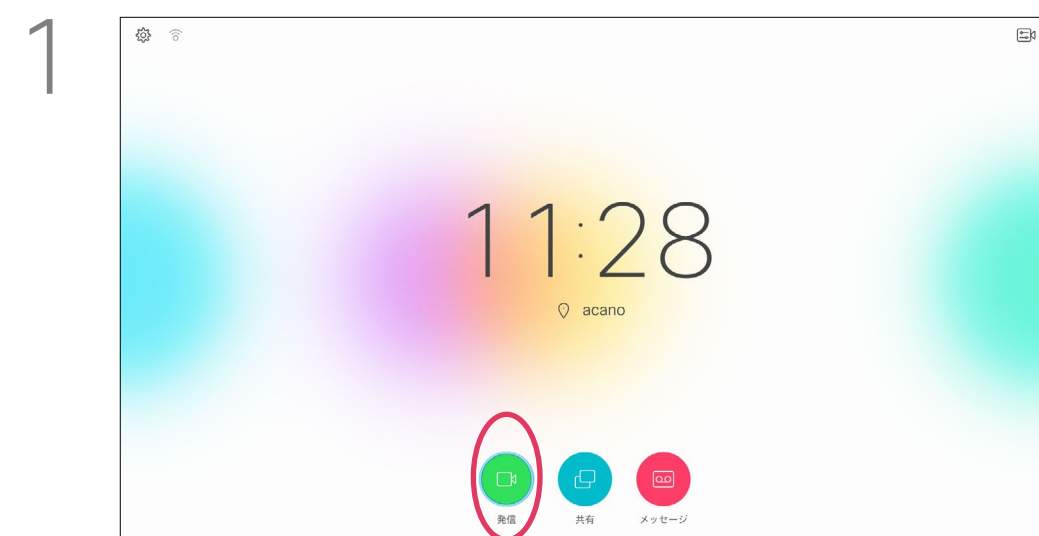
[発信履歴 (Recents)] は、発信、受信、不在着信のリストです。

次のオプションが適用されます。

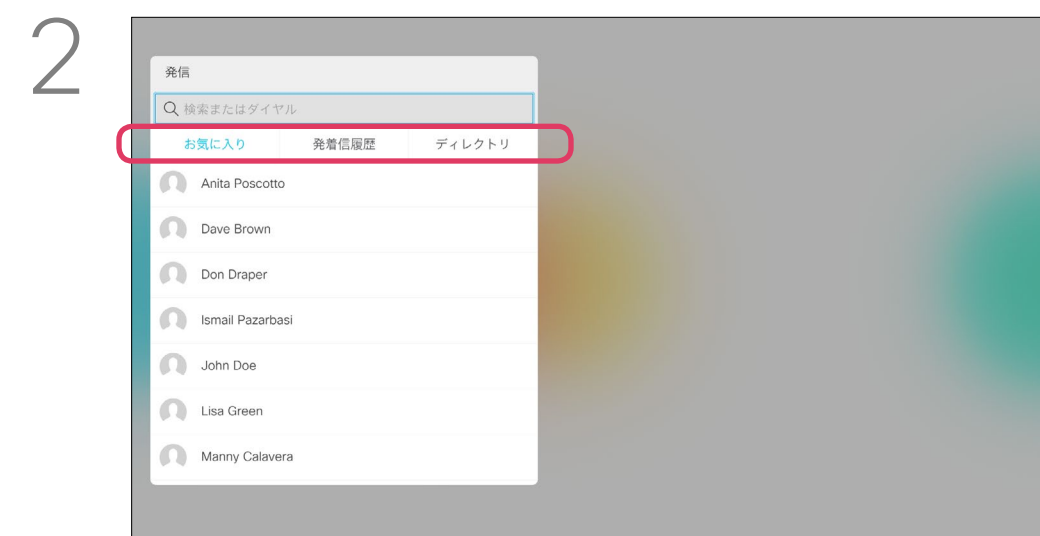
- ・ 名前、番号、または IP アドレスを入力できます。ここでは、すべてのリストから検索されます。
- ・ タブをタップしてからリストをスクロールするか、または名前や番号を入力して検索できます。検索はそのリストに対してのみ実行されます。
- ・ [お気に入り (Favorites)] リストに追加したエントリは、発信の前に編集したり、帯域 (通話に適用された帯域幅) を変更したりすることができます。

ビデオ通話 [連絡先 (Contacts)] リストのエントリを編集して発信する

エントリの編集について



1 [発信 (Call)] (画面の下部に並んでいる一番左のアイコン) を選択し、リモートコントロールの OK を押すか、リモート コントロールの緑色の発信ボタンを押します。

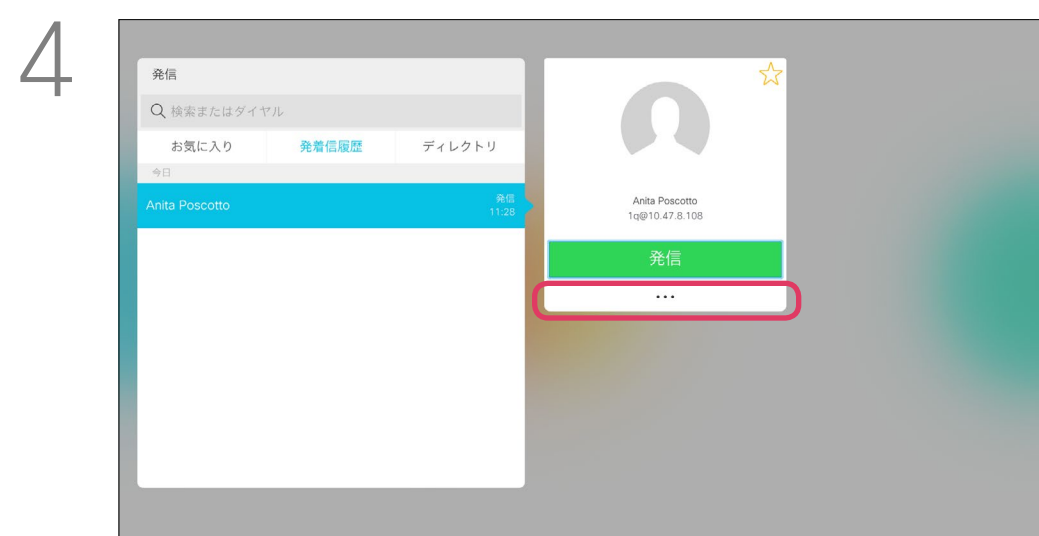


2 リモート コントロールの方向キーを使用すると、[お気に入り (Favorites)]、[発信履歴 (Recents)]、[ディレクトリ (Directory)] を切り替え、いずれかのリストを選択できます。



3 特定のエントリが見つかったら、リモート コントロールの OK を押して、[発信 (Call)] メニューを開きます。

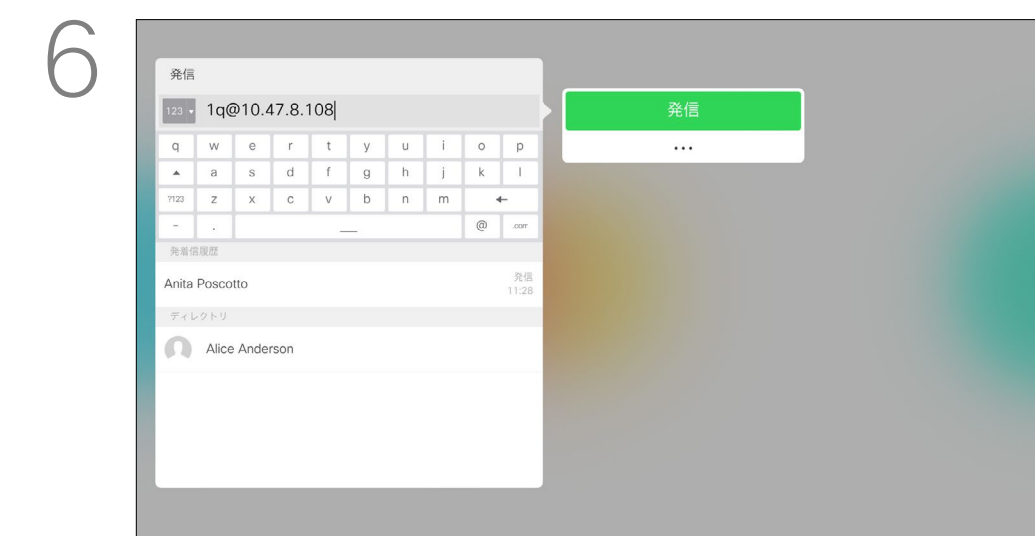
連絡先リストの詳細については、前ページを参照してください。
発信する前に、連絡先リストのエントリの編集 (プレフィックスやサフィックスを追加するなど) や、エントリの変更が必要になる場合があります。



4 リモート コントロールの方向キーを使用して、その他 フィールド (⋮) を選択して OK を押します。



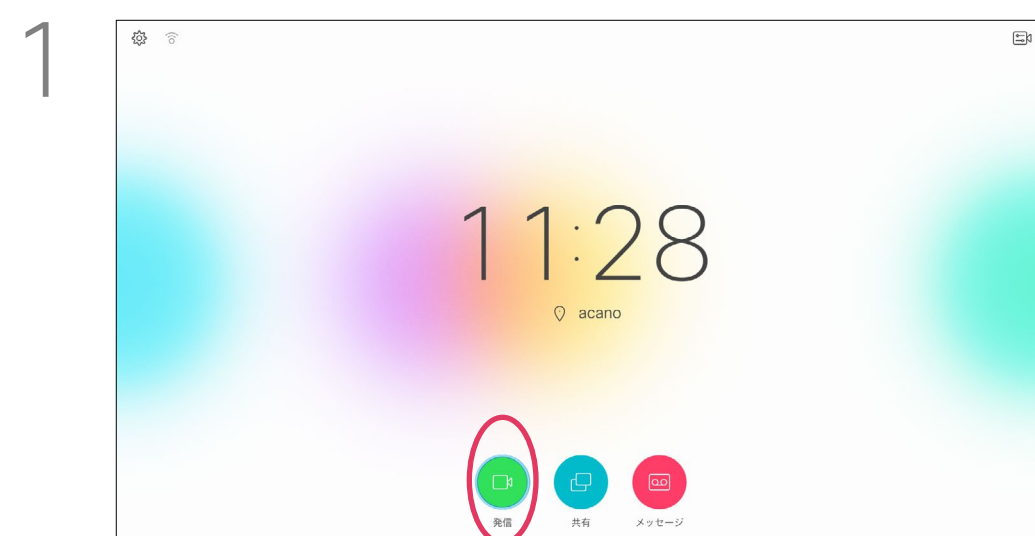
5 下の [編集して通話 (Edit and Call)] に移動し (その他 メニューの中央のフィールド)、OK を押します。



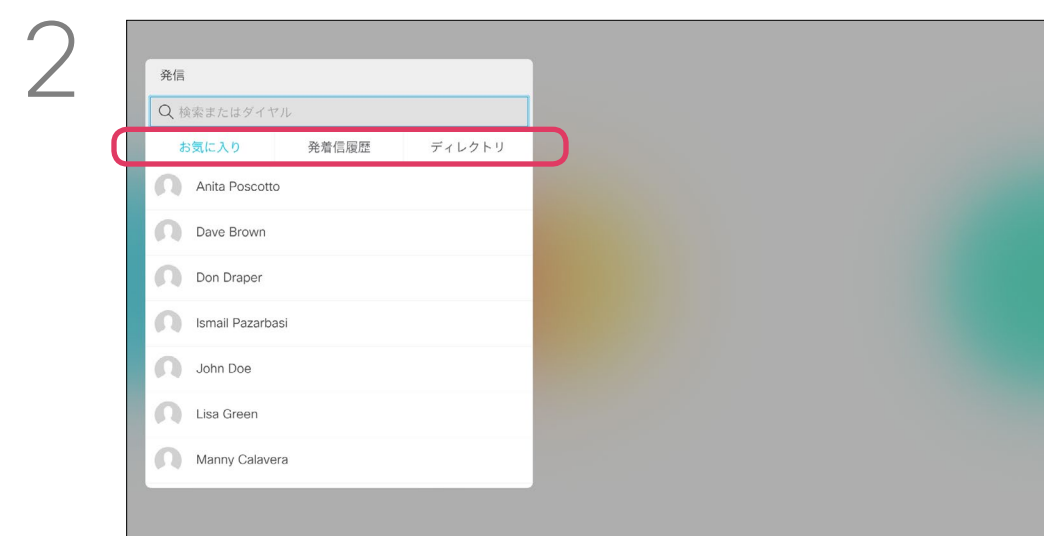
6 必要に応じてエントリを編集し、リモート コントロールの緑色の発信ボタンを押して発信します。

ビデオ通話 帯域を編集して発信する

帯域について



1 [発信 (Call)] (画面の下部に並んでいる一番左のアイコン) を選択し、リモートコントロールのOKを押すか、リモートコントロールの緑色の発信ボタンを押します。



2 リモートコントロールの方向キーを使用すると、[お気に入り (Favorites)]、[発信履歴 (Recents)]、[ディレクトリ (Directory)] を切り替え、いずれかのリストを選択できます。

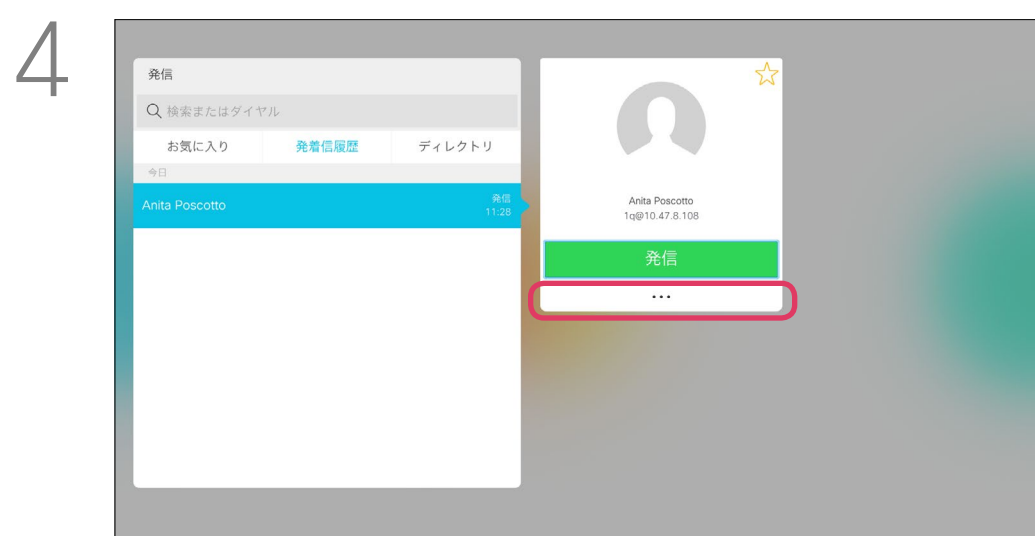


3 特定のエンタリが見つかったら、リモートコントロールのOKを押して、[発信 (Call)] メニューを開きます。

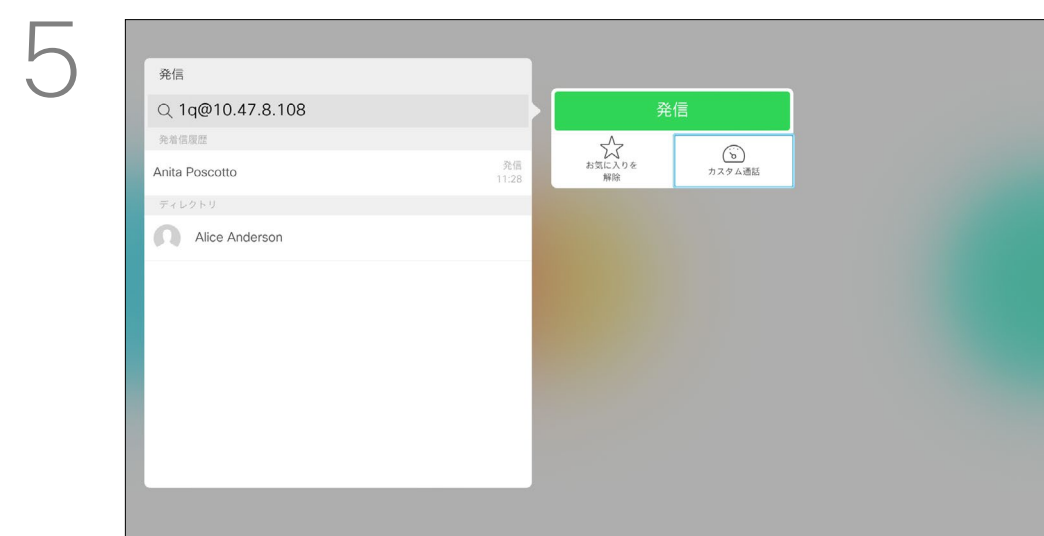
「帯域」とは、通話に割り当てられている帯域幅を示すために使われる用語で、単位は Kbps (キロビット/秒) です。帯域が大きくなるほど品質が向上しますが、帯域幅使用量も増えます。システムでは、デフォルトの帯域が設定されています。通常は、ビデオ サポートチームが設定します。

この設定を一時的に変更する理由について説明します。多くの場合、システムと接続がサポートしている帯域よりも大きい帯域で通話しようとするときにビデオ コールのチョークを避けるために使用します。

通話中に帯域を変更することはできませんが、左側で説明するように発信の直前なら変更できます。



4 リモートコントロールの方向キーを使用して、その他フィールド (⋮) を選択してOKを押します。



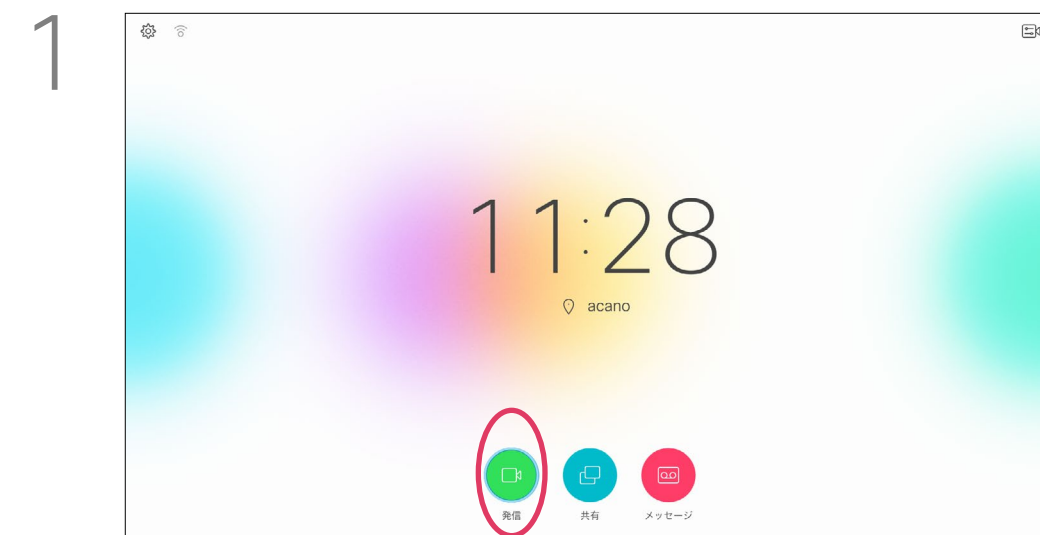
5 下の [カスタム発信 (Custom call)] に移動し、OKを押します。



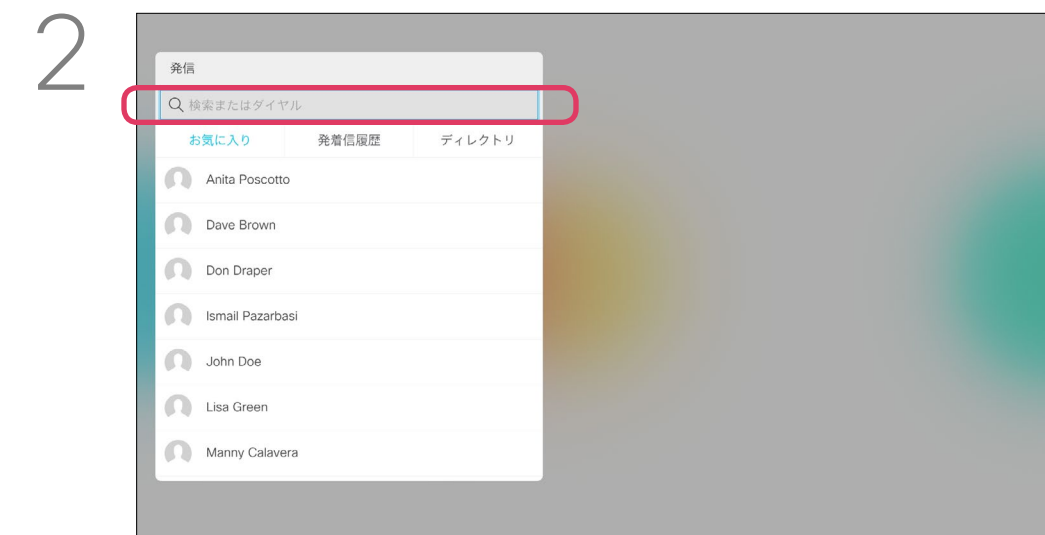
6 必要に応じて方向キーを使用し、リモートコントロールの緑色の発信ボタンを押して発信します。

ビデオ通話 名前、電話番号、または IP アドレスを使用して発信する

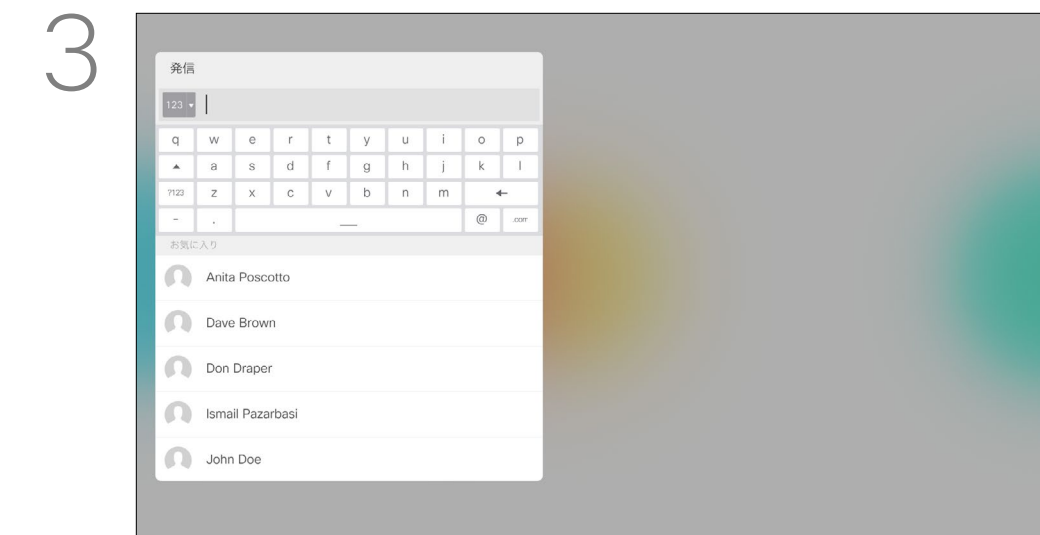
発信について



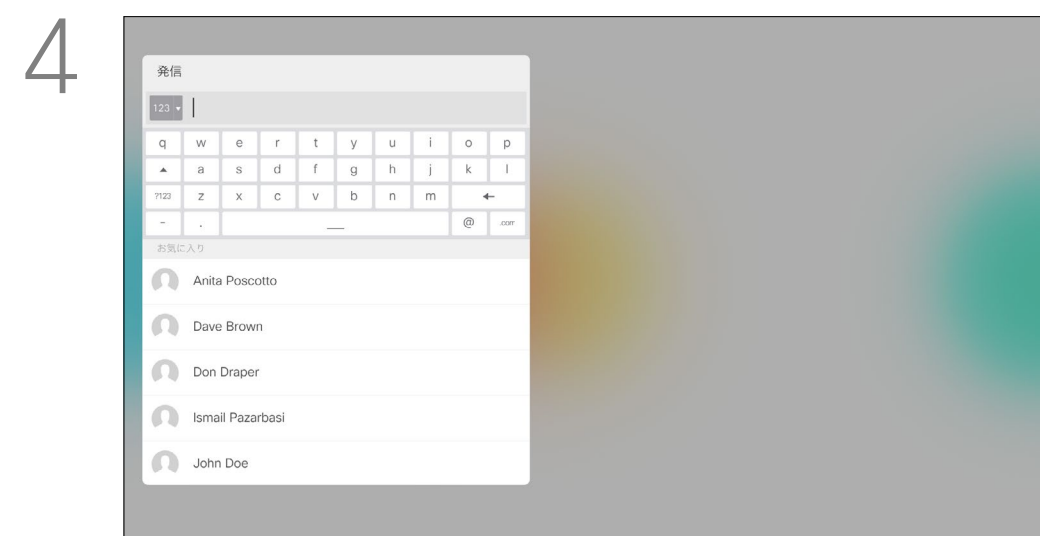
1 [発信 (Call)] (画面の下部に並んでいる一番左のアイコン) を選択し、リモートコントロールの OK を押すか、リモート コントロールの緑色の発信ボタンを押します。



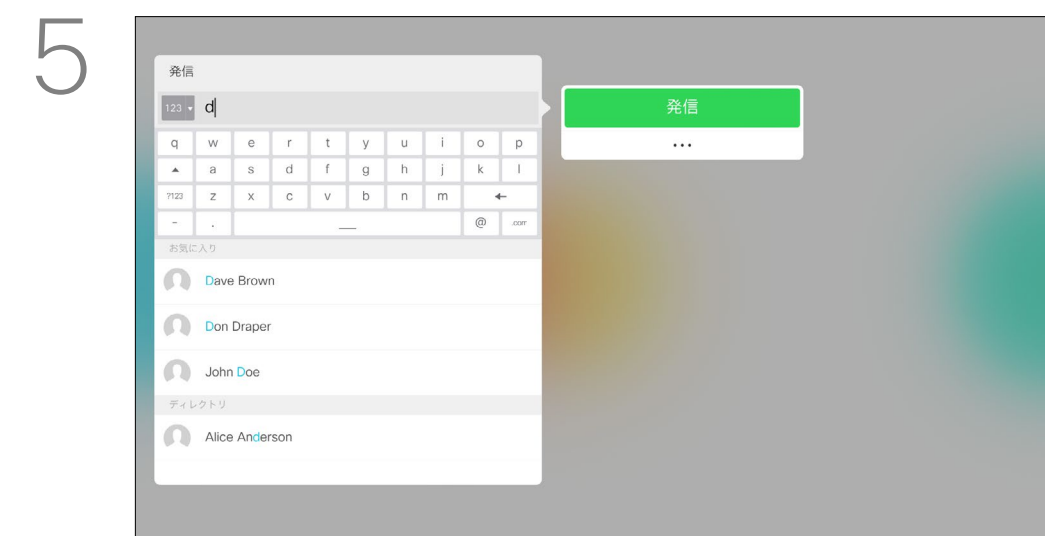
2 方向キーを使用して、メニューの一番上にある [検索またはダイヤル (Search or Dial)] フィールドに移動します。OKを押します。



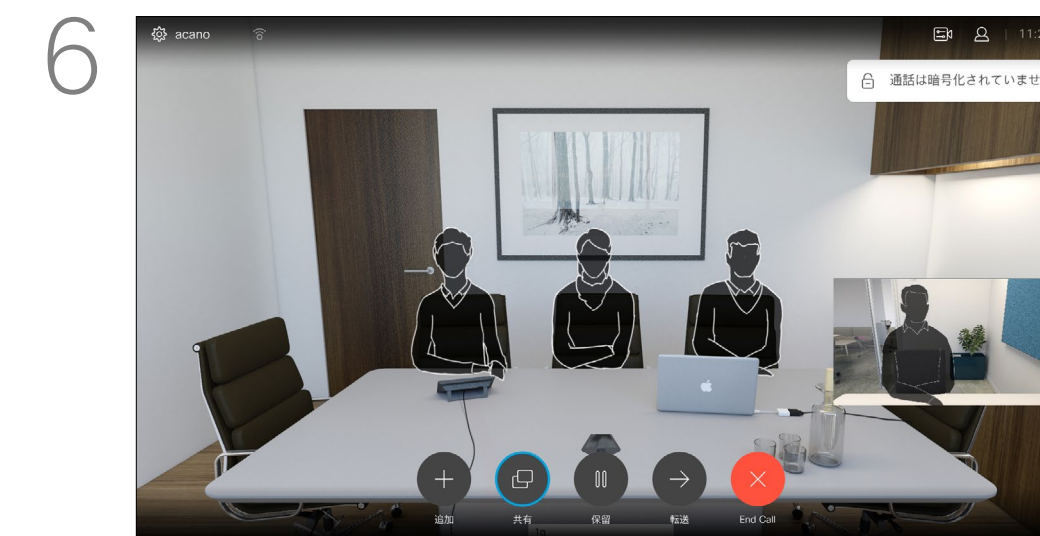
3 数字を入力するには、リモート コントロールの対応するキーを押します。



4 仮想キーボードを使用するには、キーボードに移動し、キーボード上で文字を選択します。OKを押して、文字を選択します。



5 緑色の発信ボタンを押して発信します。



6 リモート コントロールの赤い通話終了ボタンを押すか、方向キーを使用して [終了 (End)] を選択し、OK を押して通話を終了します。

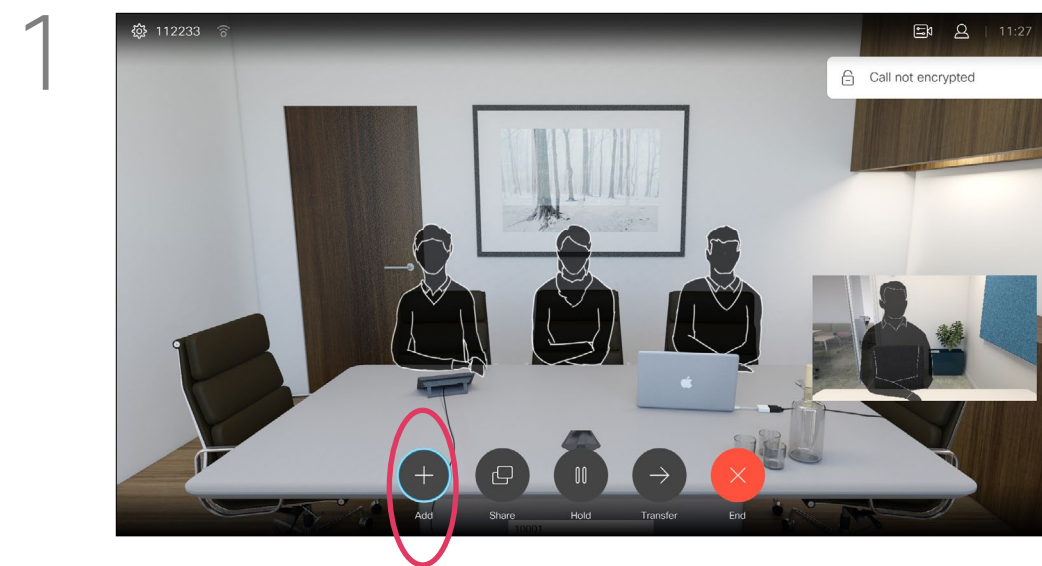
連絡先のリストに載っていない相手に発信するには、仮想キーボードを使用して名前、アドレス、または番号を入力します。

これまでのすべての発信先が [発信履歴 (Recents)] リストに表示されます。これらの発信先は [お気に入り (Favorites)] リストに転送できます。これについては、「連絡先」セクションで説明しています。

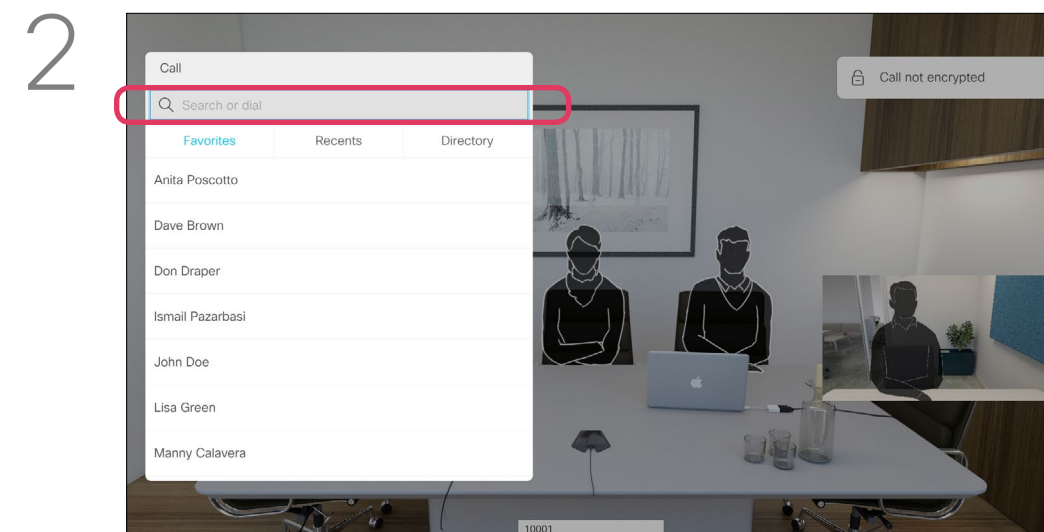
ビデオ アドレスを使用した発信 IP タイプのビデオ アドレスを使用する場合も、発信手順は同様です。アドレスを入力します。その際、セパレータには * (リモート コントロールの左下にあるアスタリスクのボタン) を使用します。システムはこの記号を IP アドレスの有効なセパレータとして解釈するため、ビデオ アドレスは入力したとおりに正しく表示されます。

ビデオ通話 既存の通話に参加者を追加する

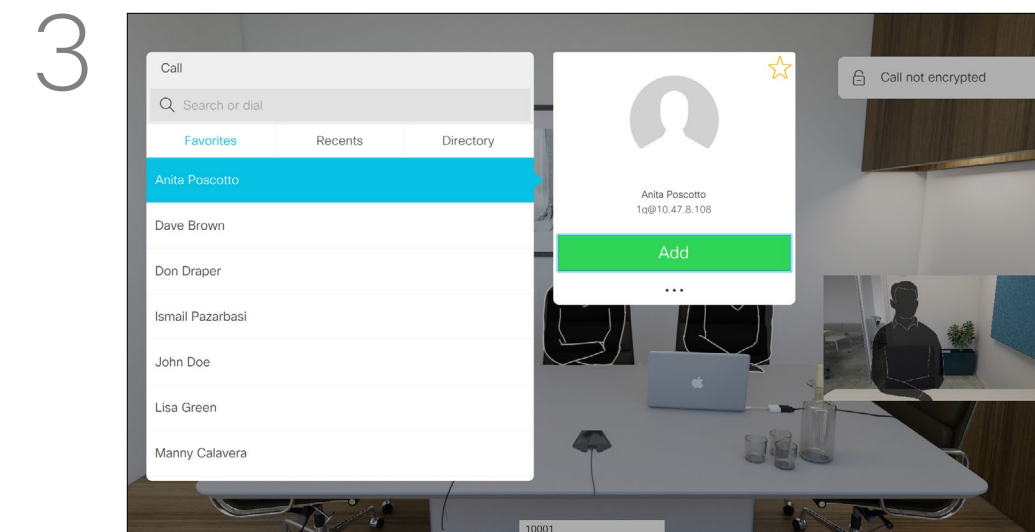
ビデオ会議について



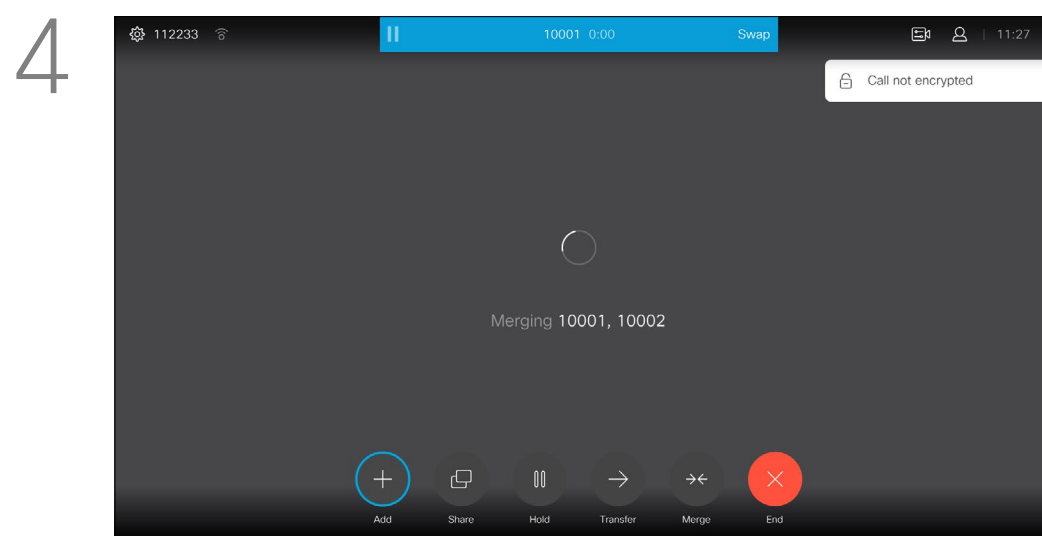
1 通話中に [追加 (Add)] に移動し、リモート コントロールの OK を押します。現在の通話が保留になります。



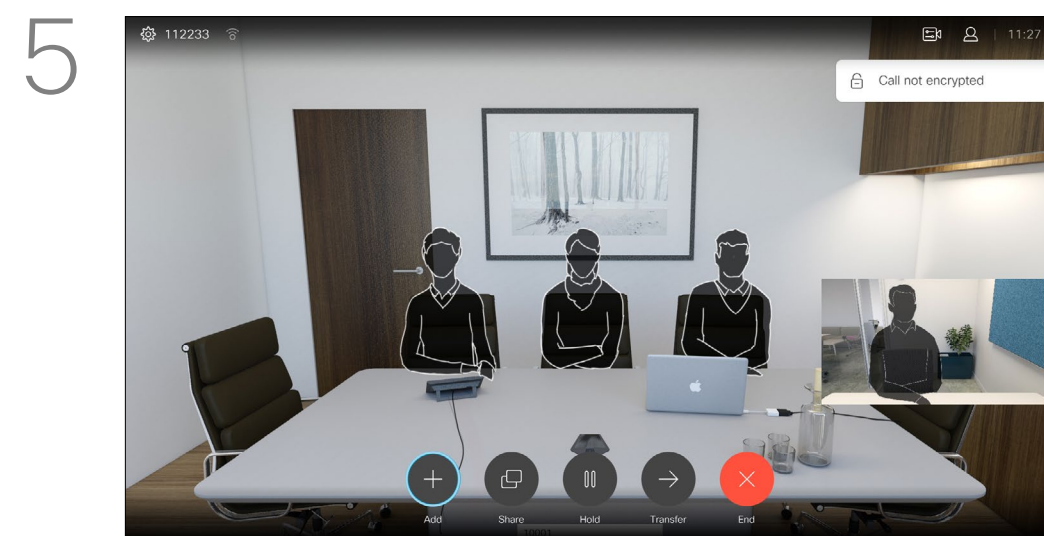
2 通常の方法で、追加する参加者を探します。OK を押します。



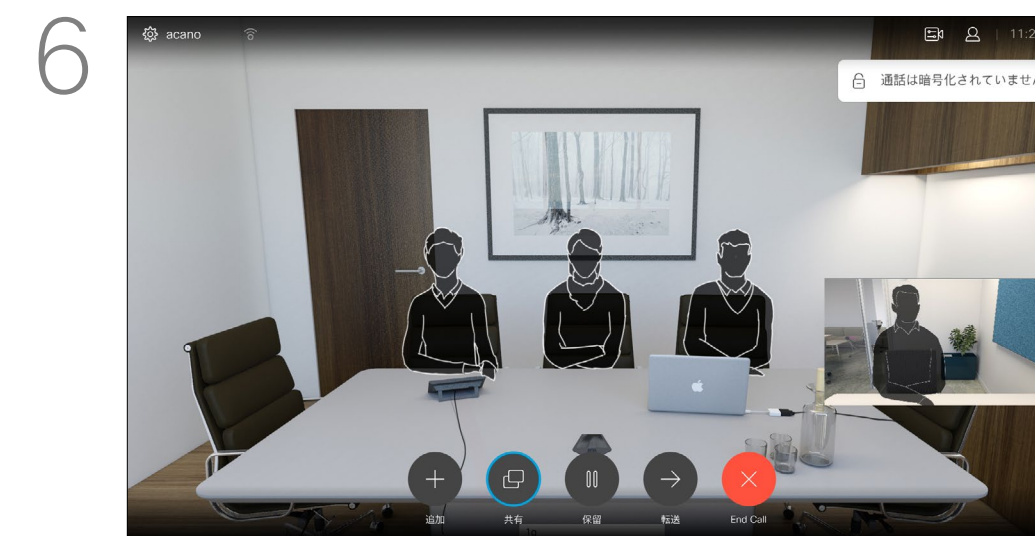
3 [追加 (Add)] に移動し、OK を押して通話を会議に追加します。



4 通話がマージされます。



5 必要に応じて、さらに手順を繰り返して参加者を追加します。



6 リモート コントロールの赤い通話終了ボタンを押すか、方向キーを使用して [終了 (End)] を選択し、OK を押して通話を終了します。

ビデオ システム ネットワークには、複数の参加者とビデオ会議を開始する機能が備わっている場合があります。

ご使用のビデオ システムでサポートされている参加者の最大人数は、システム構成とビデオ インフラストラクチャによって決まります。ご不明な場合は、ビデオ サポート チームにお問い合わせください。

ビデオ会議を開始する場合は、各参加者に 1 人ずつ電話をかける必要があります。

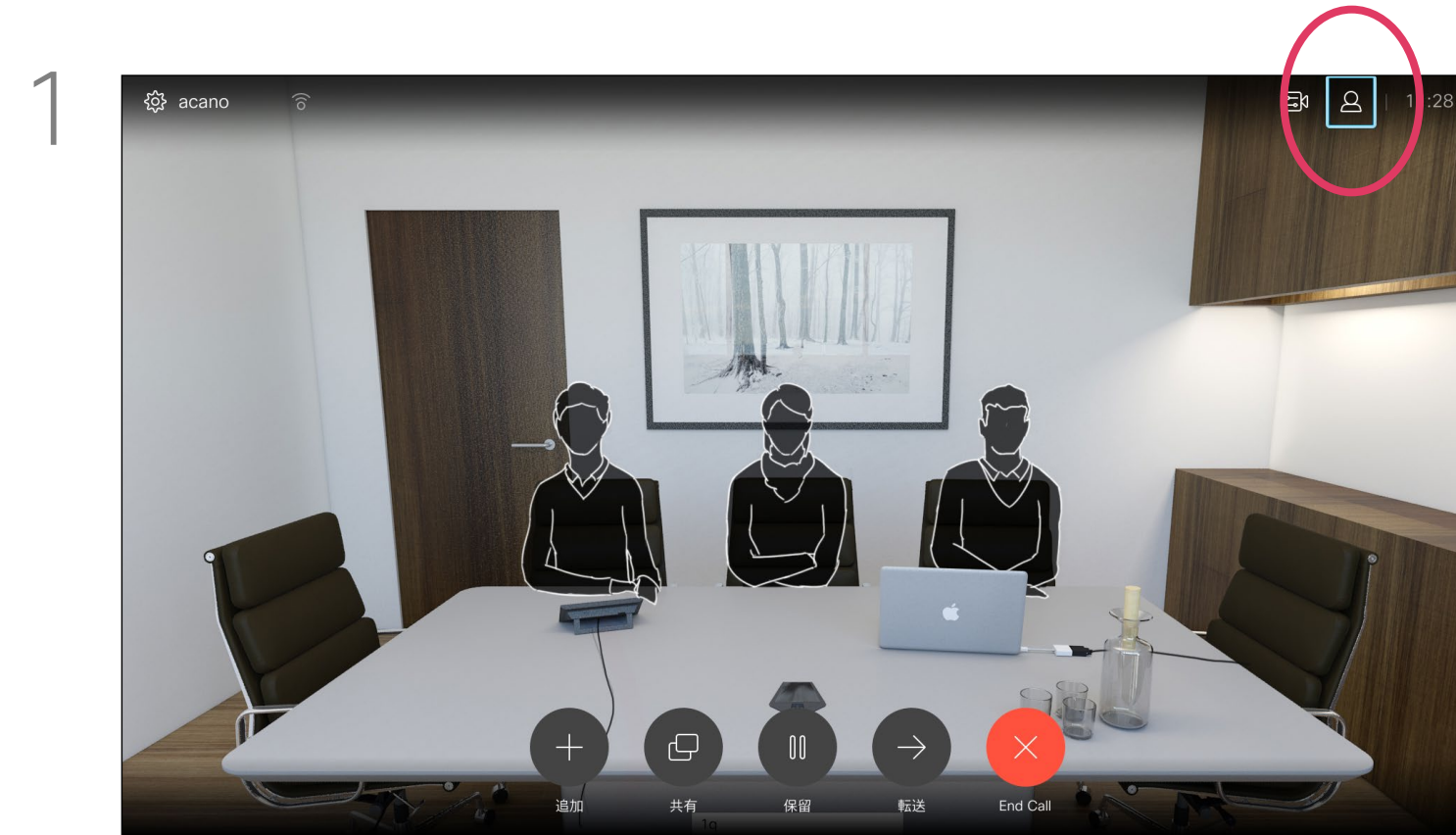
会議を開始したユーザは、会議全体を終了することができます。他の参加者は、自分自身のみ会議から切断できます。

通話設定: 通話相手によっては、異なる帯域幅のビデオ システムを使用している場合があります。全参加者に対しては、各システムがサポートする帯域幅に合わせるよう強いる必要はありません。システムで利用できる最高の品質を全員に提供するために、[帯域 (Call rate)] はすべての参加者が個別に設定できます。[「帯域を編集して発信する」](#)、[11 ページ](#)を参照してください。

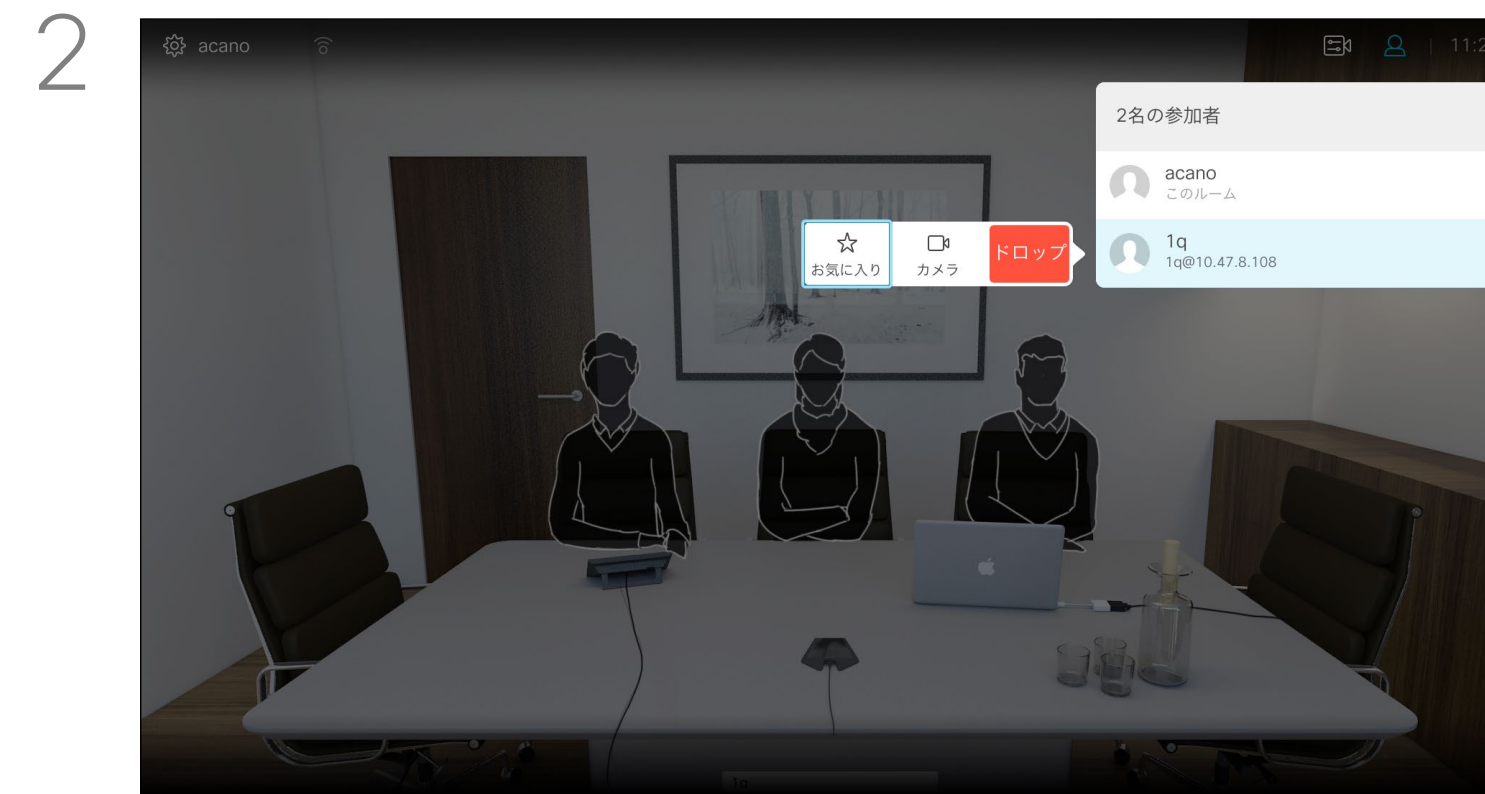
ビデオ通話 会議から参加者を切断する

ビデオ会議について

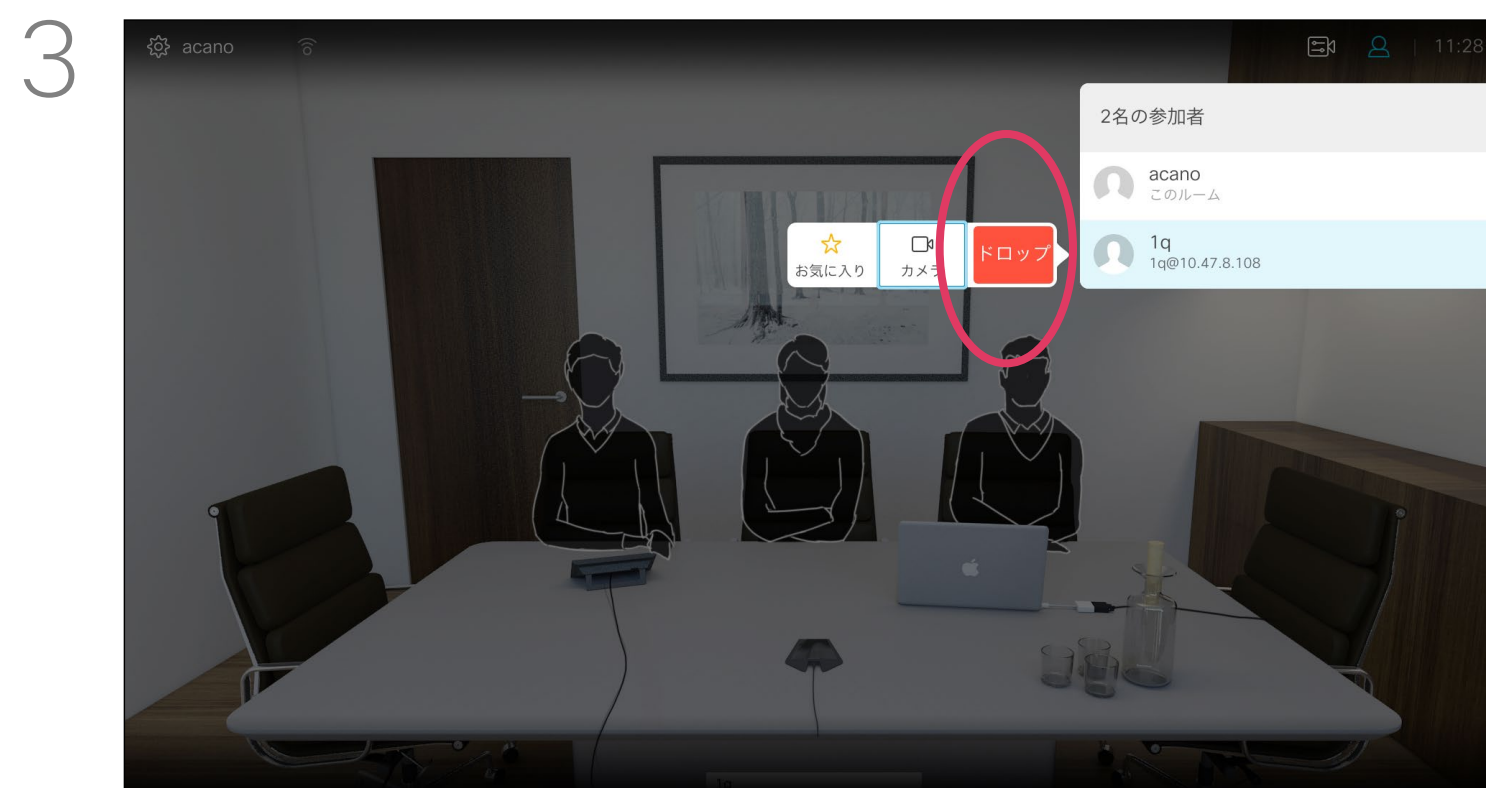
ビデオ システムからビデオ会議を実行する機能はオプションであり、システムによっては使用できない場合があります。



通話中に、図のように右上隅の参加者アイコンをタップし、OK を押して参加者リストを呼び出します。



会議からドロップさせる参加者まで下に移動し、OKを押します。

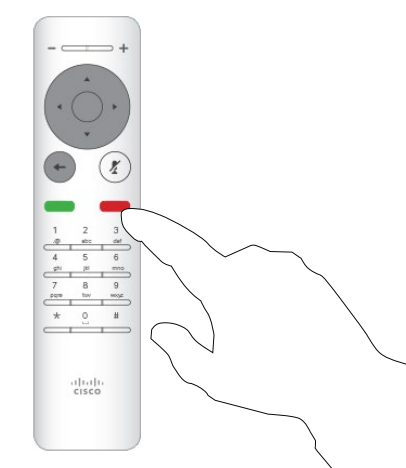
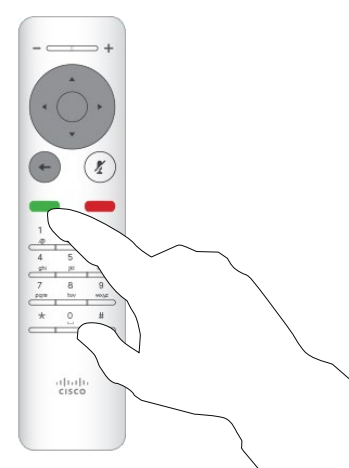
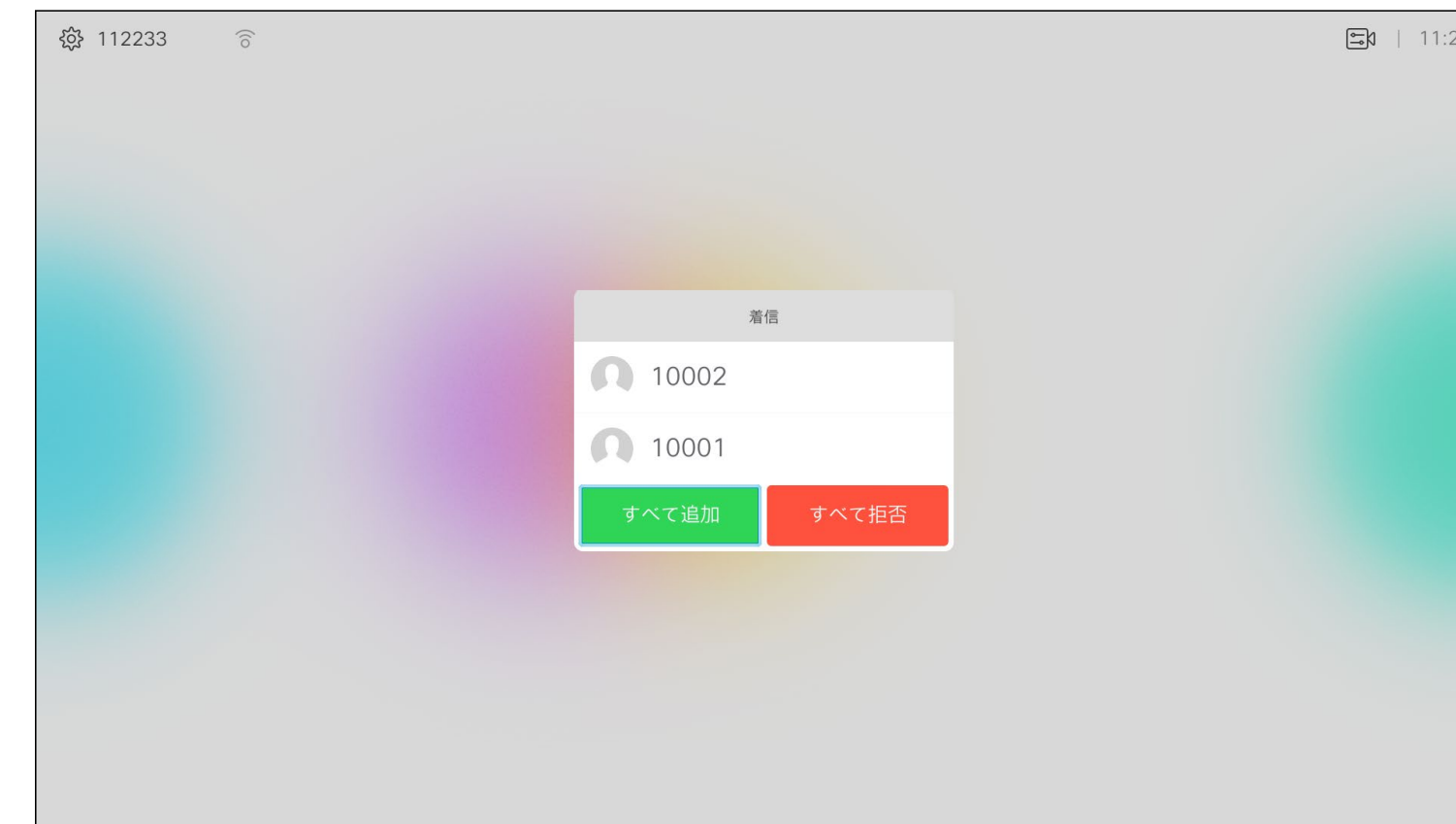
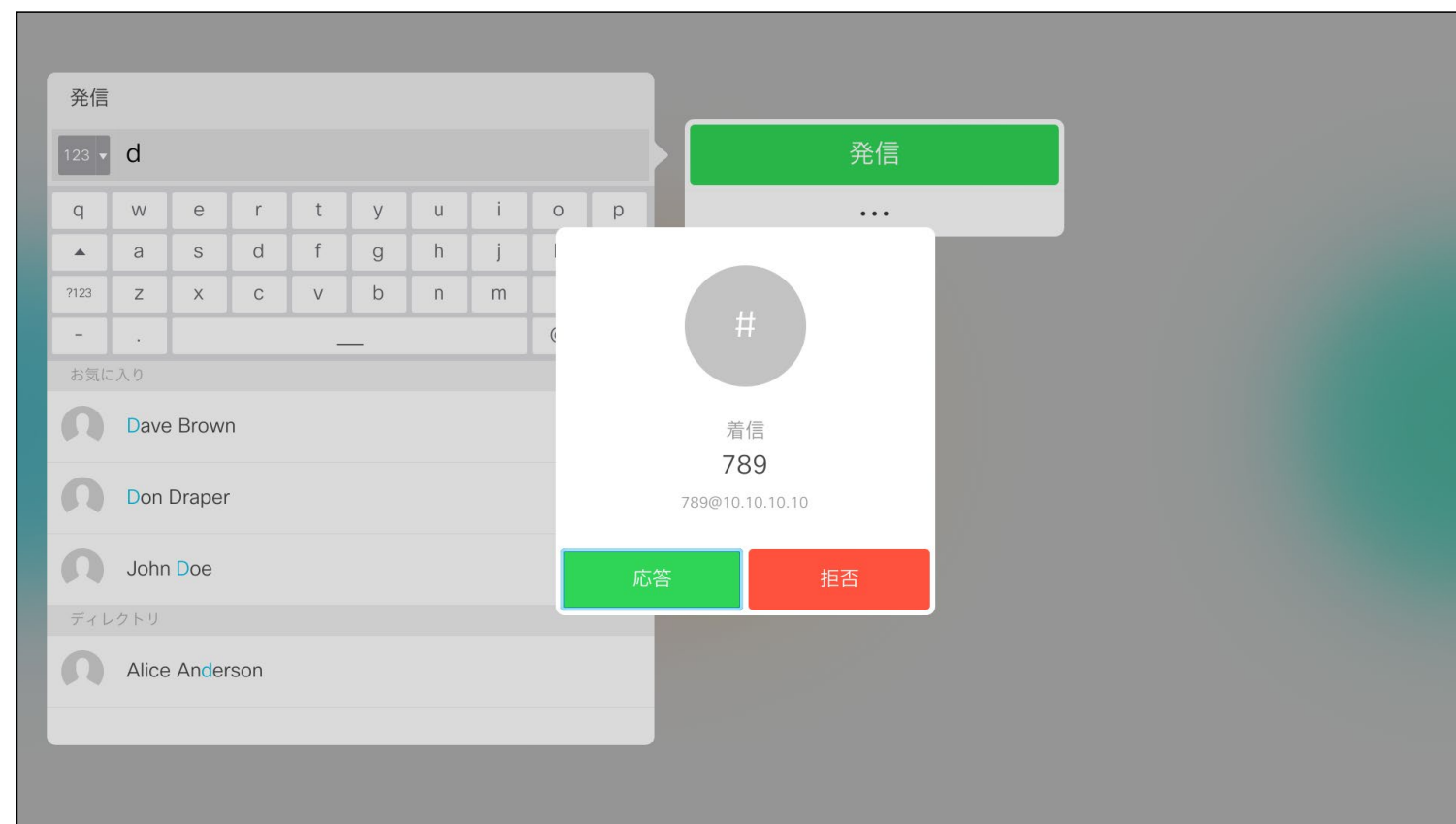


[ドロップ (Drop)]に移動して OK を押します。

ビデオ通話 着信

着信があった場合

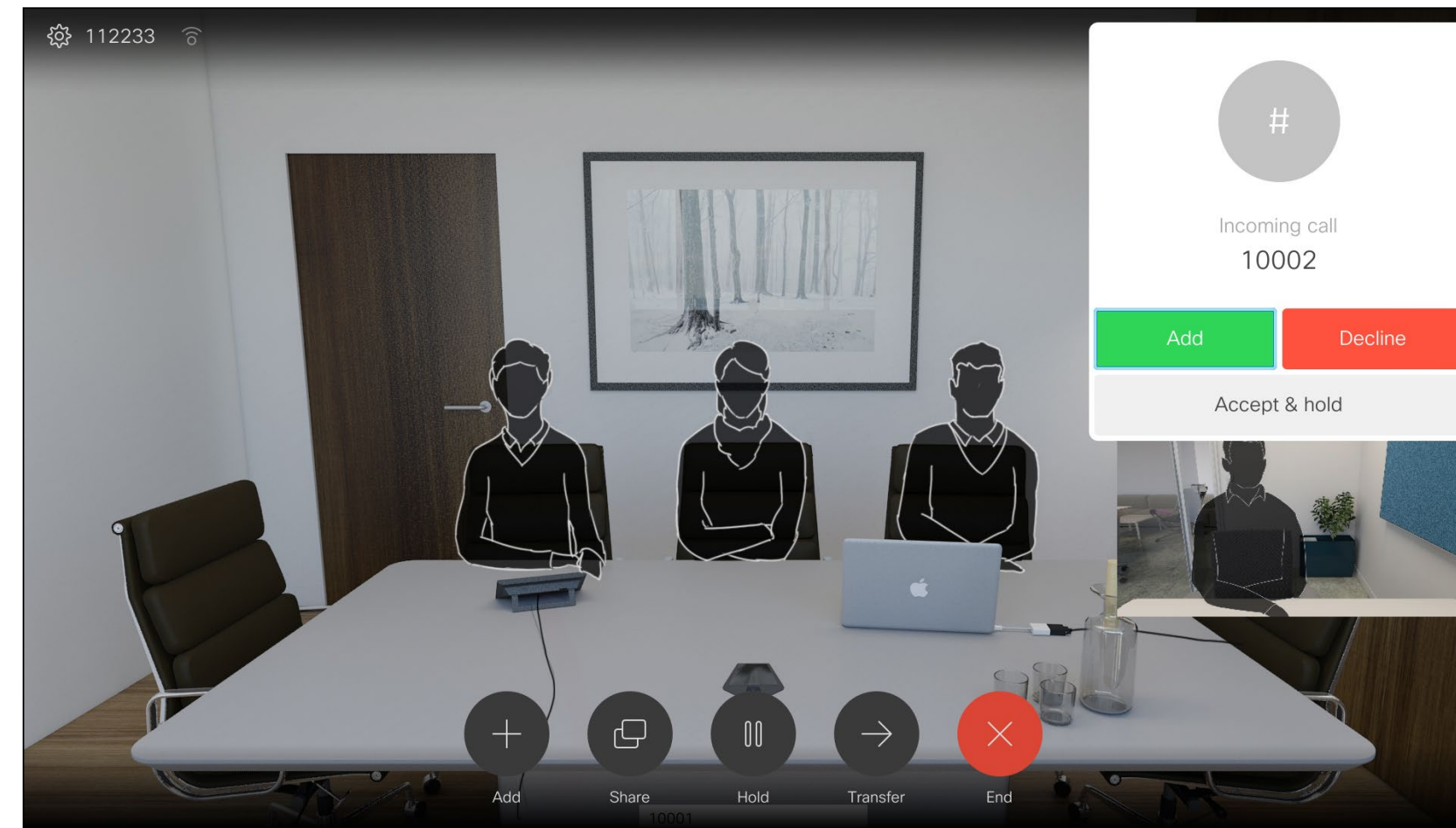
- ・ 着信があった場合は、通話を許可、拒否、または無視できます。
- ・ 通話を拒否した場合、ビジーであるという情報が発信者に送信されます。
- ・ 通話を無視する場合、発信者にとっては不在状態（電話を取らなかった）と同じになります。
- ・ ビデオ インフラストラクチャによっては、複数の着信通話を受信できます。必要に応じて、貴社のビデオ サポート チームにお問い合わせください。



リモート コントロールの円形ボタンの下にある発信/通話終了キーを直接使用することもできます（着信に
応答するには左側の緑色のキー、拒否するには右側の赤のキー）。

ビデオ通話 通話中に追加の着信を受ける

通話の拡張

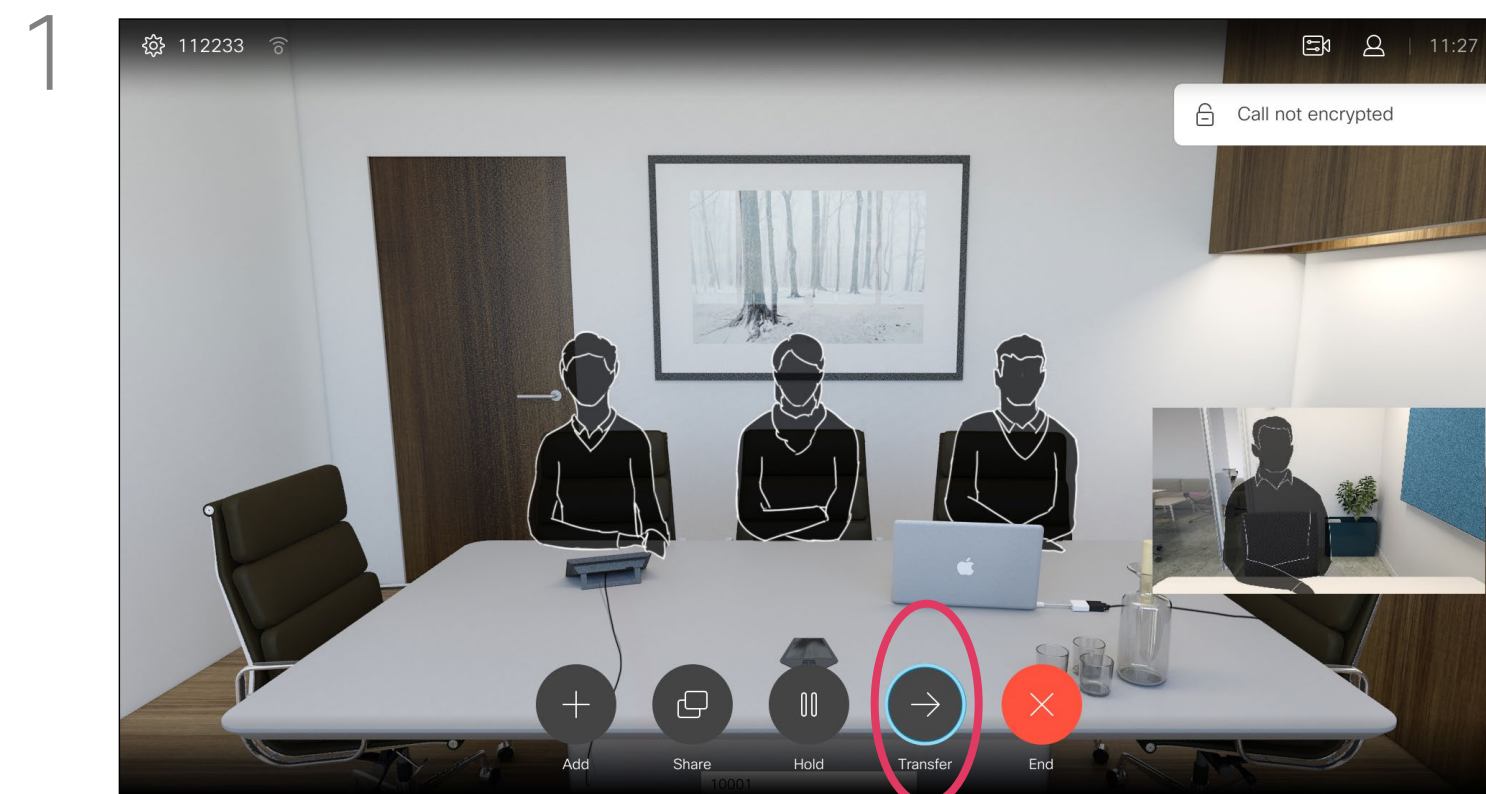


- ・ 着信があった場合は、通話を許可、拒否、または無視できます。
- ・ 通話を拒否した場合、ビジーであるという情報が発信者に送信されます。
- ・ 通話を無視する場合、発信者にとっては不在状態（電話を取らなかった）と同じになります。
- ・ ビデオ インフラストラクチャによっては、複数の着信通話を受信できます。必要に応じて、貴社のビデオ サポート チームにお問い合わせください。

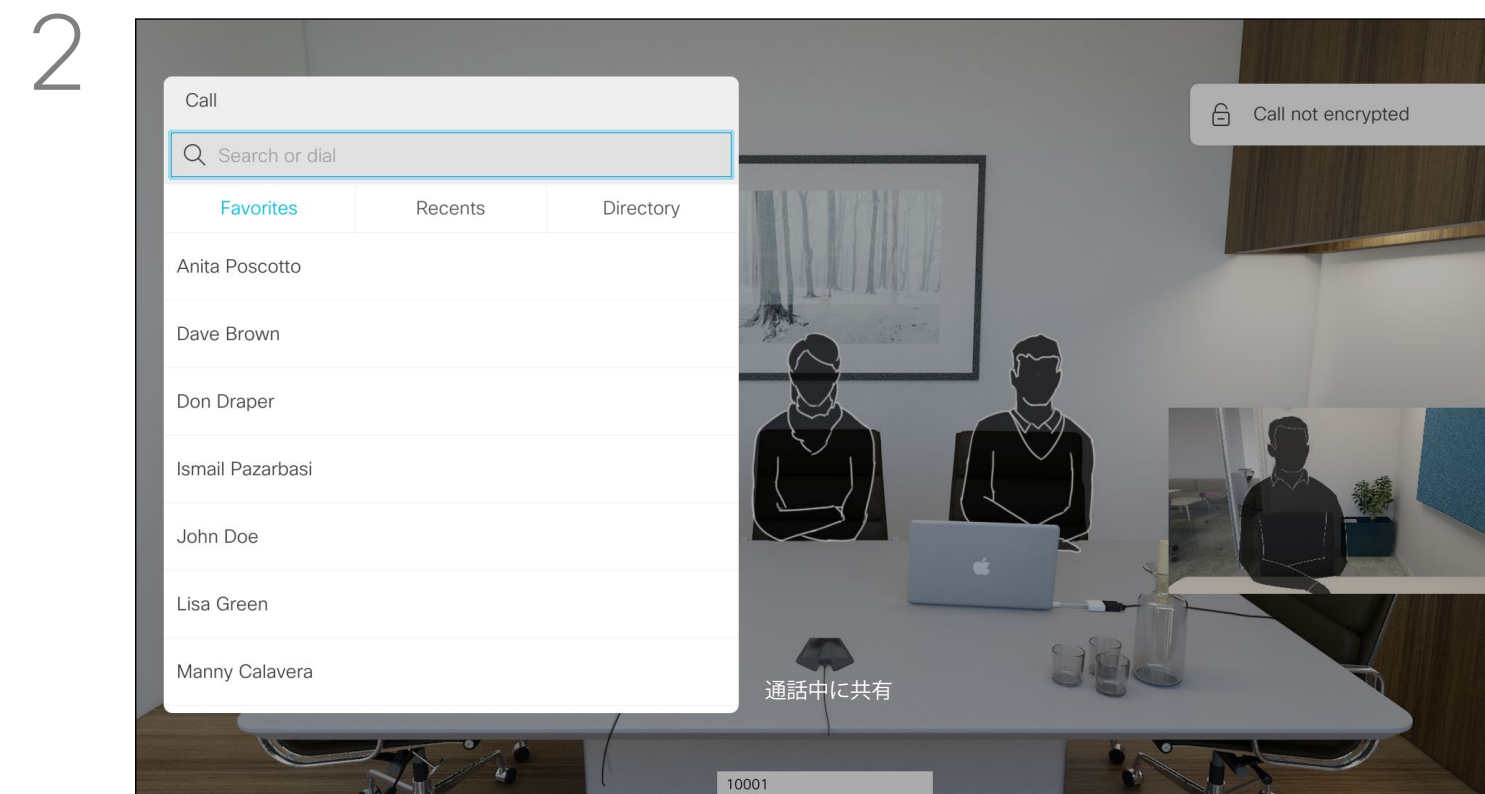
通話中に着信があった場合には、通話を拒否するか、発信者を現在の通話に追加するか、現在の通話を保留にして応答することができます。

ビデオ通話 対応中の通話を転送する

通話転送について

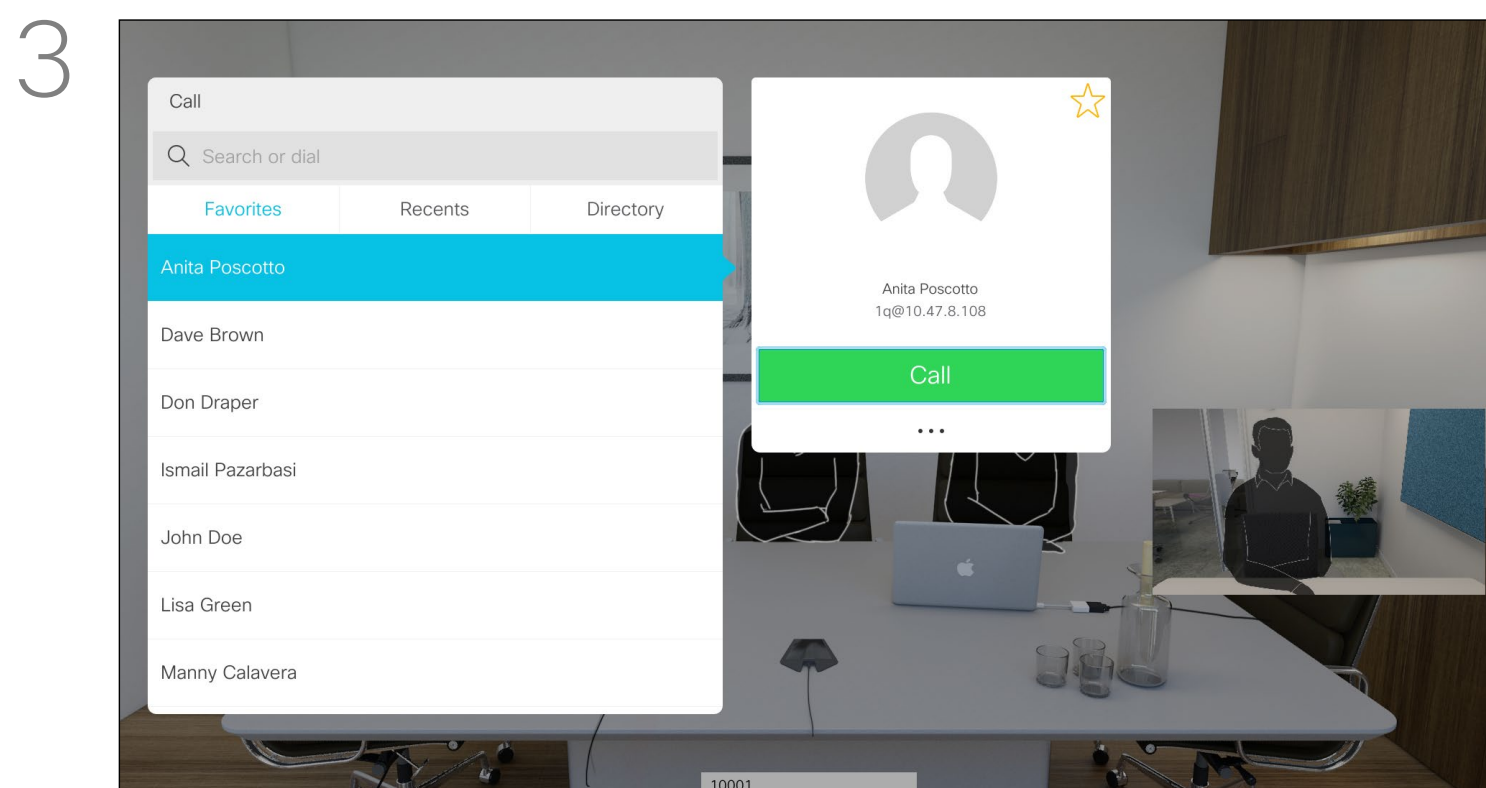


1 [転送 (Transfer)]ボタンに移動し、リモート コントロールの OK を押します。この操作で、現在の通話が保留になります。

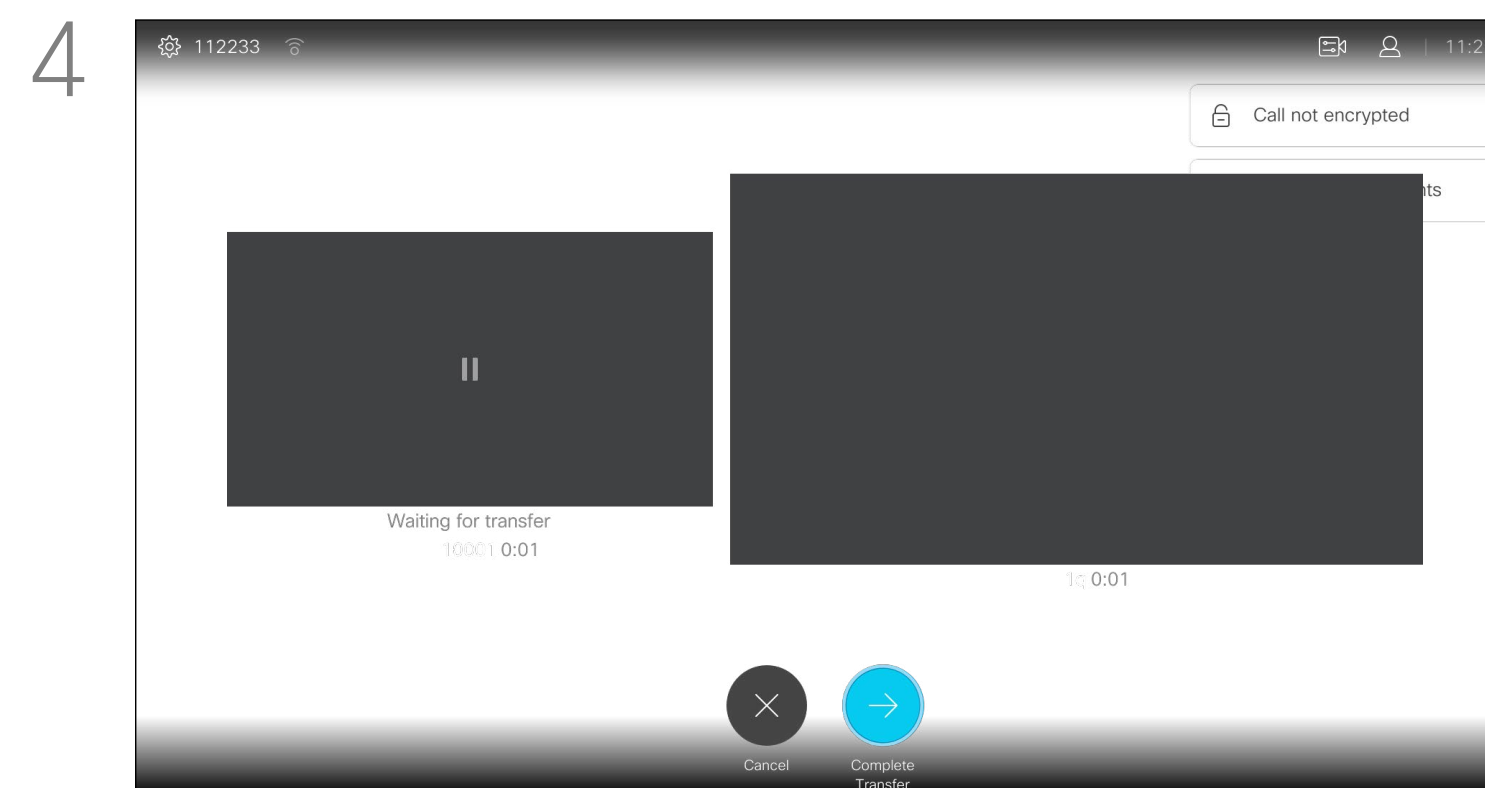


2 通常の方法で、発信先を探します。

通話中または通話外で、この機能を使用して PC のコンテンツを共有します。手順はどちらの場合も同じですが、ここでは通話中の方法のみ説明します。



3 緑色の [発信 (Call)]ボタンを選択して OK を押すか、リモート コントロールの緑色の発信ボタンを押します。発信先の相手と話して、転送しても構わないか確認します。転送される側は、保留のままになっています。

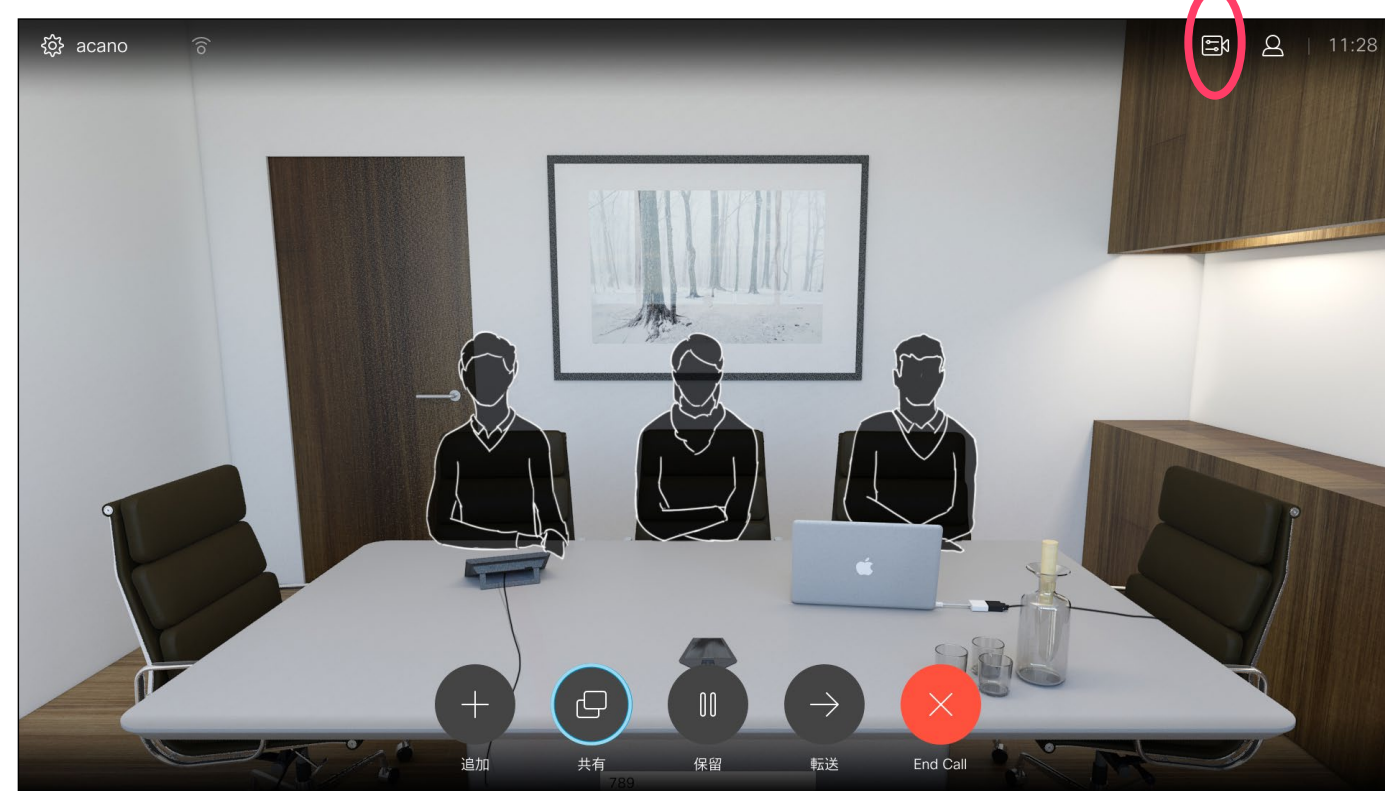


4 [転送完了 (Complete Transfer)]を選択して、リモート コントロールの OK を押します。

ビデオ通話 スクリーンのレイアウトの変更

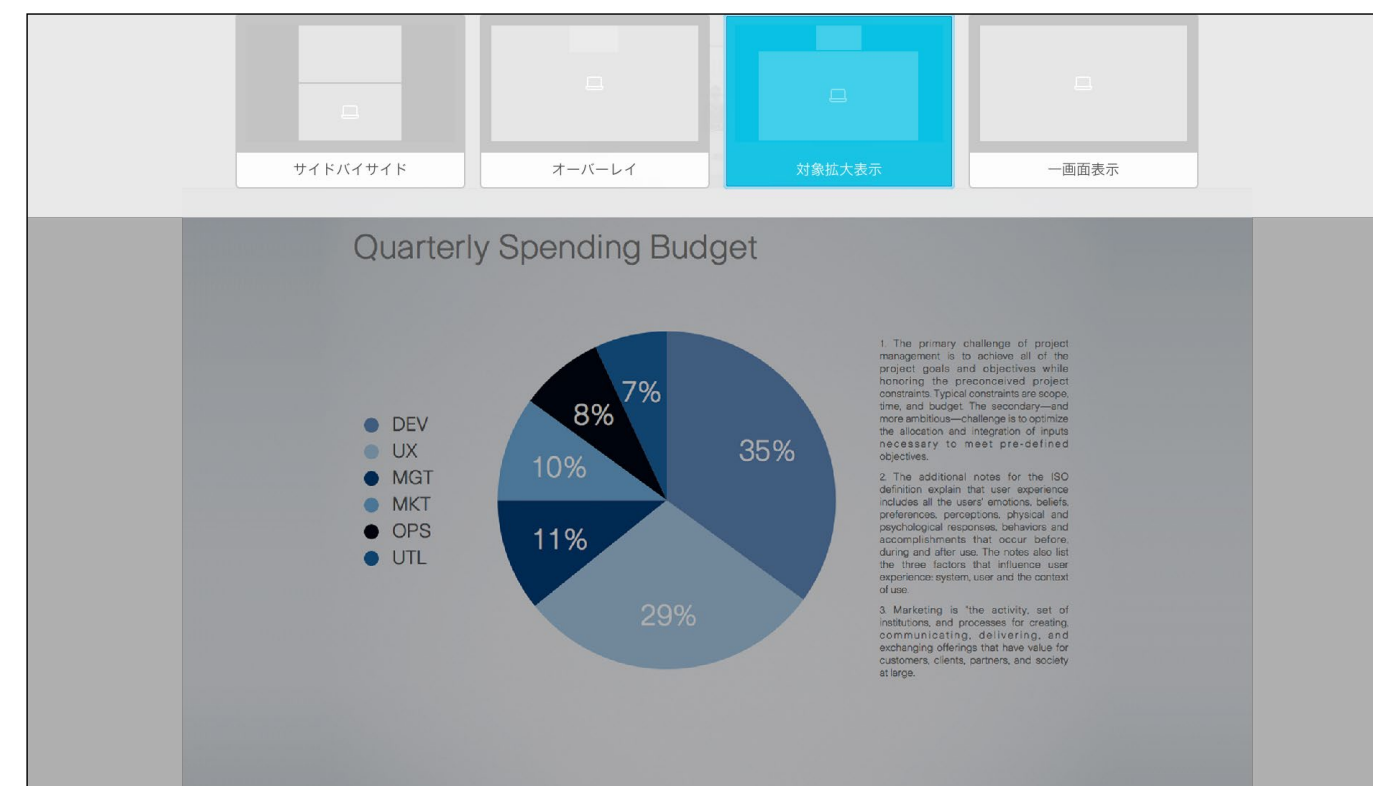
レイアウトについて

1



右上のレイアウト () に移動し、リモート コントロールの OK を押します。該当する場合にだけ、このアイコンが表示されます。

2



方向キーを使用して新しいレイアウトを選択し、OK を押します。

コンテンツを共有する場合、またはビデオ会議中の場合は、画面に表示されるビデオのレイアウトを変更できます。

ビデオ会議は、組織に一定のインフラストラクチャがないと開始できません。ご不明な場合は、ビデオ サポート チームまでお問い合わせください。

ただし、ビデオ会議への招待を他の人から受けることはできません。この場合、画面レイアウトを変更する機能を使用できます。

ここで行った変更は、他の人には影響しません。

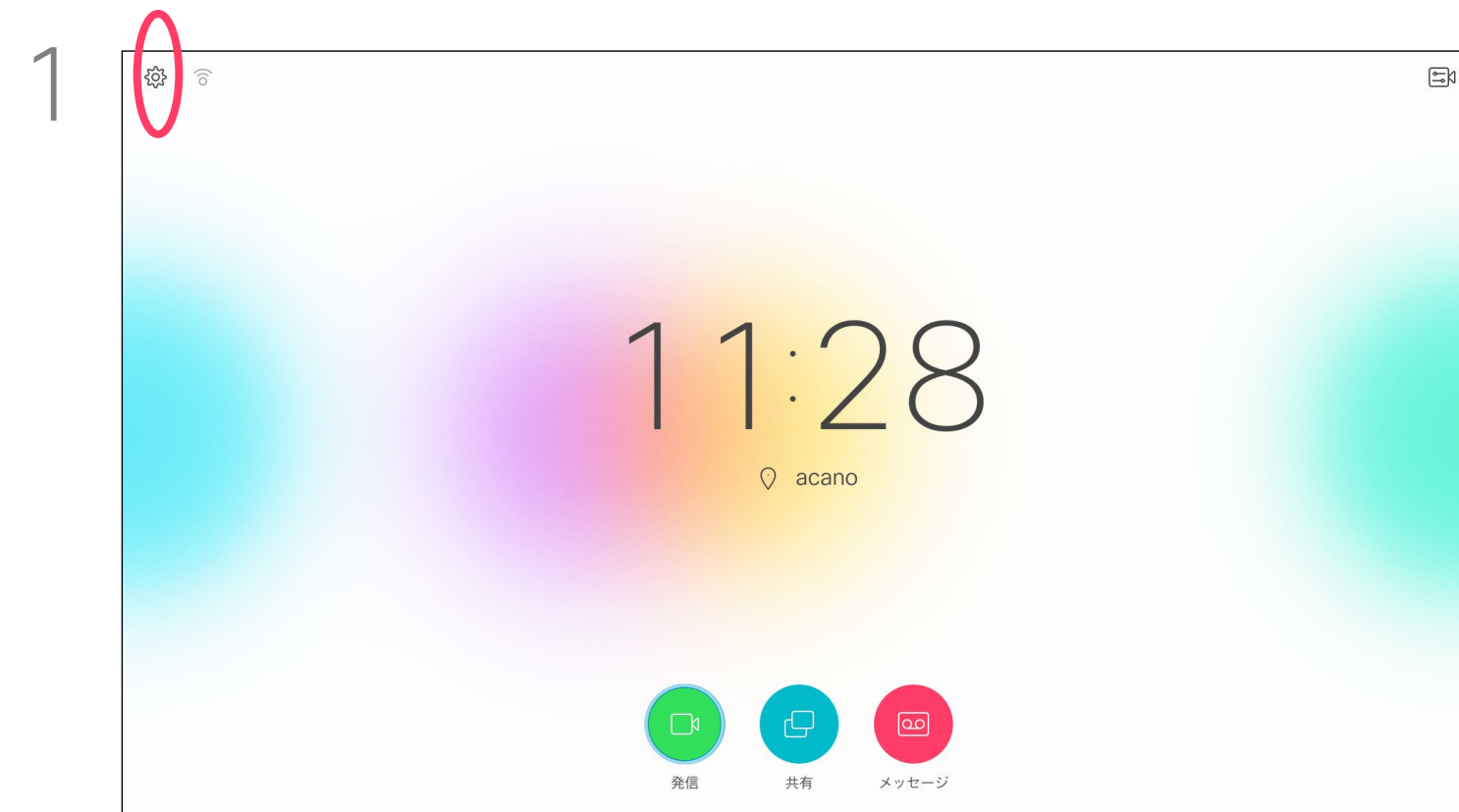
ビデオ通話 [応答不可 (Do Not Disturb)] を有効にする

応答不可について

システムは、着信通話に応答しないように設定できます。

[応答不可 (Do Not Disturb)] に設定すると、着信音はミュートになり、他者からの着信は不在着信として表示されます。ただし、こちらからは必要時にいつでも発信することができます。

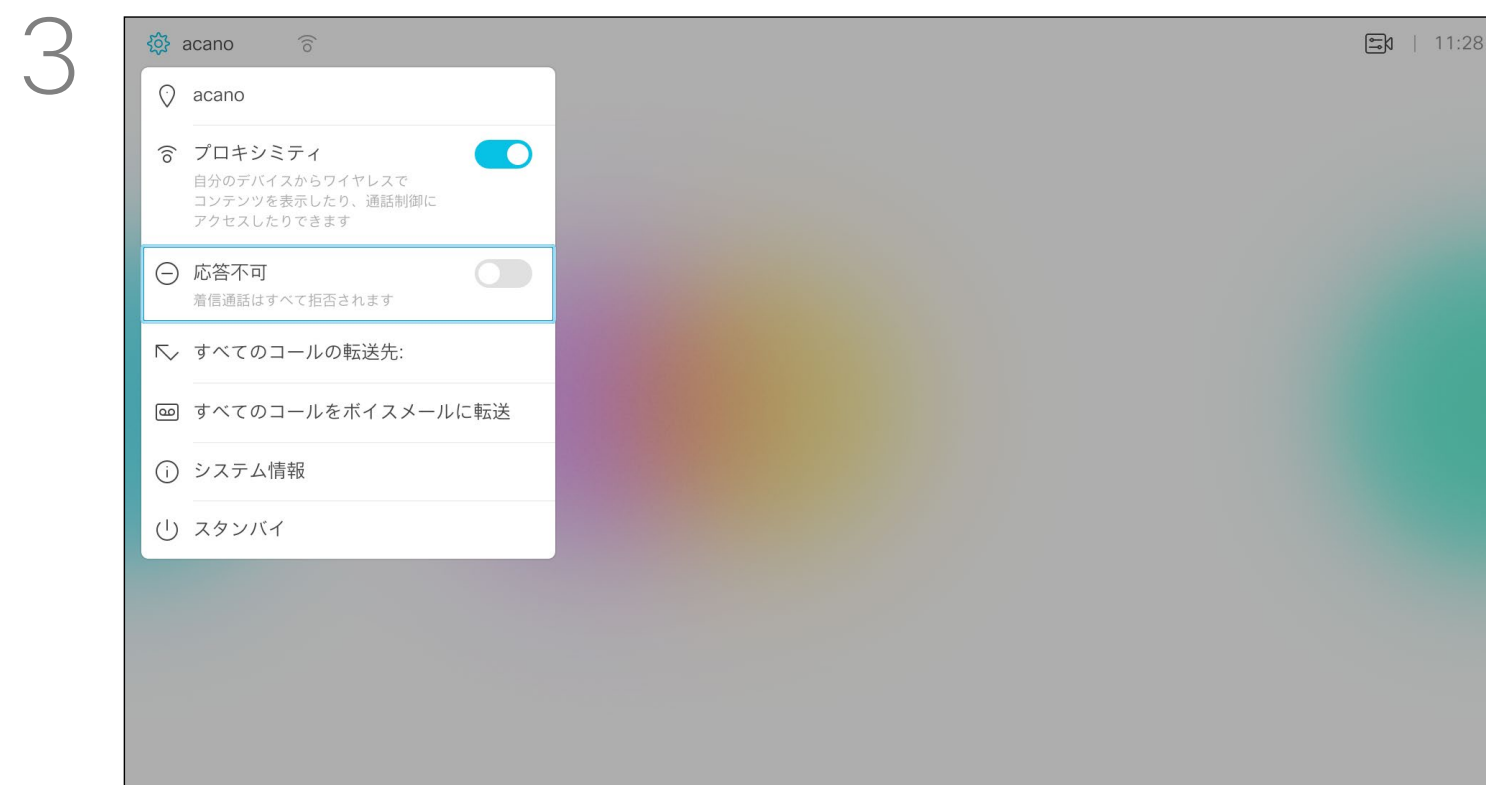
デフォルトでは、[応答不可 (Do Not Disturb)] には 60 分のタイムアウトがあります (この後、システムは通常動作に戻りますが、ビデオ サポート チームによって異なる設定に変更されている場合があります)。



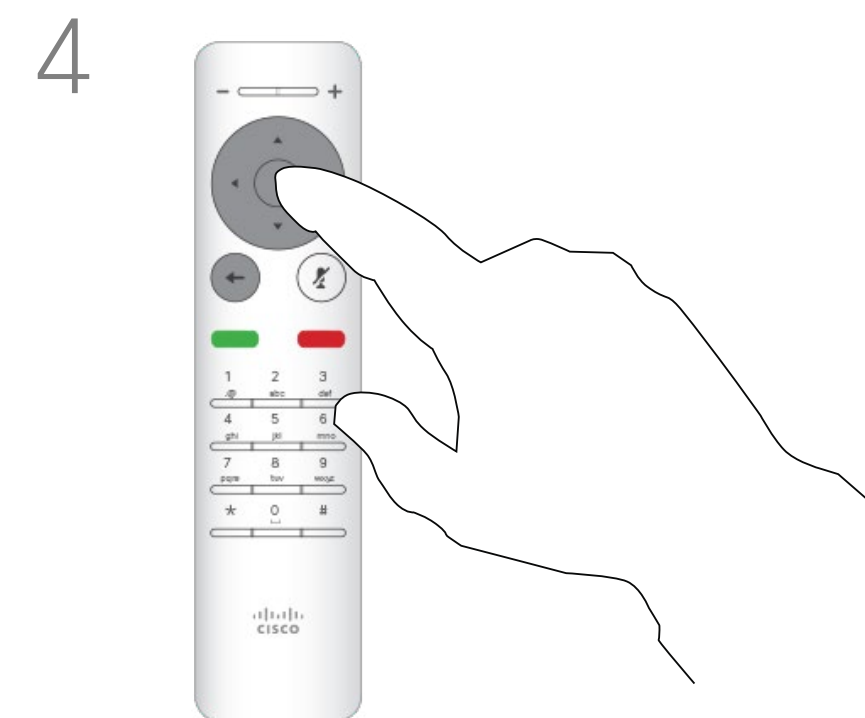
1 [ホーム (Home)] 画面でリモート コントロールの方向キーを使用して、画面左上の設定アイコンを選択します。



2 リモート コントロールの OK を押します。



3 リモート コントロールの下方向キーを押して [応答不可 (Do Not Disturb)] に移動し、リモート コントロールの OK ボタンでオンまたはオフに設定します (切り替え)。

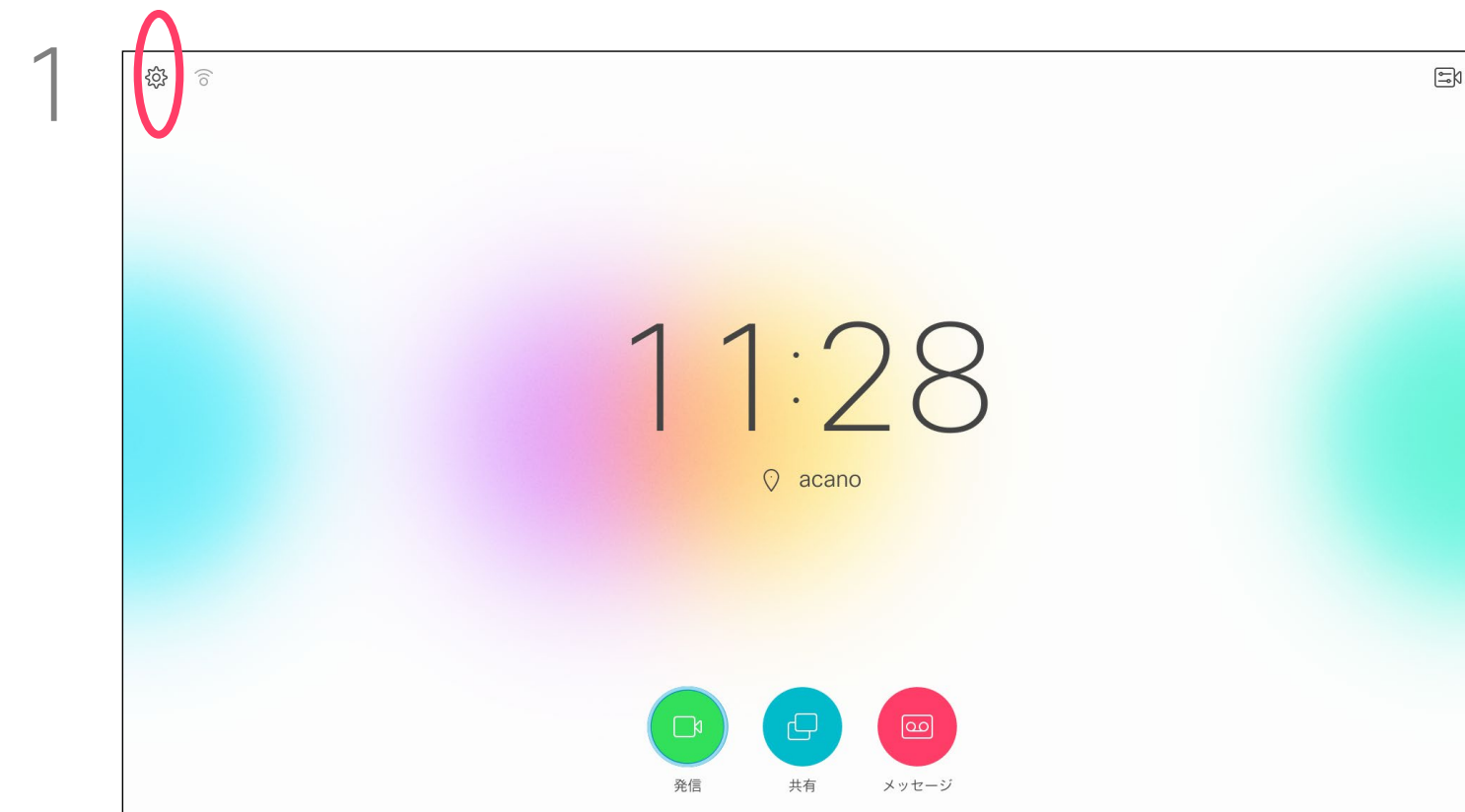


4 リモート コントロールの OK キーを押してメニューを終了させると、変更が有効になります。

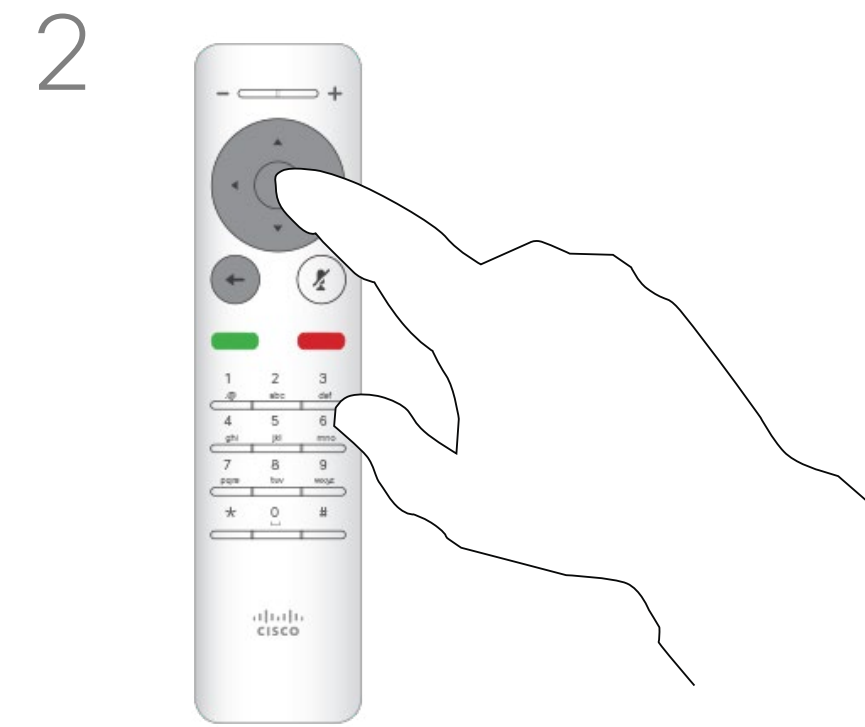
ビデオ通話 [スタンバイ (Standby)] を有効にする

スタンバイについて

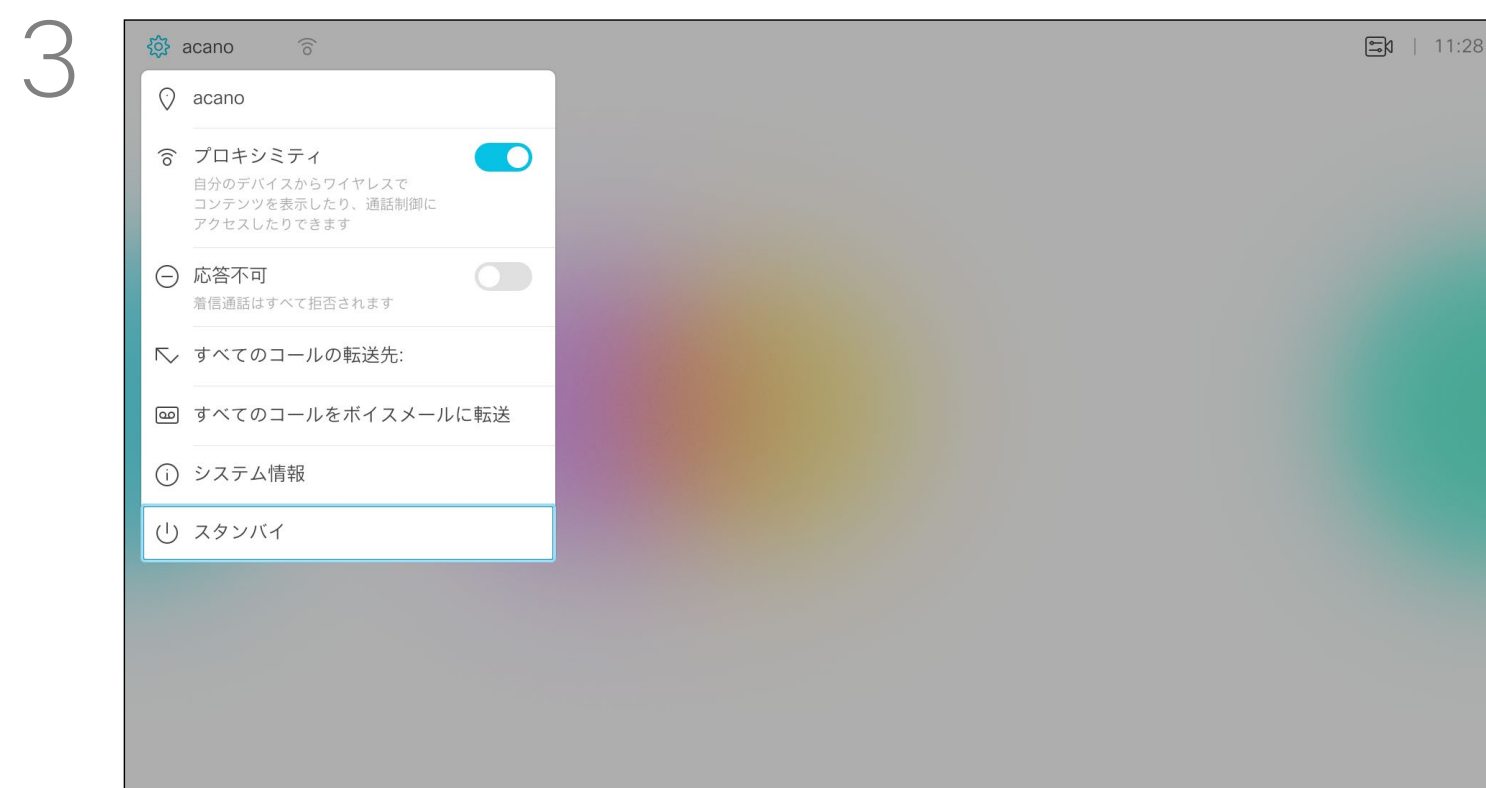
システムを [スタンバイ (Standby)] に設定すると、電力を節約できます。この場合も、通常どおりに着信できます。



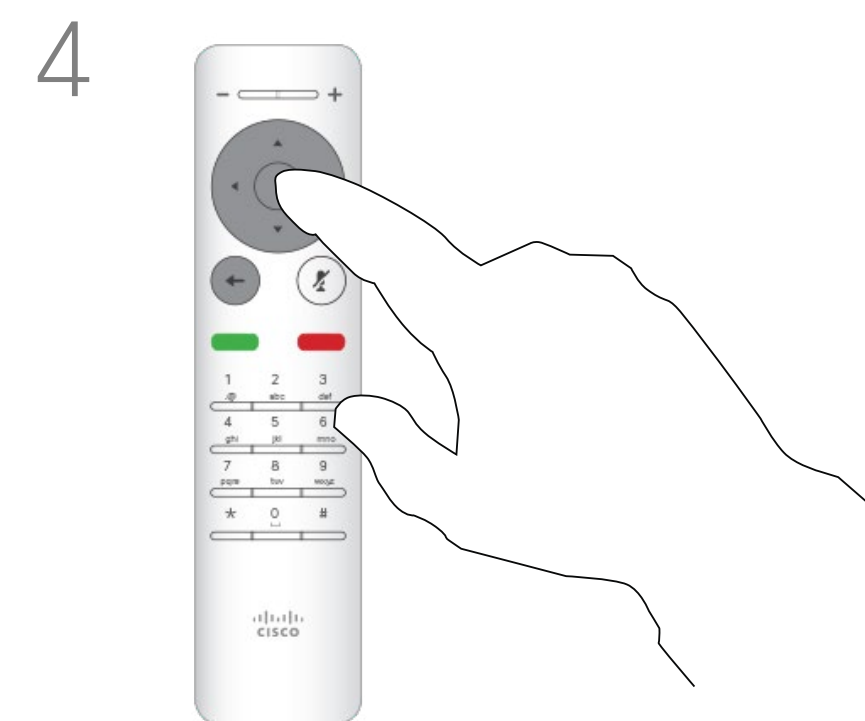
[ホーム (Home)] 画面でリモート コントロールの方向キーを使用して、画面左上の設定アイコンを選択します。



リモート コントロールの OK を押します。



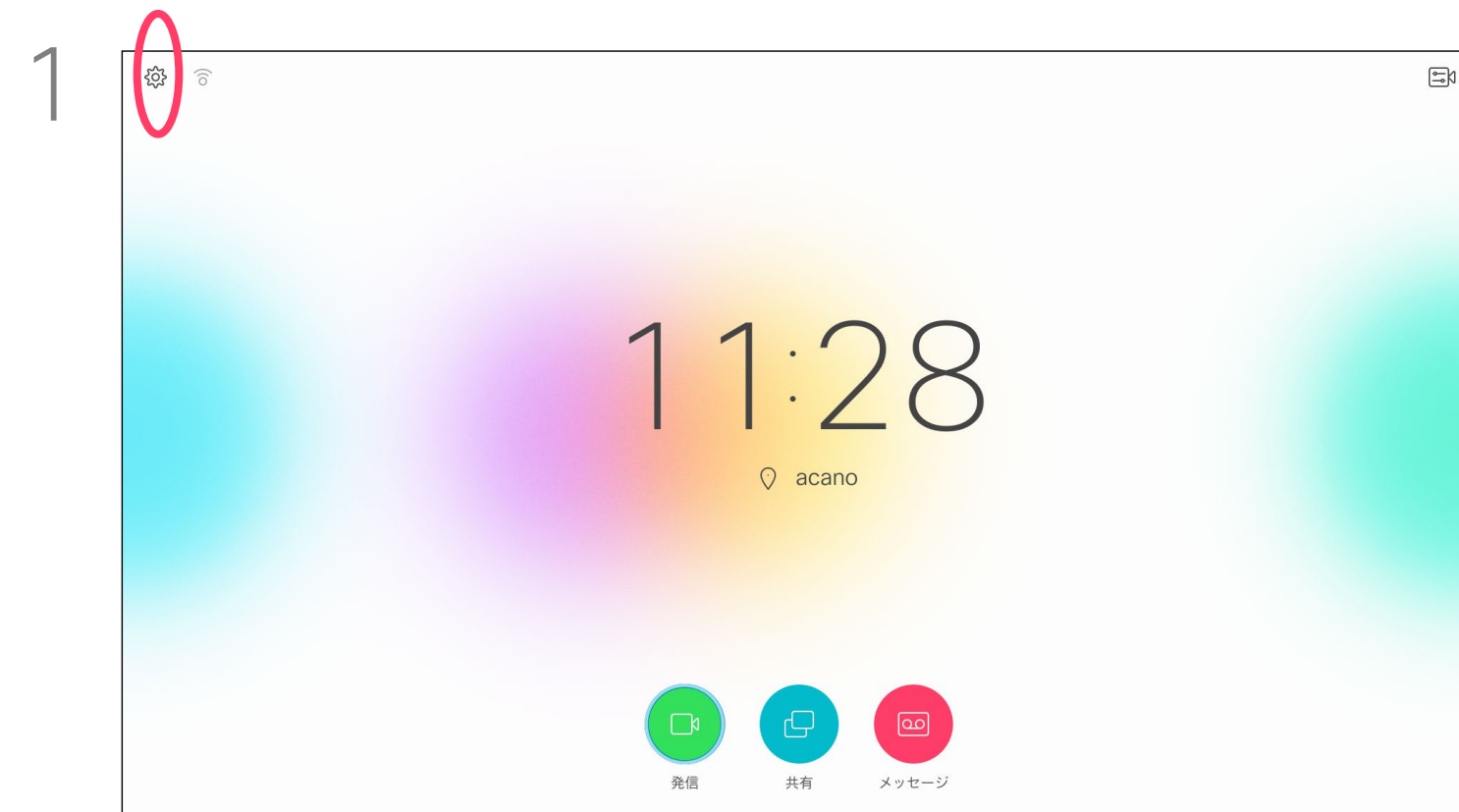
下方向キーを押して [スタンバイ (Standby)] に移動します。



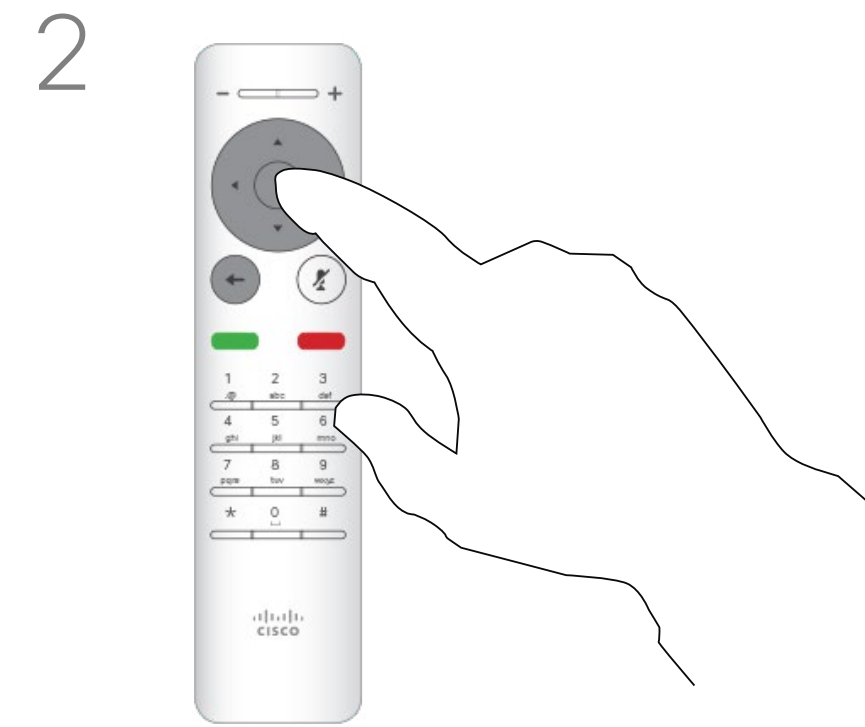
リモート コントロールの OK キーを押してメニューを終了させると、変更が有効になります。

ビデオ通話 すべての通話を転送する

転送について

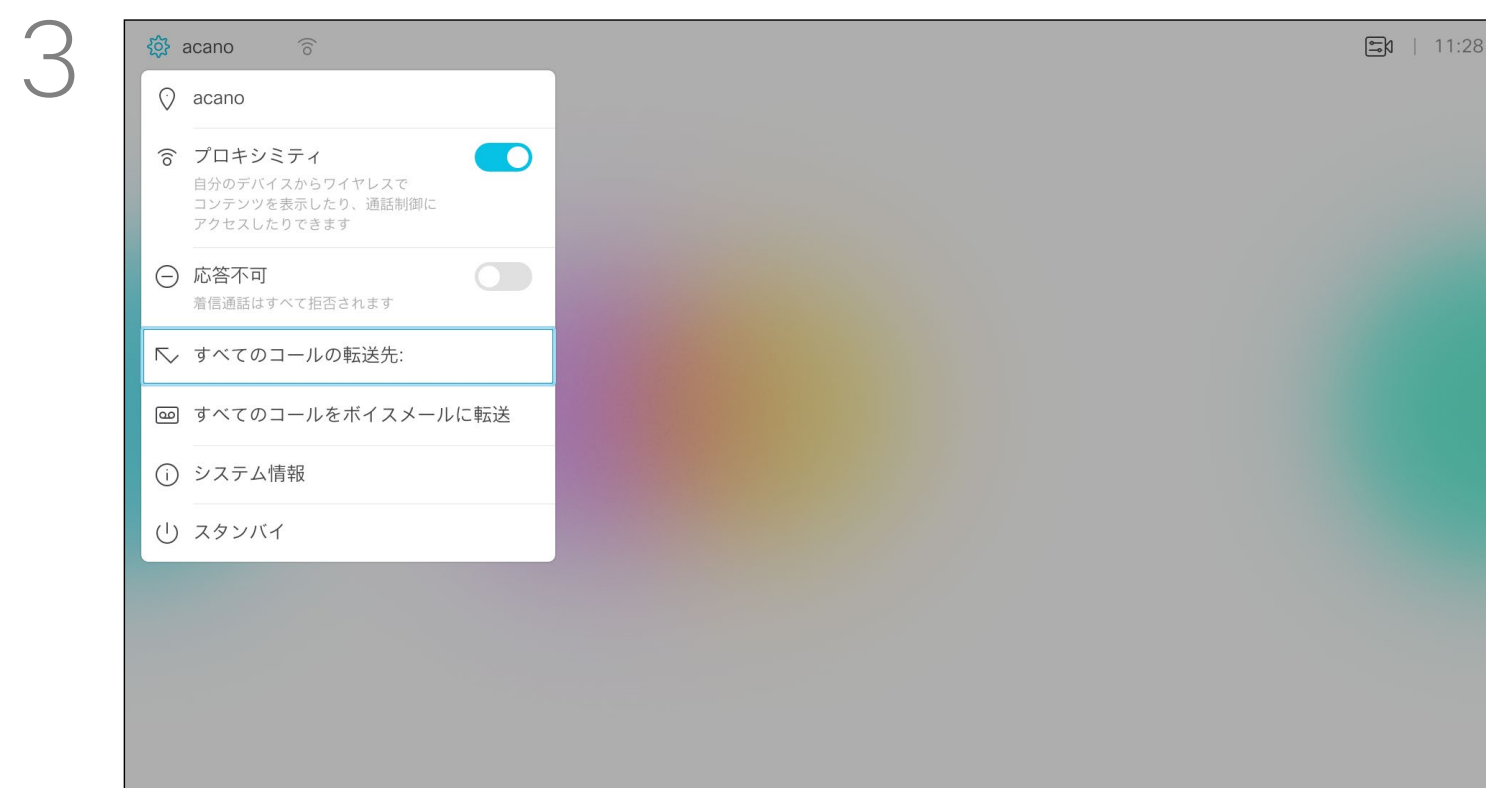


1 [ホーム (Home)]画面でリモート コントロールの方向キーを使用して、画面左上の設定アイコンを選択します。

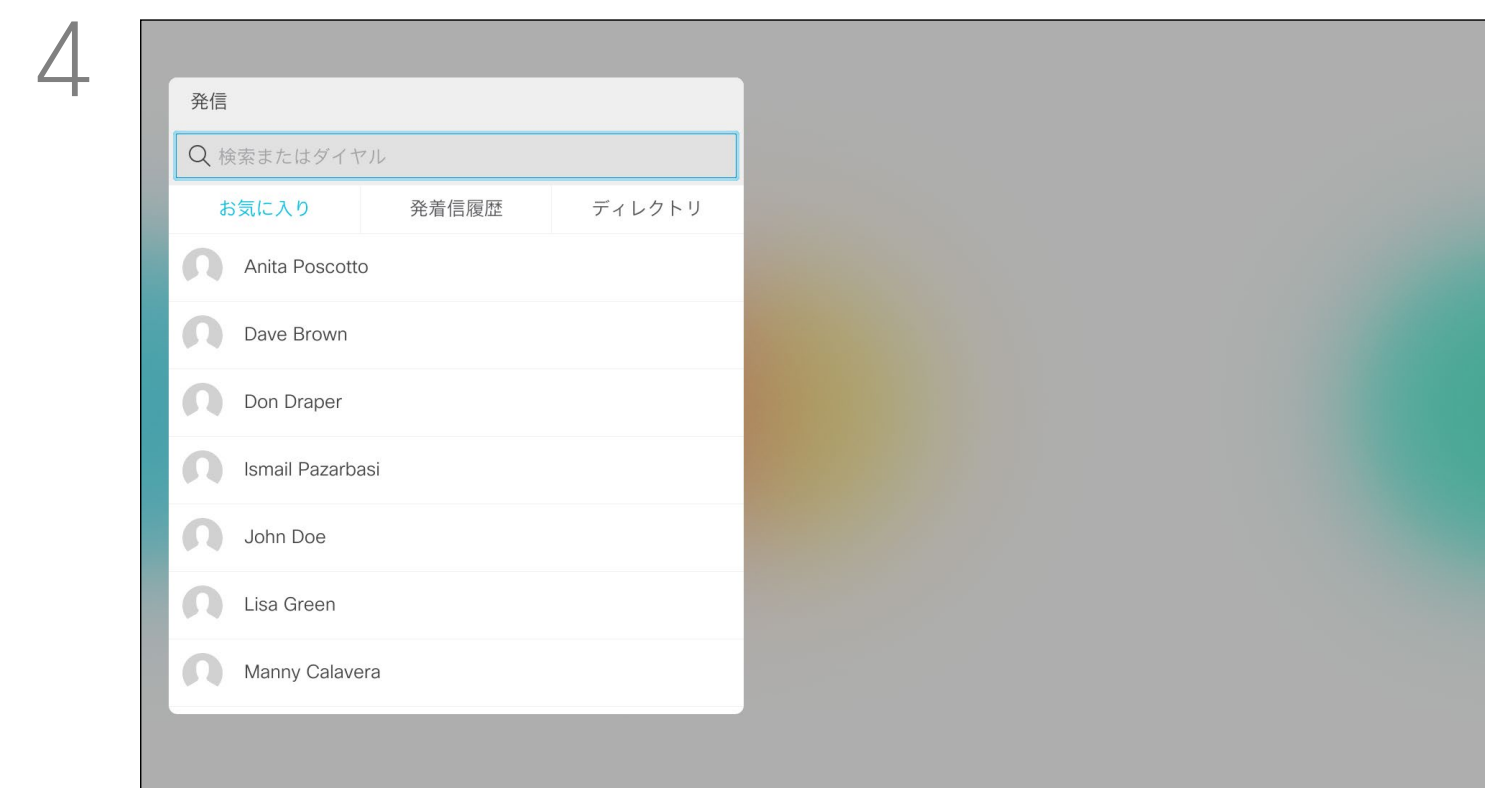


2 リモート コントロールの OKを押します。

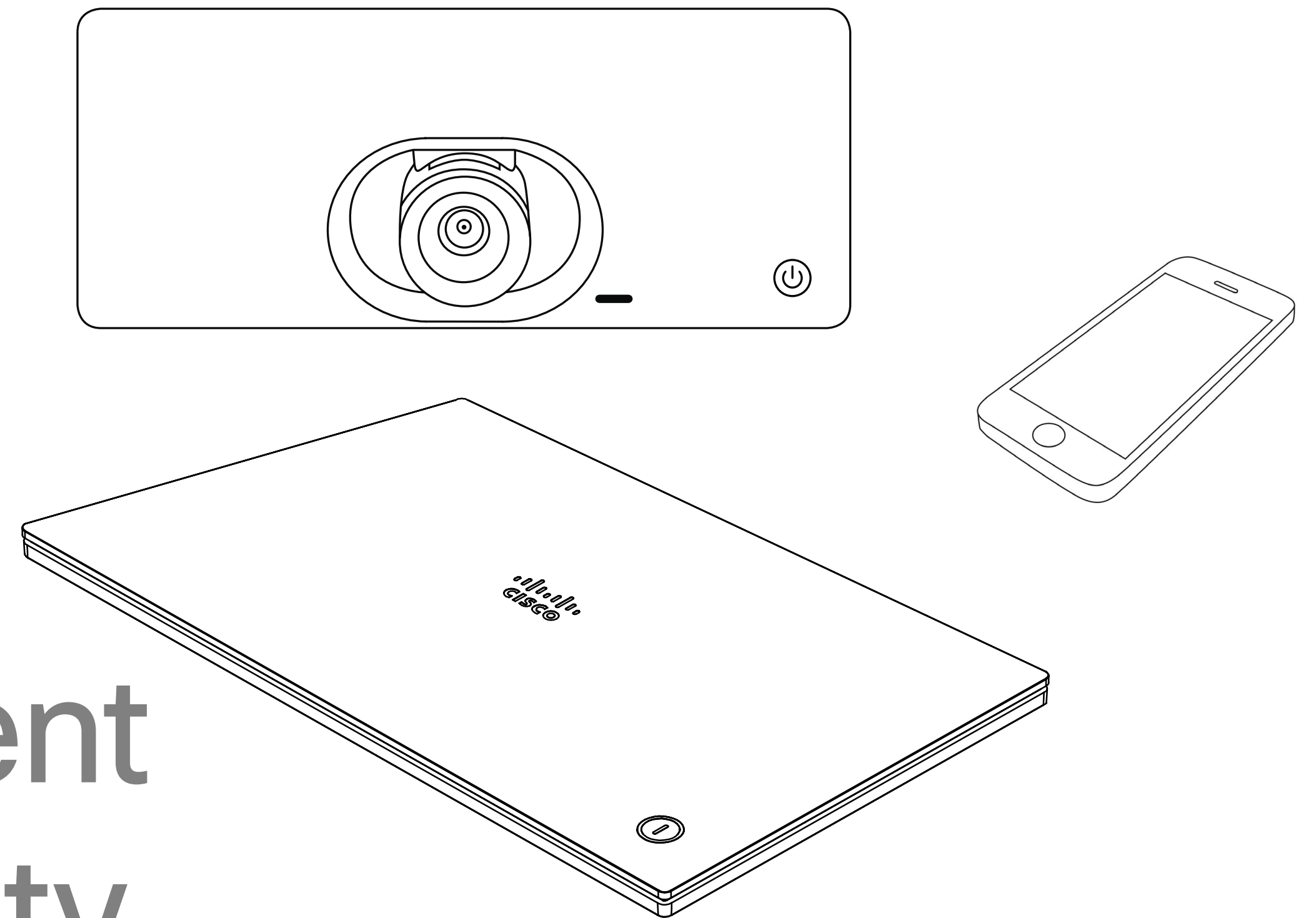
この機能がアクティブになっていれば、すべての通話の転送先の名前、番号、またはアドレスを定義できます。すべての通話をボイスメール (該当する場合) に転送するか、指定した受信者に転送するかを選択できます。指定した受信者への転送を選択した場合は [発信 (Call)]メニューが表示され、転送先を選択できます。



3 方向キーを押して [すべての通話の転送先 (Forward all calls to...)] に移動します。すべての通話をボイスメールに転送するには、[すべての通話をボイスメールに転送 (Forward all calls to Voicemail)] に移動し、OK を押します。



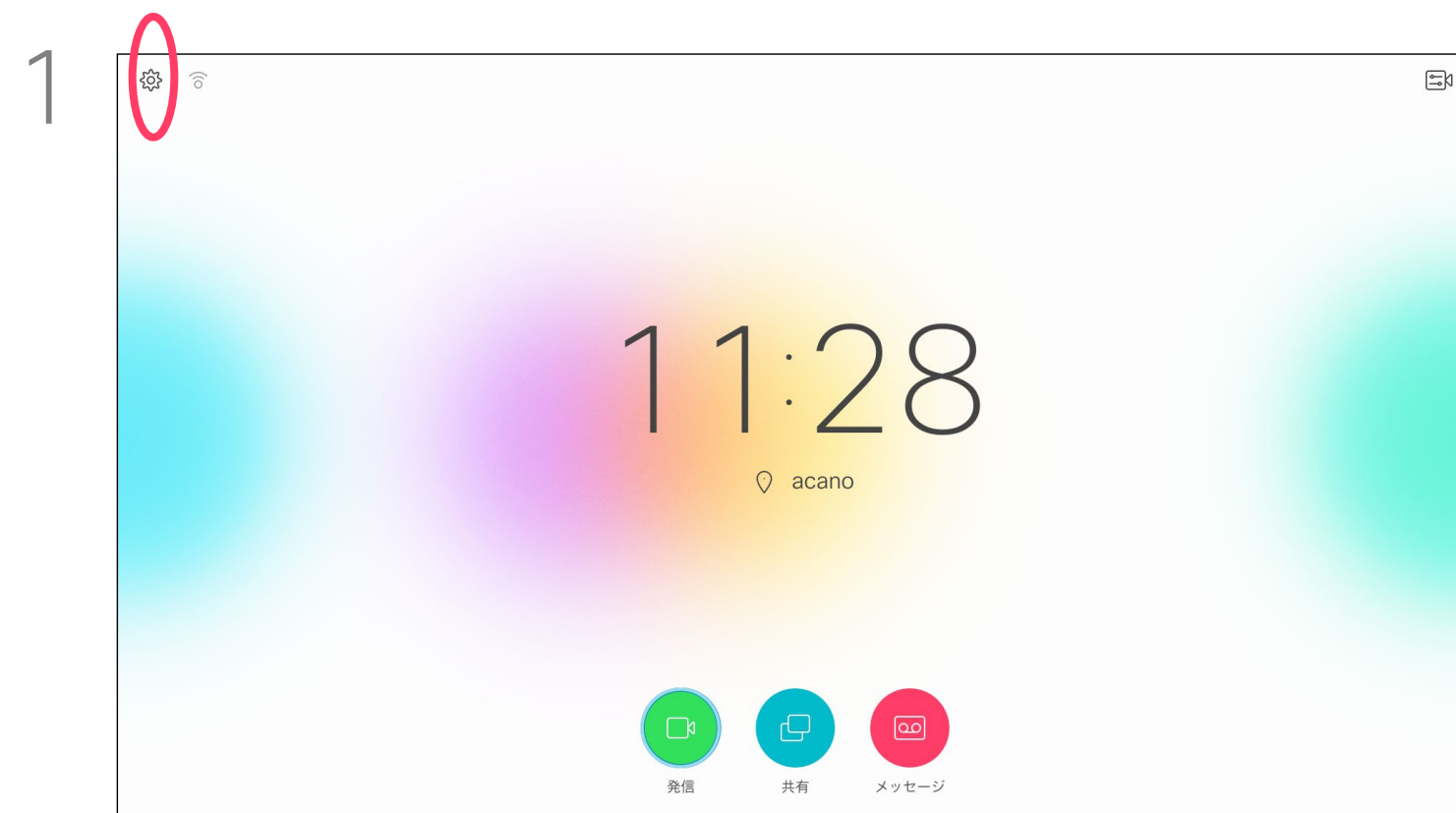
4 [すべての通話の転送先 (Forward all calls to...)] を選択すると、[発信 (Call)]メニューに移動します。発信する相手を選択するのと同じ方法で、すべての通話を転送する相手を選択します。



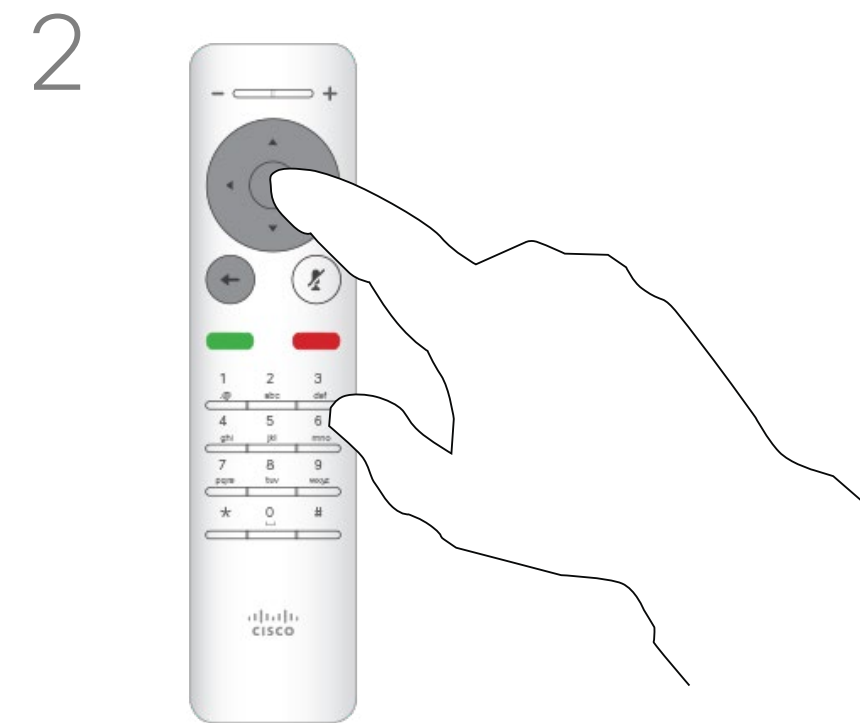
Intelligent Proximity

Intelligent Proximity のアクティブ化

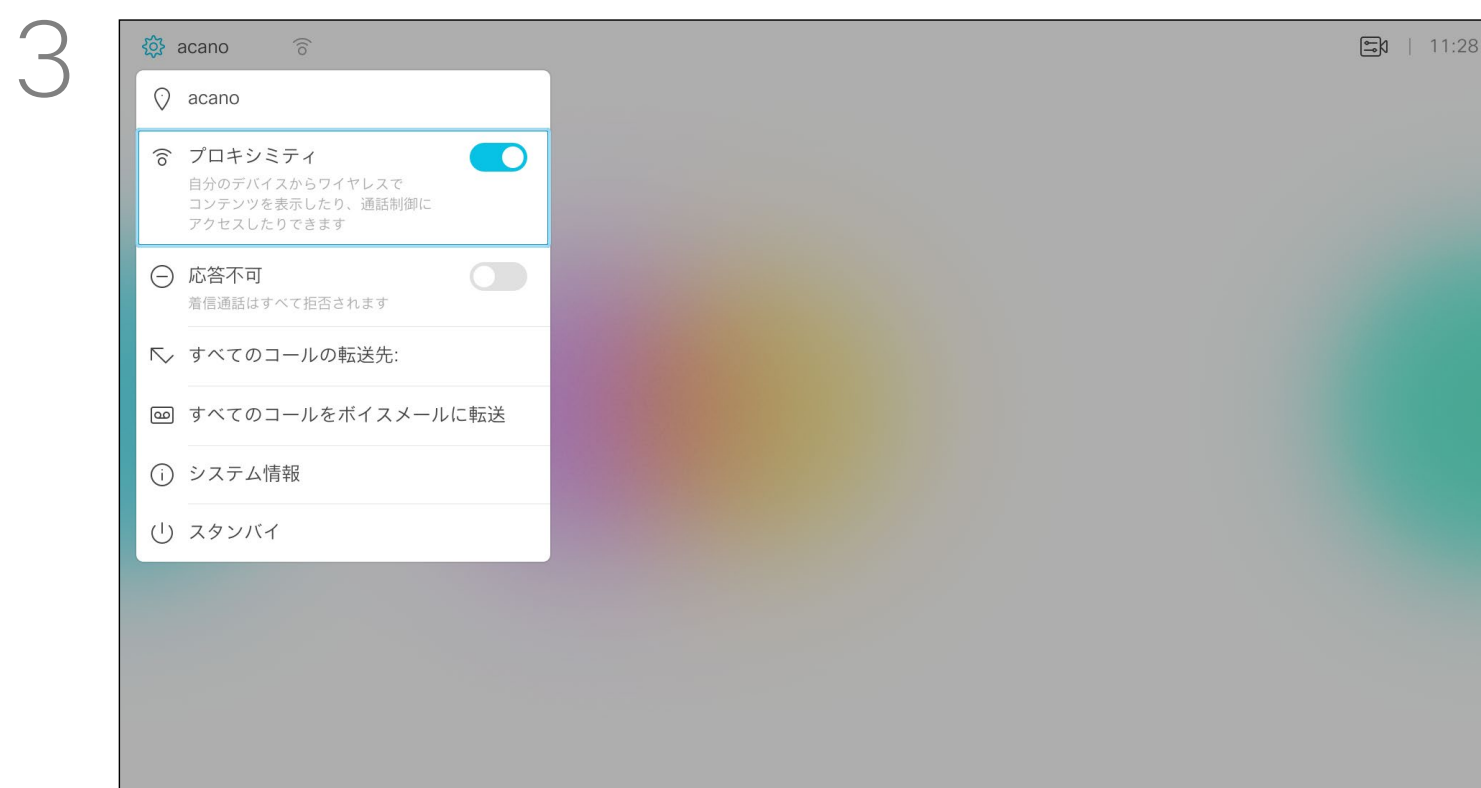
プロキシミティについて



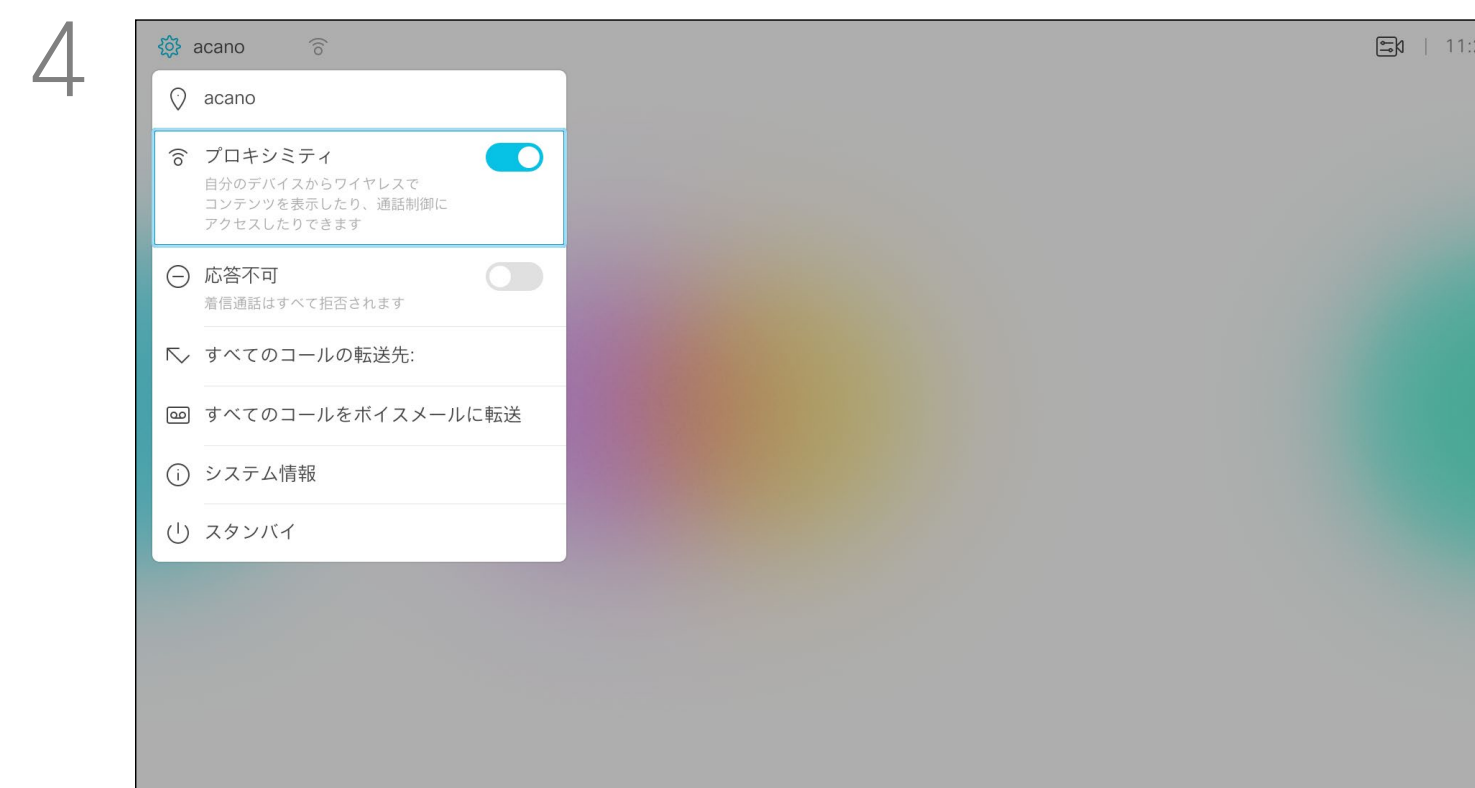
1 [ホーム (Home)]画面でリモート コントロールの方向キーを使用して、画面左上の設定アイコンを選択します。



2 リモート コントロールの OKを押します。



3 方向キーを押して [プロキシミティ (Proximity)]に移動します。OKを押してアクティブにします。



4 非アクティブにするには、この手順を繰り返します。

Intelligent Proximity 機能を使用すれば、手元の端末 (スマートフォン、iPad、Android タブレット、PC、Mac) でワイヤレスでビデオ システムのコンテンツを共有、表示、キャプチャできます。またビデオ システムの通話を制御することもできます。

次のことを確認します。

App Store または Google Play から、Cisco Intelligent Proximity アプリケーション (無料) をダウンロードする必要があります。Windows または OS X を使用している場合は、<https://www.ciscospark.com/> [英語] にアクセスしてください。

ビデオ サポート チームは、すべての機能を有効にしている場合も、無効にしている場合も、一部の機能だけを有効にしている場合もあります。

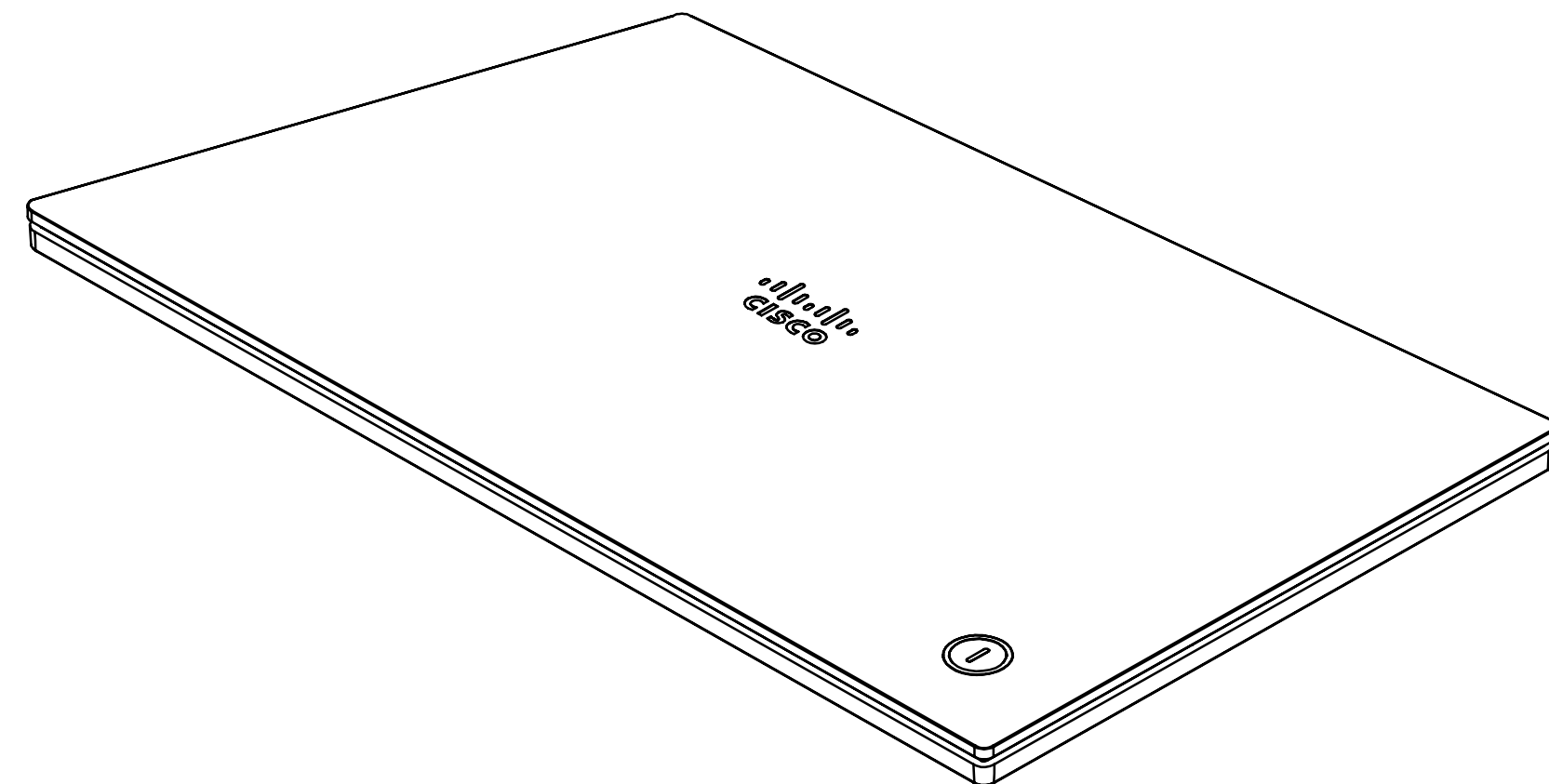
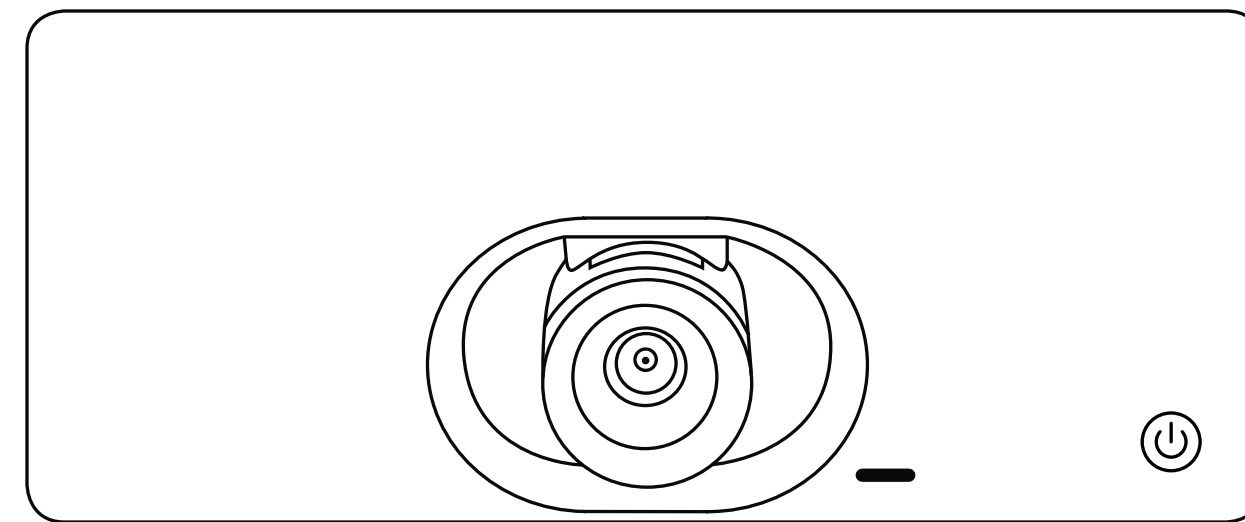
Intelligent Proximity では、ユーザとの接続に超音波を使用します。スマートフォンやタブレットのマイクをふさがないようにしてください。

Intelligent Proximity は、会議室の外では機能しないように設計されています。

ただしプライバシー上の必要がある場合は、会議室の入口を閉めて、隣室に音が漏れないようにします。

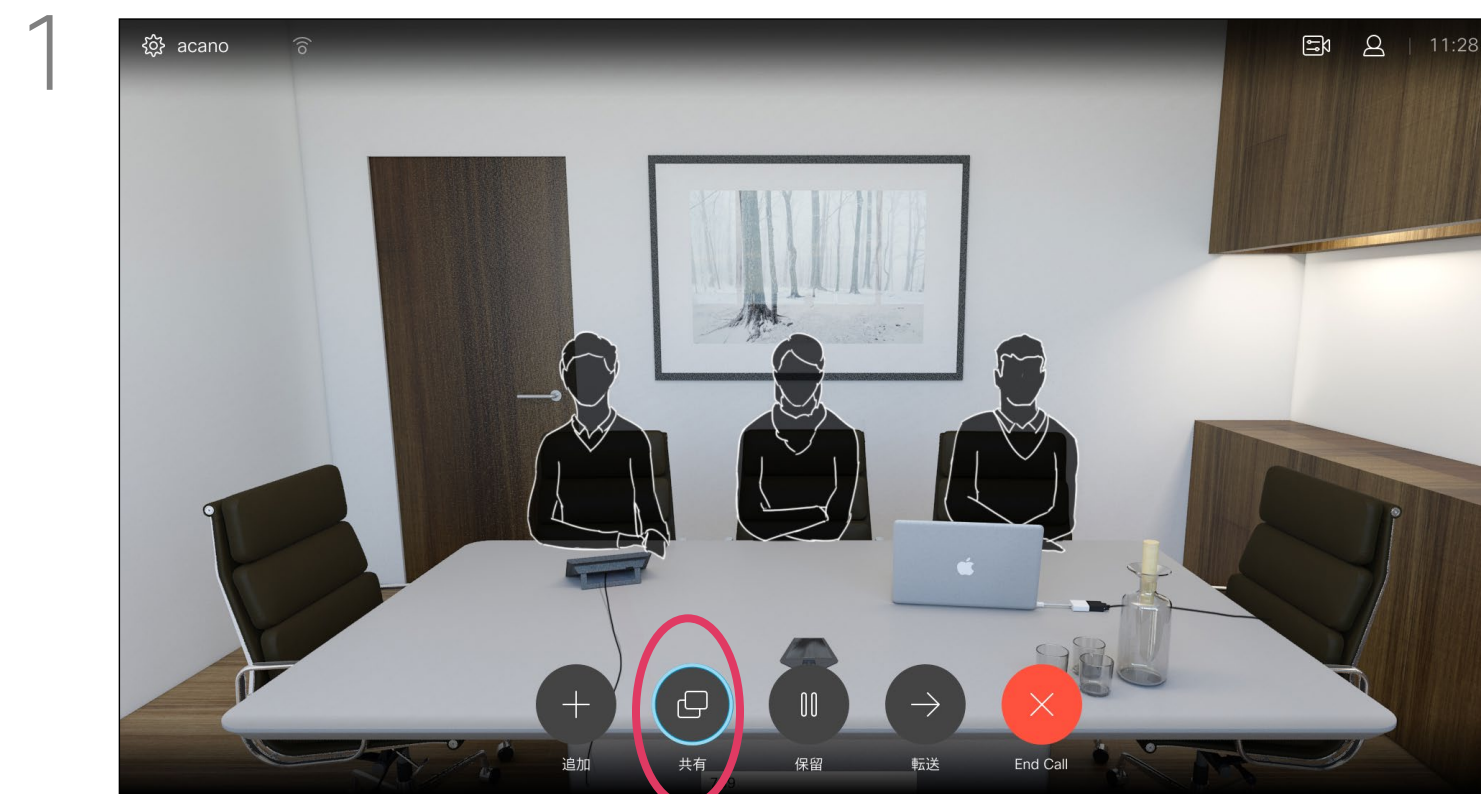
システムで使用できる場合、Intelligent Proximity は、画面の左上隅からアクセス可能な [設定 (Settings)] メニューでアクティブまたは非アクティブにすることができます。

コンテンツ共有

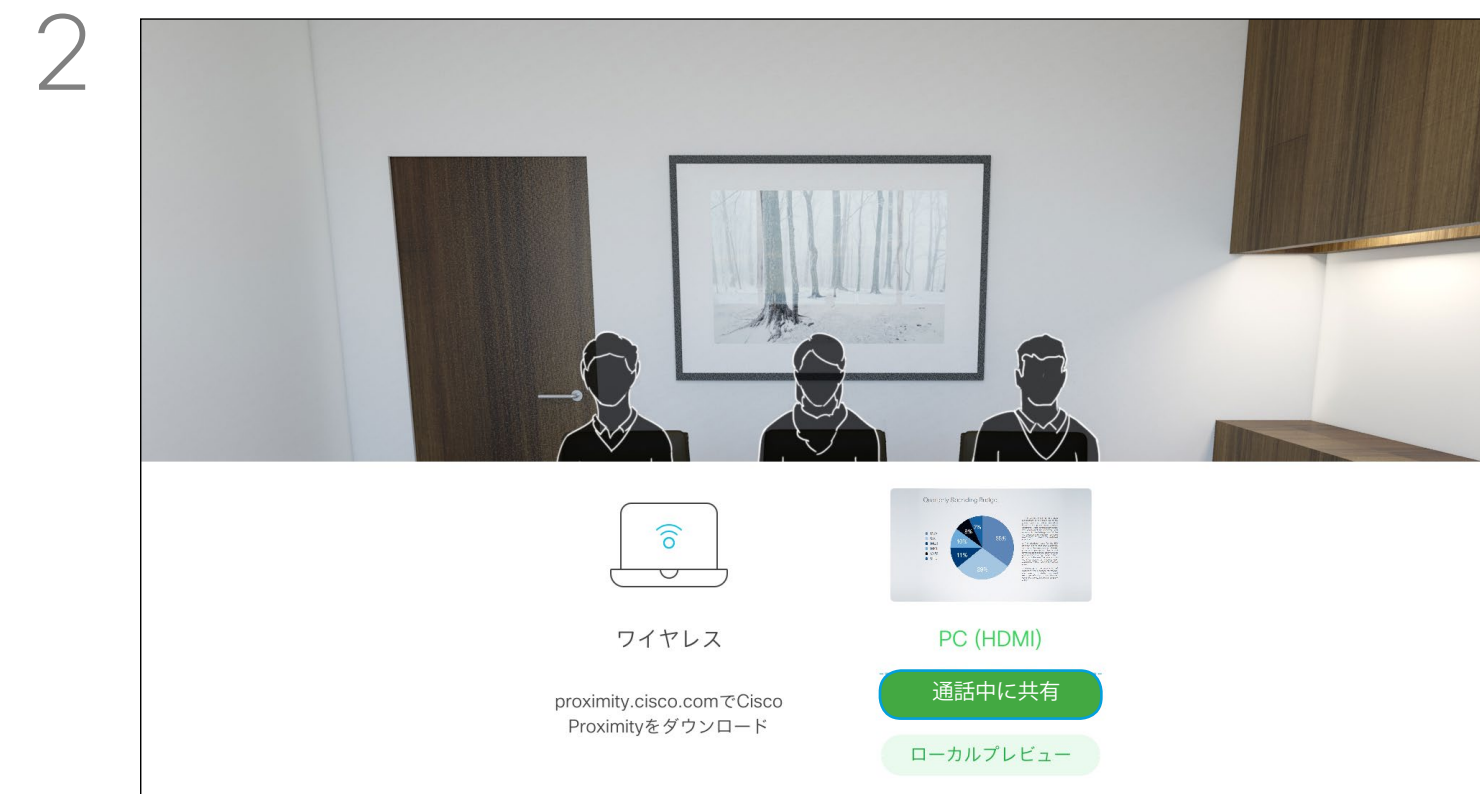


コンテンツ共有 プレゼンテーションの開始と中止

コンテンツの 共有について

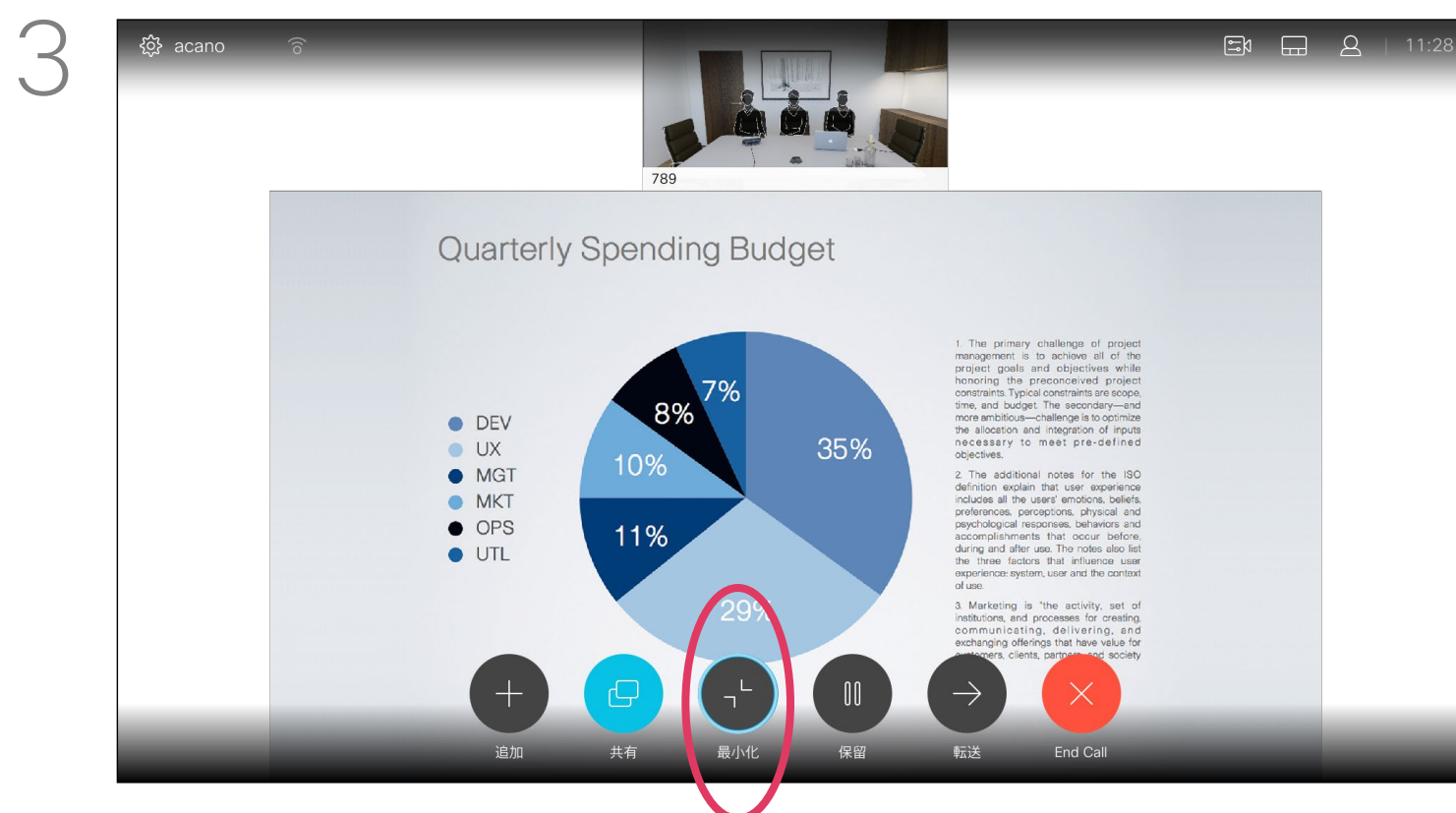


1 プレゼンテーションの送信元が接続され、オンになっていることを確認します。場合によっては、[共有 (Share)] を選択し、リモート コントロールの OK を押す必要があります。



2 [通話中に共有 (Share in call)] を選択する前に [ローカル プレビュー (Local preview)] を選択すると、他の参加者と共有せずにコンテンツを確認できます。

通話中または通話外で、この機能を使用して PC のコンテンツを共有します。手順はどちらの場合も同じですが、ここでは通話中の方法のみ説明します。プロキシミティを使用してコンテンツを共有するには、プレゼンテーションの送信元に Cisco Proximity がインストールされていることを確認してください。ペアリングが完了するまでしばらく時間がかかります。画面の指示に従います。

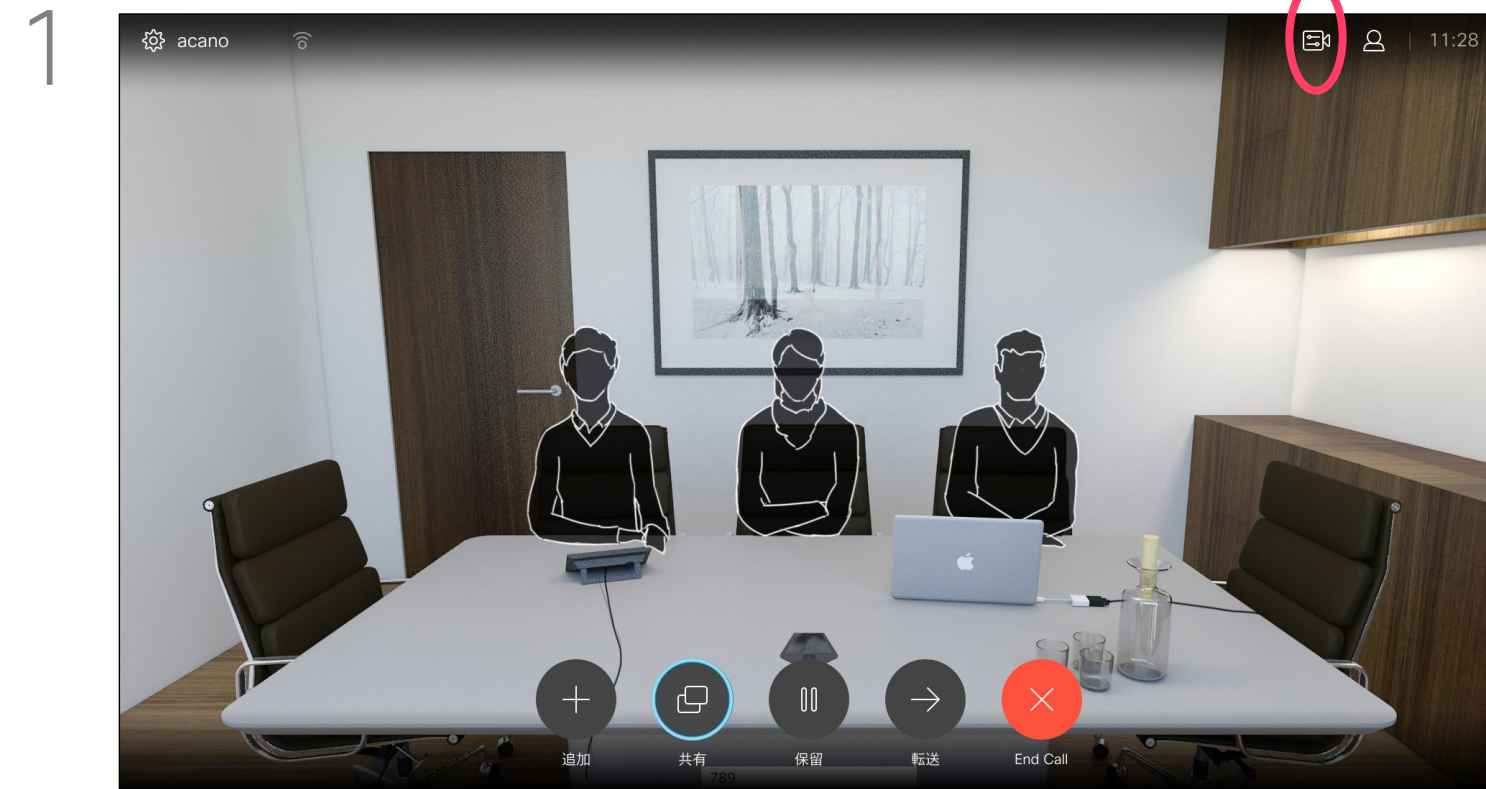


3 共有画像のサイズは、[最小化 (Minimize)]/[最大化 (Maximize)] ボタンで操作します。必要に応じてこのボタンを選択し、リモート コントロールの OK を押します。

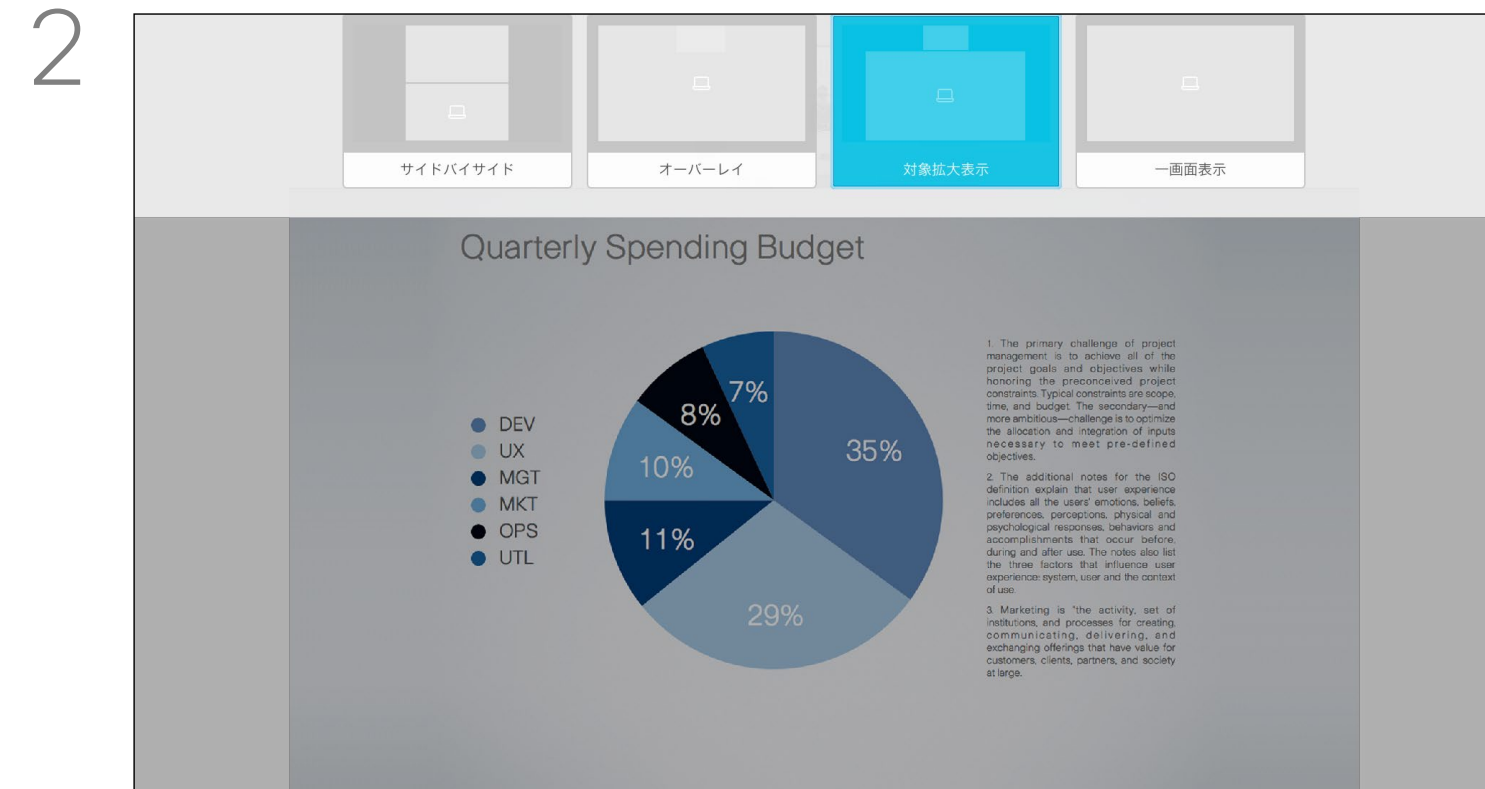


4 コンテンツの共有を停止するには、[共有を停止 (Stop Sharing)] (画面下部の一番左に表示) を選択し、リモート コントロールの OK を押します。

コンテンツ共有
通話中にプレゼンテーション レイアウトを変更する



右上のレイアウト (☐) に移動し、リモート コントロールの OKを押します。該当する場合にだけ、このアイコンが表示されます。

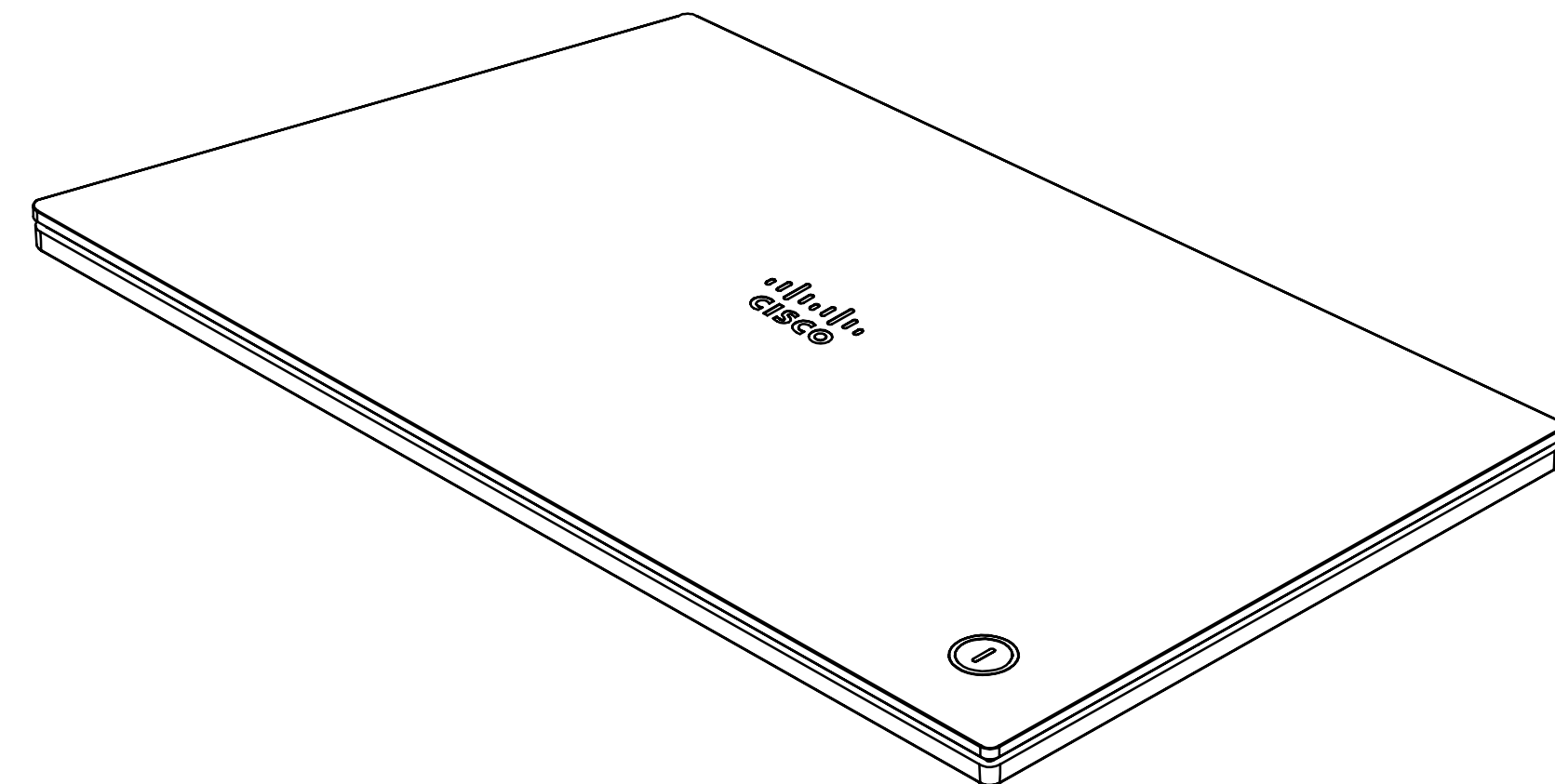
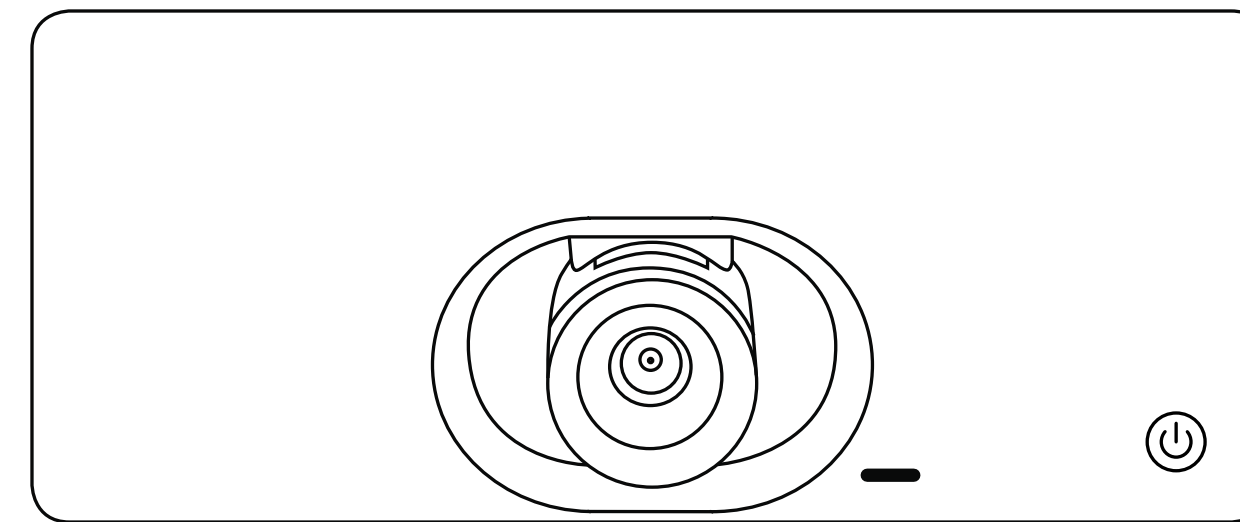


方向キーを使用して新しいレイアウトに移動し、OK を押します。

プレゼンテーション中に画面のレイアウトを変更できます。選択できるオプションには、プレゼンターの表示/非表示、プレゼンターを PiP (ピクチャインピクチャ) で表示する、PoP (ピクチャアウトサイドピクチャ) で表示する、があります。

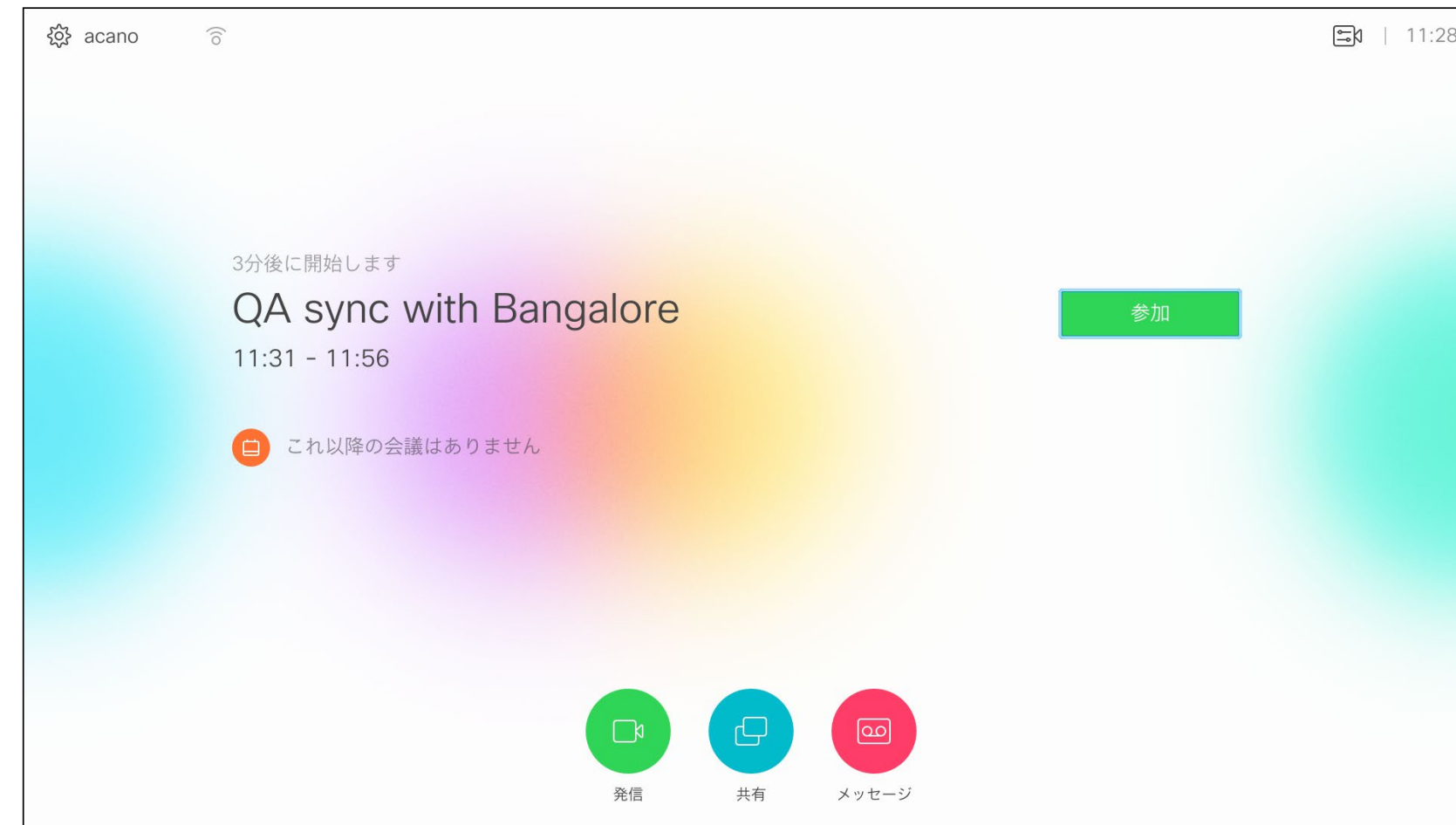
ご使用のシステムで選択できるレイアウト オプションは、ここに示すオプションと異なる場合がありますが、表示されるレイアウトを選択すれば切り替えられます。

予定された 会議



予定された会議
予定された会議に参加する

参加可能な会議に参加するには、緑色の [参加 (Join)] ボタンに移動します。リモート コントロールの OK を押します。



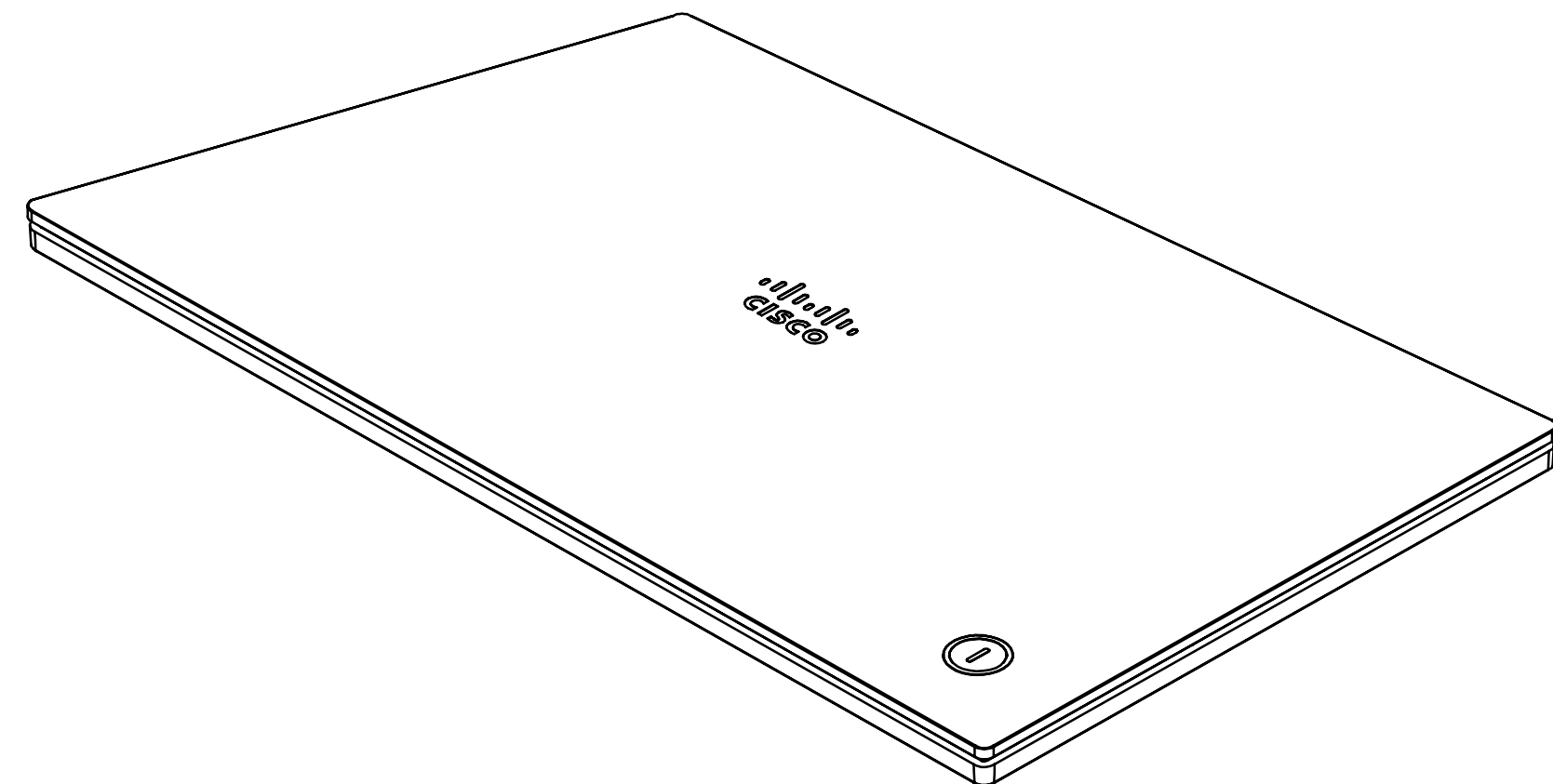
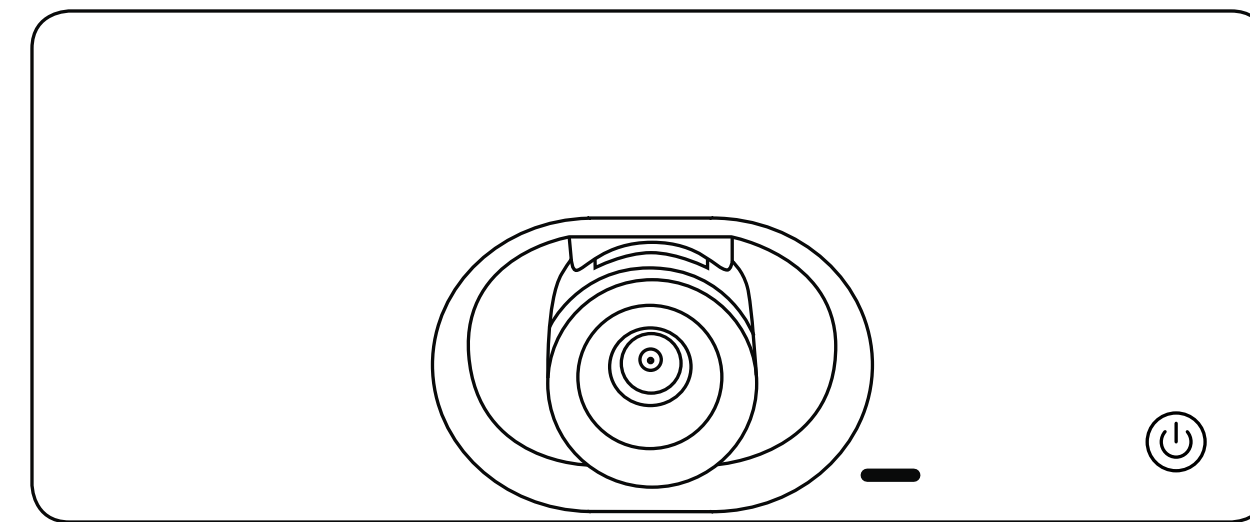
会議への参加

ビデオ会議をスケジュールすることができる管理システムに、ビデオ システムを接続することができます。左の図のように、予定されている会議が表示されます。

会議に参加するには [参加 (Join)] をタップします。

会議がすでに開始されている場合でも参加できます。

連絡先



連絡先

非通話時に [お気に入り (Favorite)] に追加する

[ディレクトリ (Directory)], [発着信履歴 (Recents)], [お気に入り (Favorites)] について

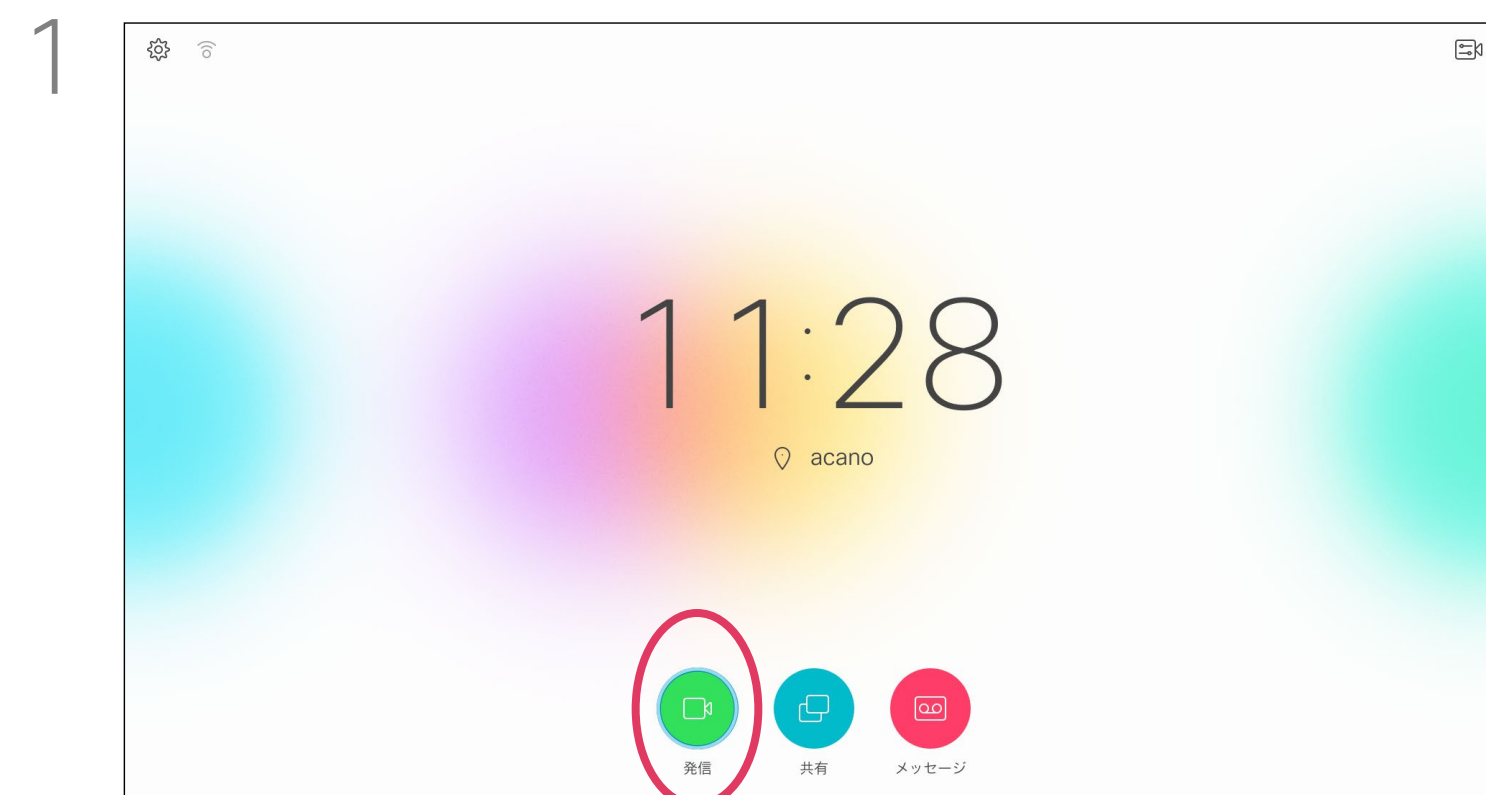
[ディレクトリ (Directory)] は、社内電話帳としての役割を果たします。このディレクトリは編集できません。ただし、エントリを [お気に入り (Favorites)] のリストにコピーした上で編集することはできません。

フォルダをタップしてそのコンテンツを表示します。必要に応じて、ディレクトリをスクロールしてフォルダやフォルダ内のエントリを探します。

社内ディレクトリを検索する場合は、現在のディレクトリ フォルダとそのサブフォルダのみが対象となります。

1 つ上のレベルに移動するには、[戻る (Back)] をタップします。検索を社内ディレクトリ全体に適用する場合は、検索を開始する前に、フォルダを入力 (タップ) しないでください。

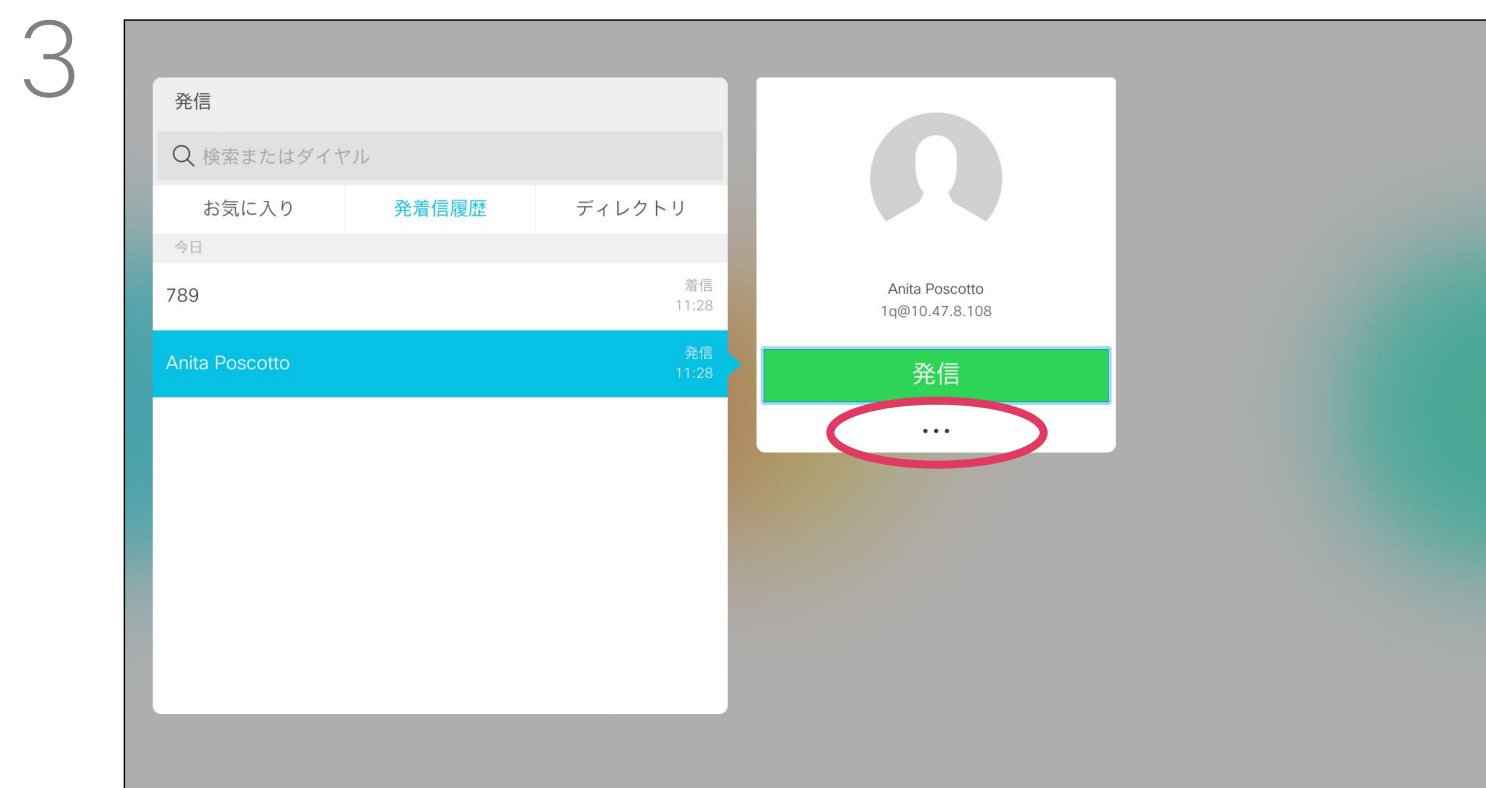
ディレクトリからお気に入りのリストにコピーしたエントリが、その後ディレクトリ内で更新されることがあります。この更新はお気に入りのリストに反映されません。この場合、お気に入りのリストの該当するエントリを手動で更新する必要があります。手動の更新には、[編集して通話 (Edit and Call)] を使用します。



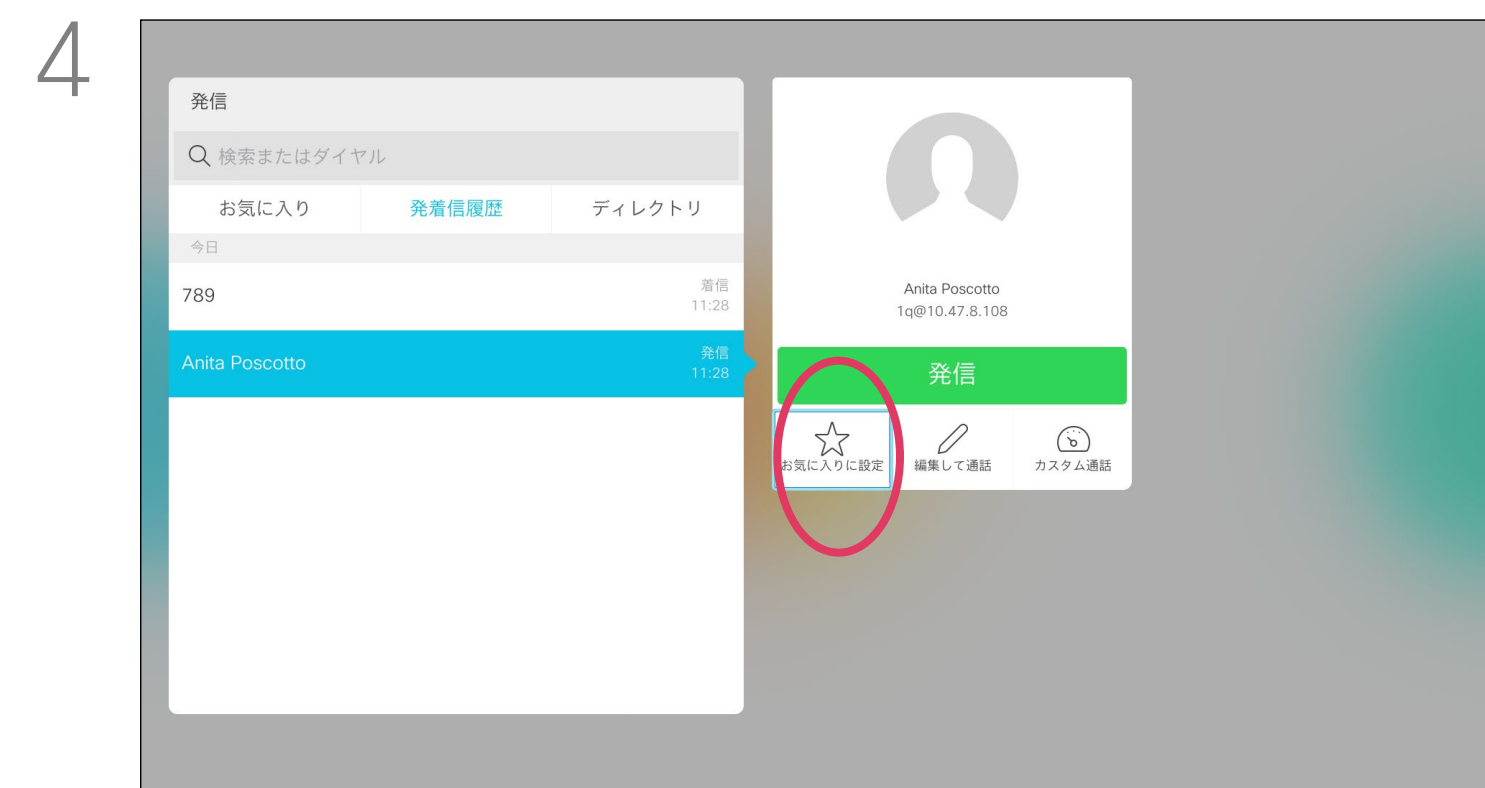
[発信 (Call)] (画面の下部に並んでいる一番左のフィールド) を選択し、リモート コントロールの OK を押すか、緑色の発信ボタンを押します。



[発信 (Call)] メニューが表示されます。方向キーを使用して、[発着信履歴 (Recents)] と [ディレクトリ (Directory)] を切り替え (右側の 2 つ)、いずれかのリストを選択できます。



エントリが見つかったら、リモート コントロールの OK を押して [発信 (Call)] メニューを呼び出し、方向キーを使用して、その他 (...) に移動します。OK を押します。

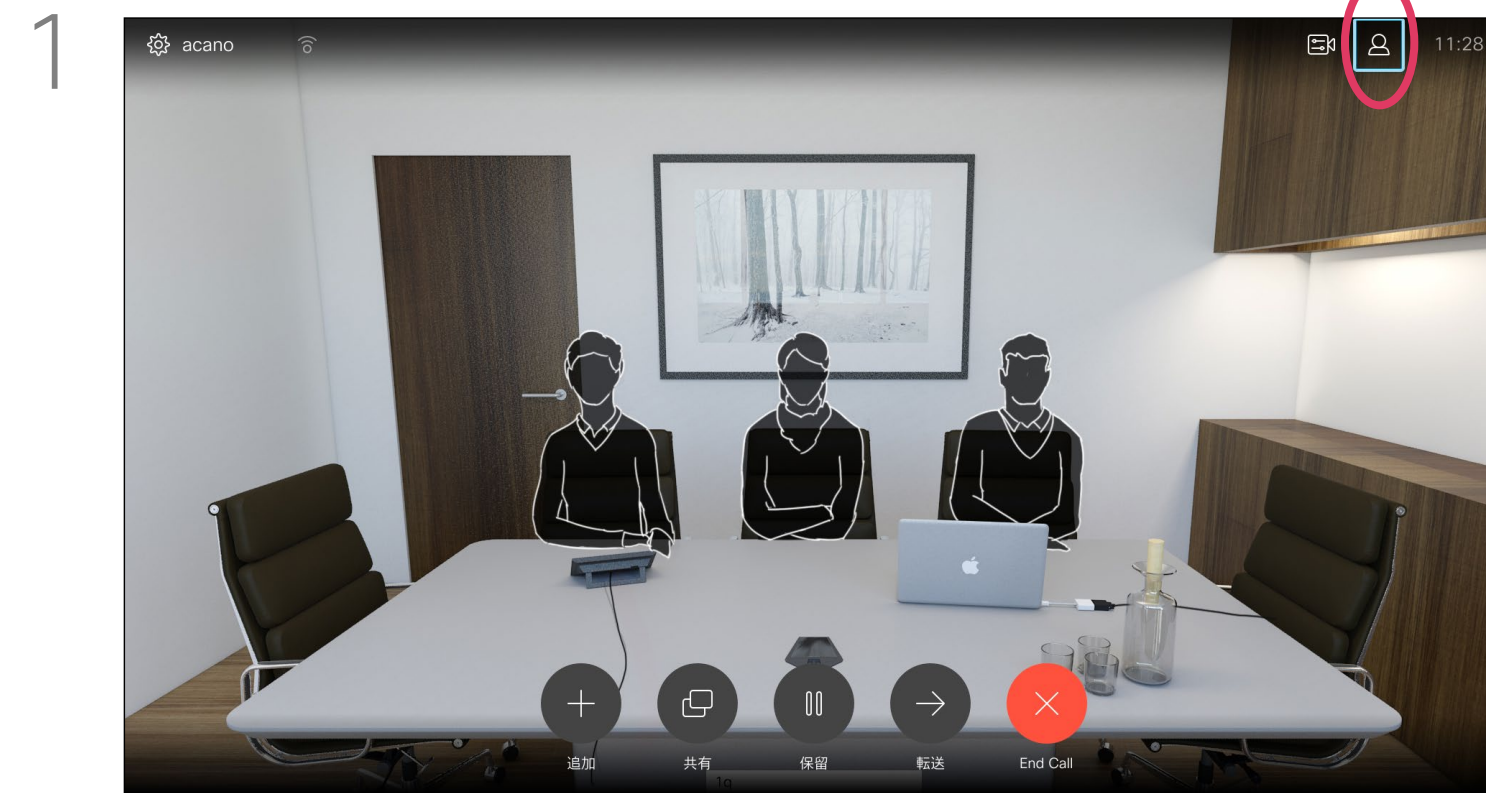


方向キーを使用して、[お気に入りとしてマーク (Mark as Favorite)] に移動します。リモート コントロールの OK を押すと、選択したエントリがお気に入りのリストに追加されます。

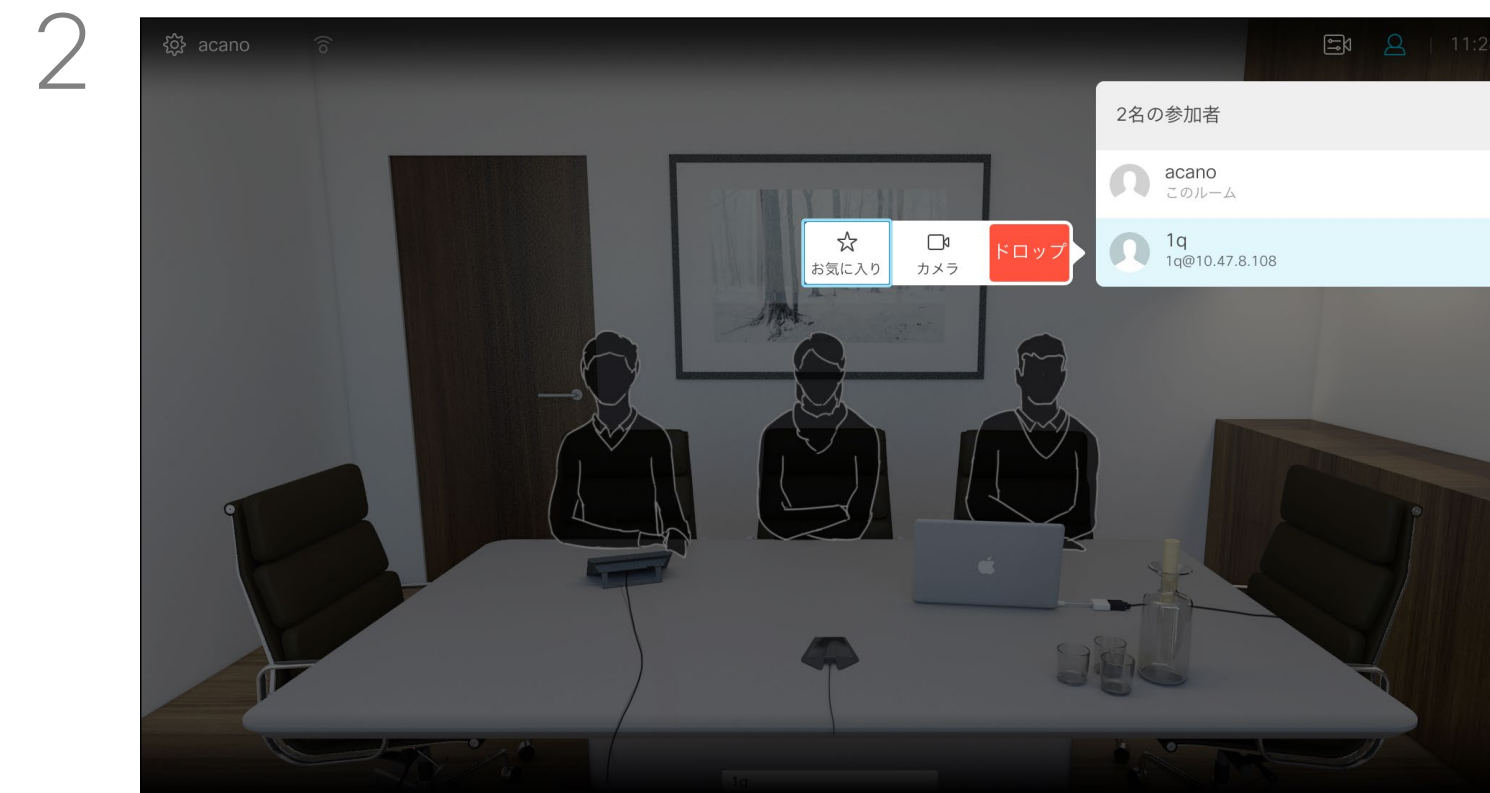
お気に入りリストから誰かを削除するには、この手順を繰り返します。

連絡先
通話中に [お気に入り (Favorite)] に追加する

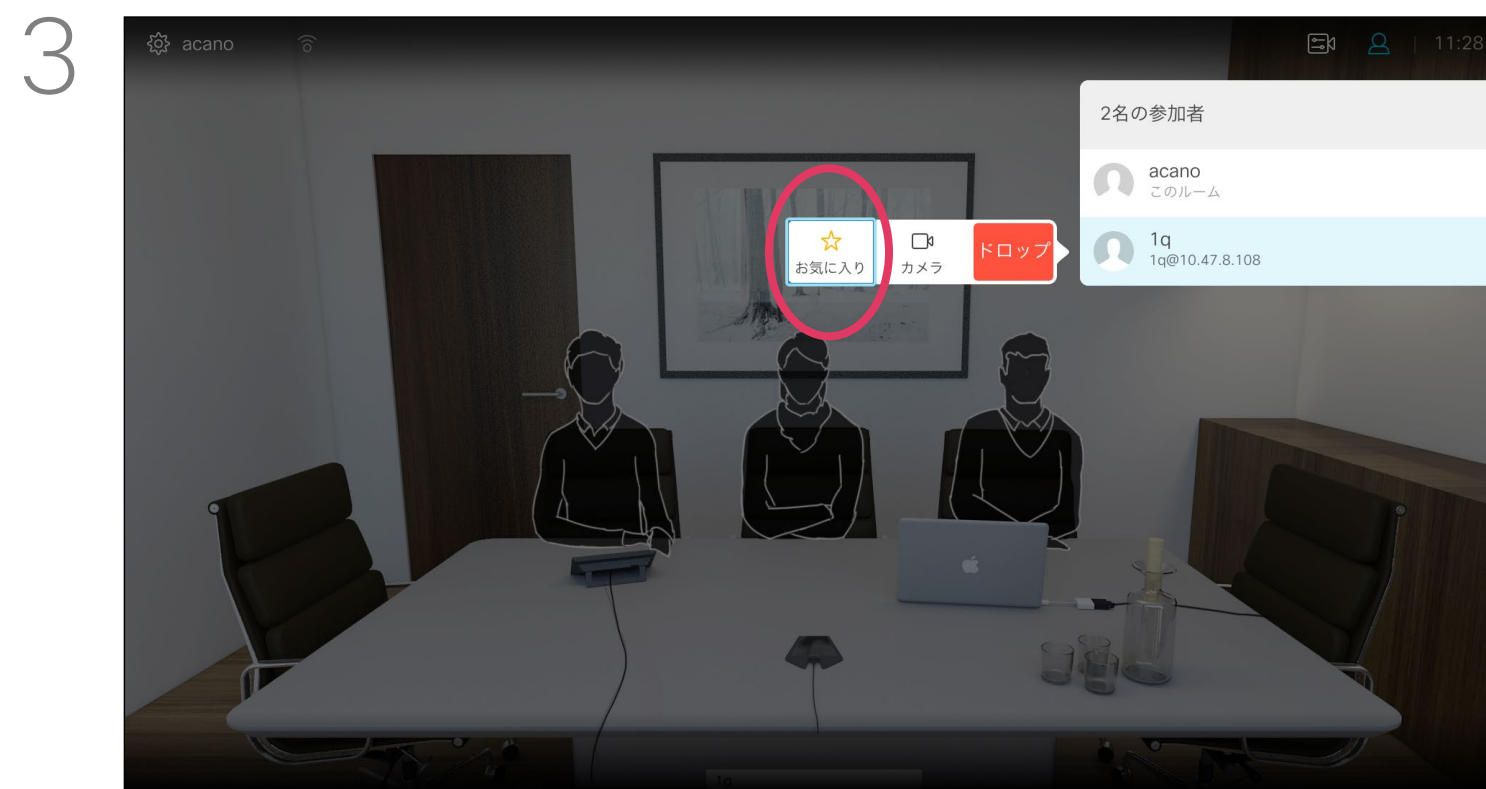
お気に入りについて



通話中に、リモート コントロールを使用して右上隅の参加者アイコンに移動し、リモート コントロールの OK を押します。



通話中の参加者のリストを示すメニューが表示されます。方向キーを使用して [お気に入り (Favorites)] に追加する参加者に移動し、リモート コントロールの OK を押します。サブメニューが表示されます。

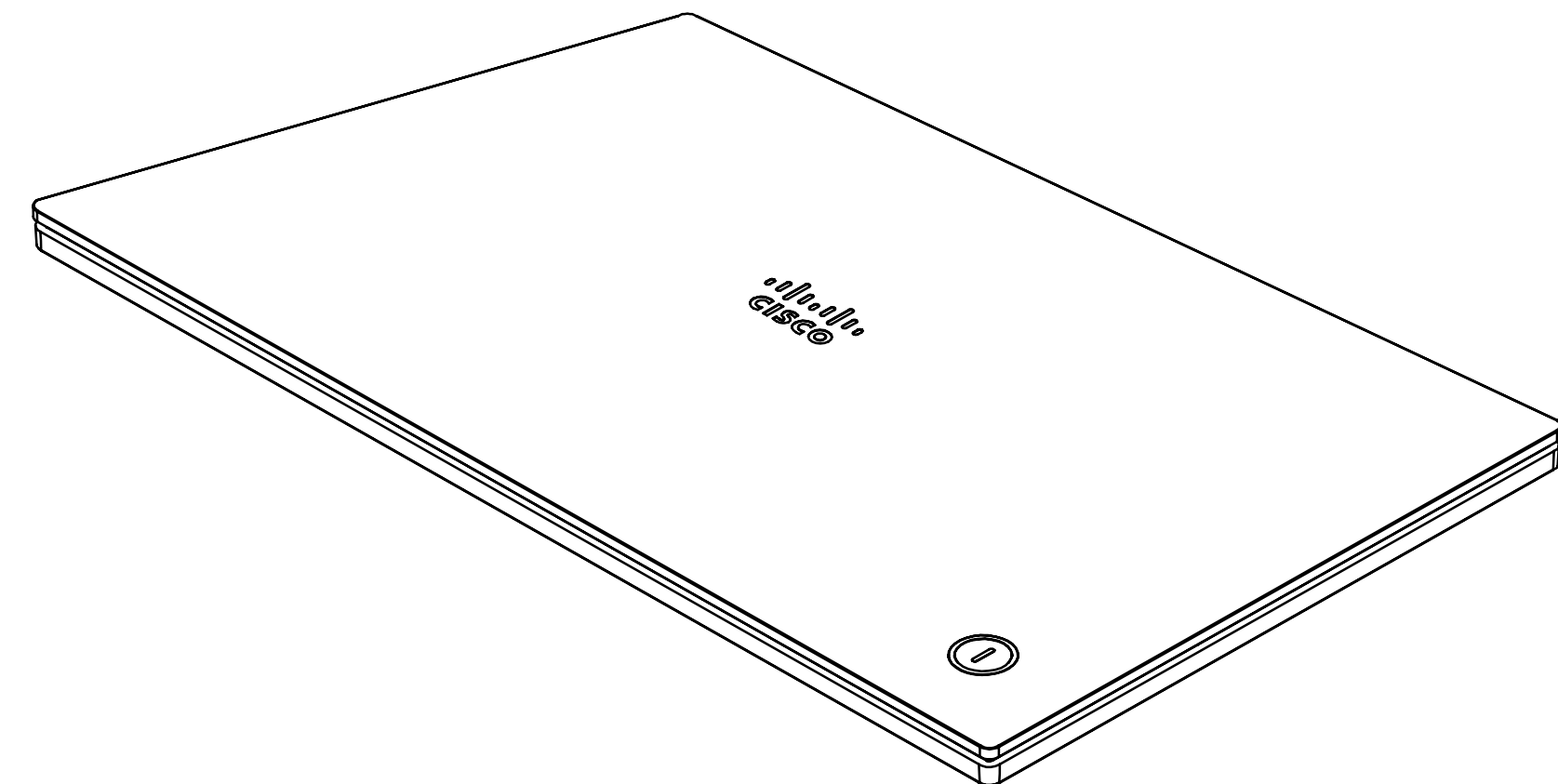
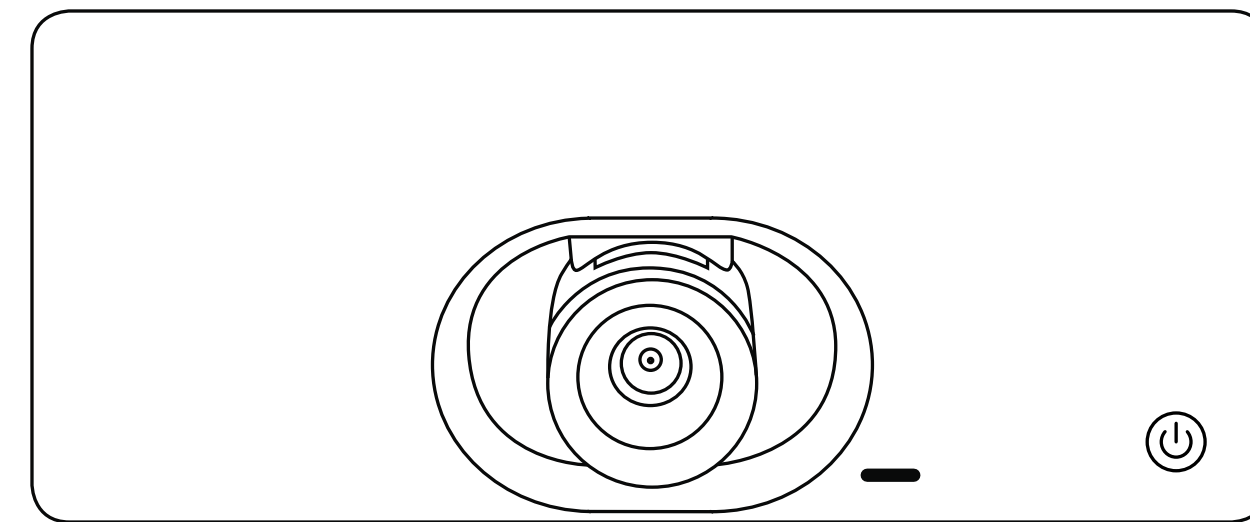


次に、このサブメニューの [お気に入り (Favorite)] に移動し (一番左)、リモート コントロールの OK を押します。選択した参加者が [お気に入り (Favorite)] に追加されます。

元に戻すには、この手順を繰り返します。

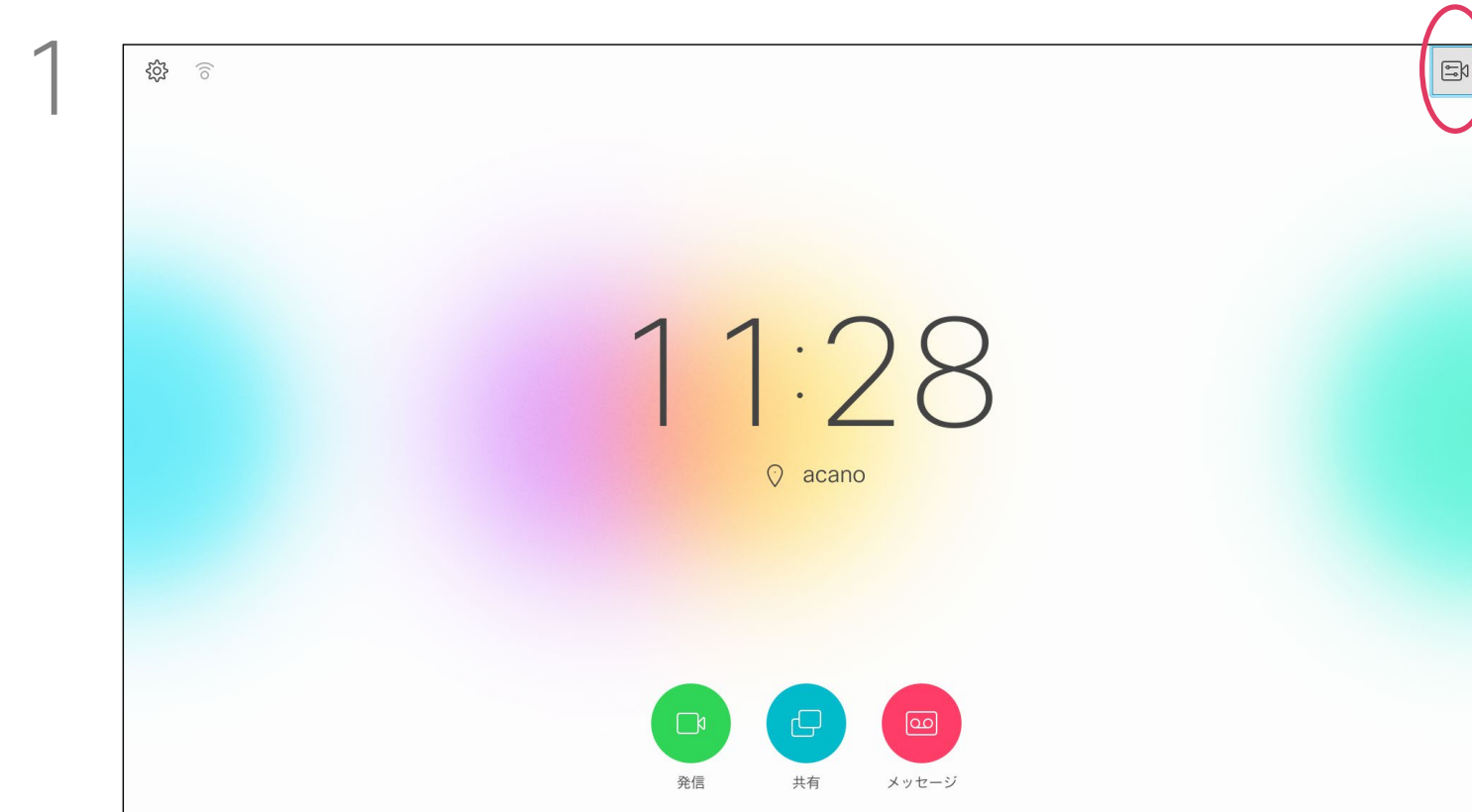
[お気に入り (Favorites)] は、個人用のディレクトリです。エントリーは、社内ディレクトリから追加することも (詳細については前のページを参照)、発信先または着信元から追加することもできます。

カメラ 制御

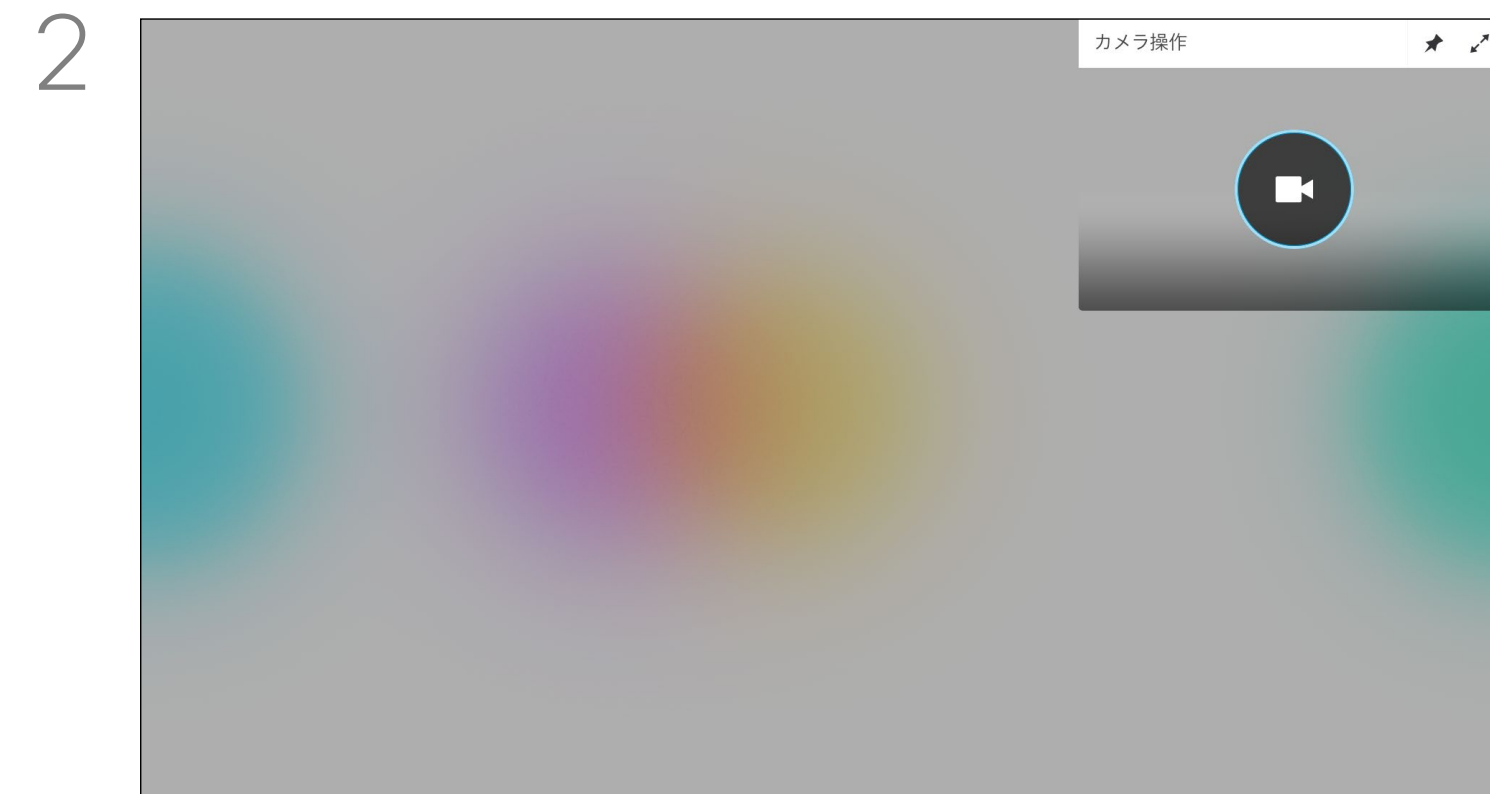


カメラ設定を表示する (ローカル カメラ)

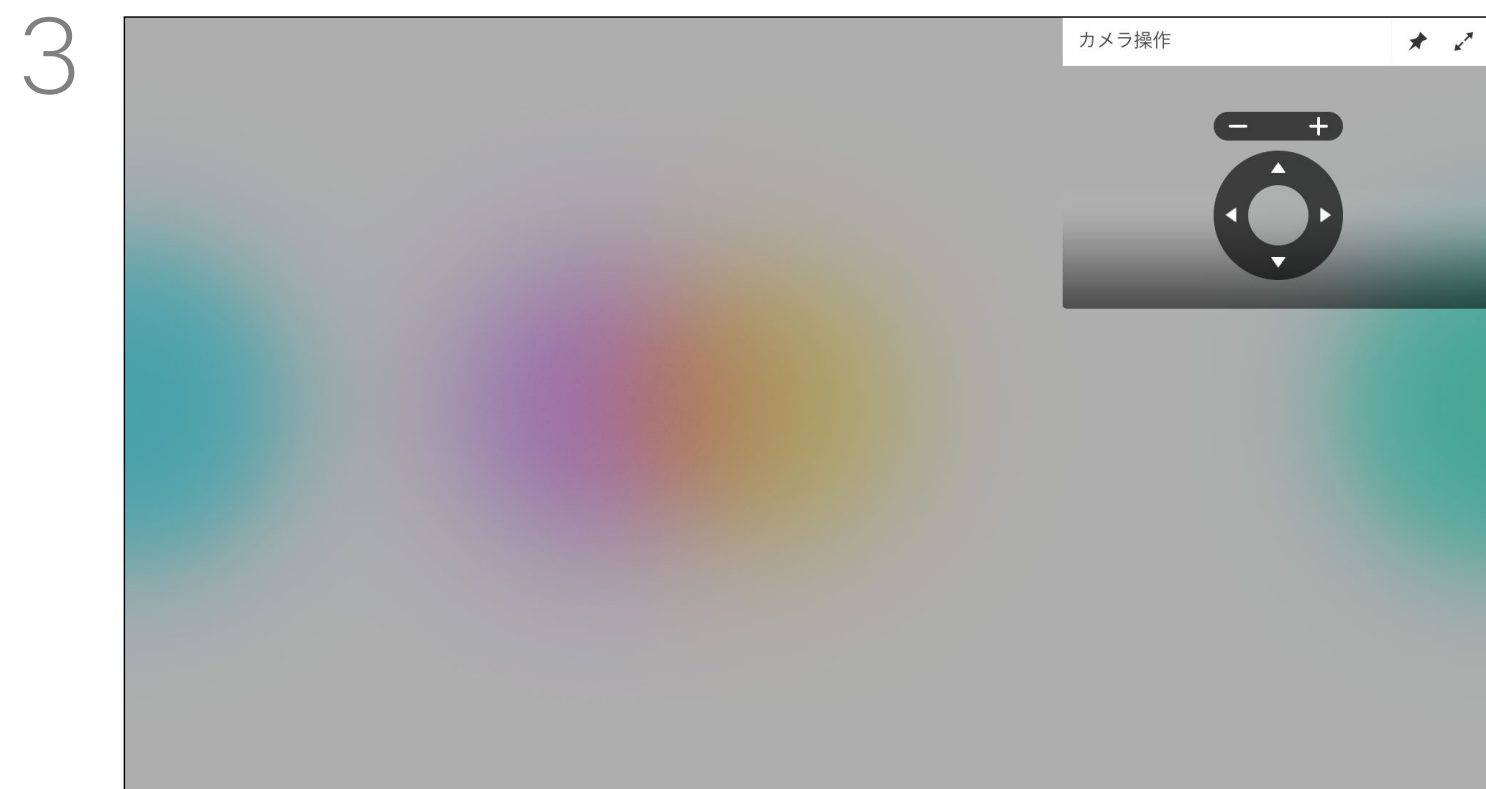
カメラ設定について



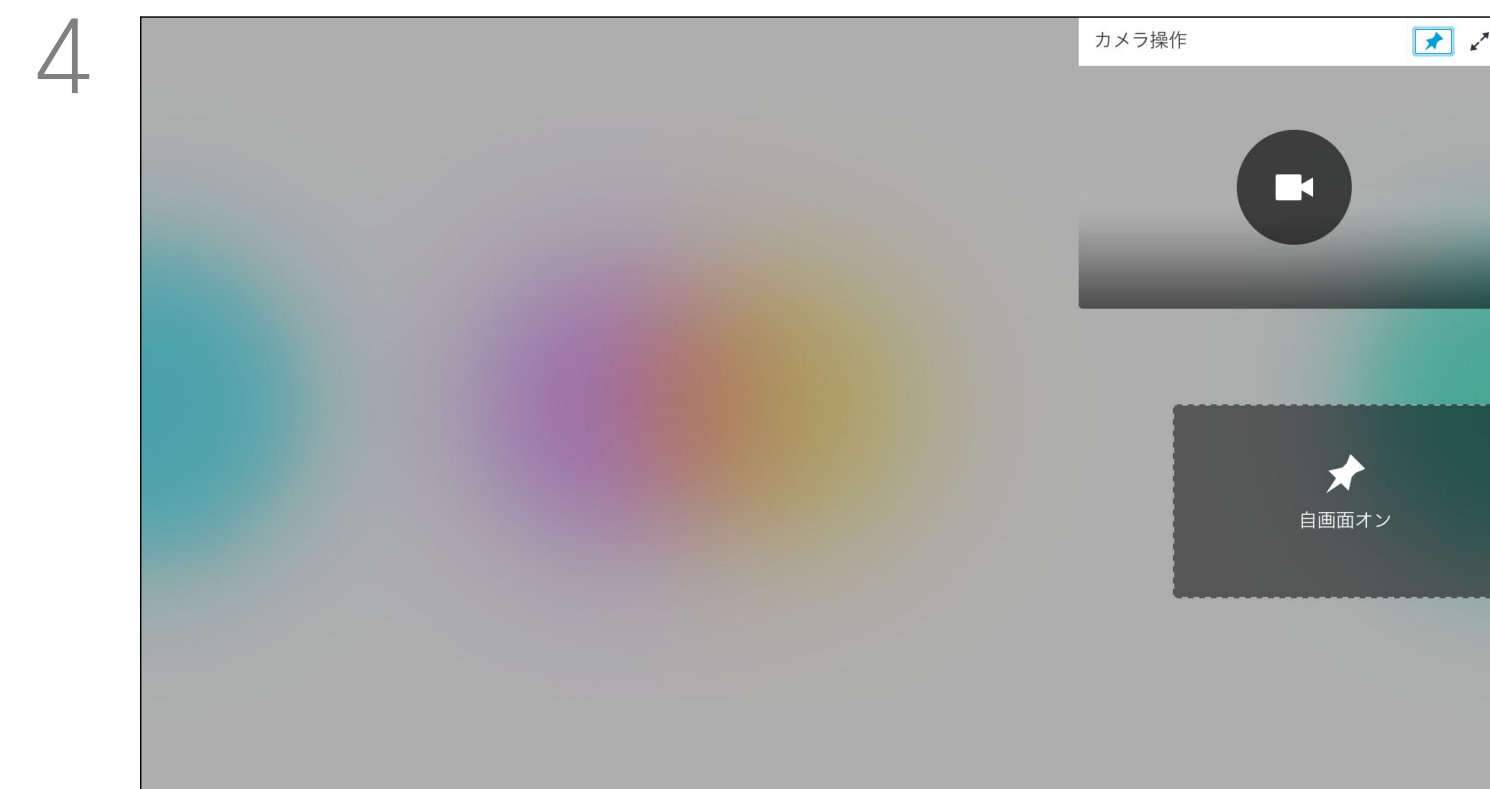
1 通話中または非通話時に (図を参照)、カーソルを右上のカメラアイコンに置きます。リモート コントロールの OKを押します。



2 カメラ アイコンが表示されます。リモート コントロールの OKをもう一度押します。



3 カメラのパン、ズーム、チルトを調整できるようになります。リモート コントロールの増/減コントロールを使用してズームを調整し、方向キーを使用してパンとチルトを調整します。

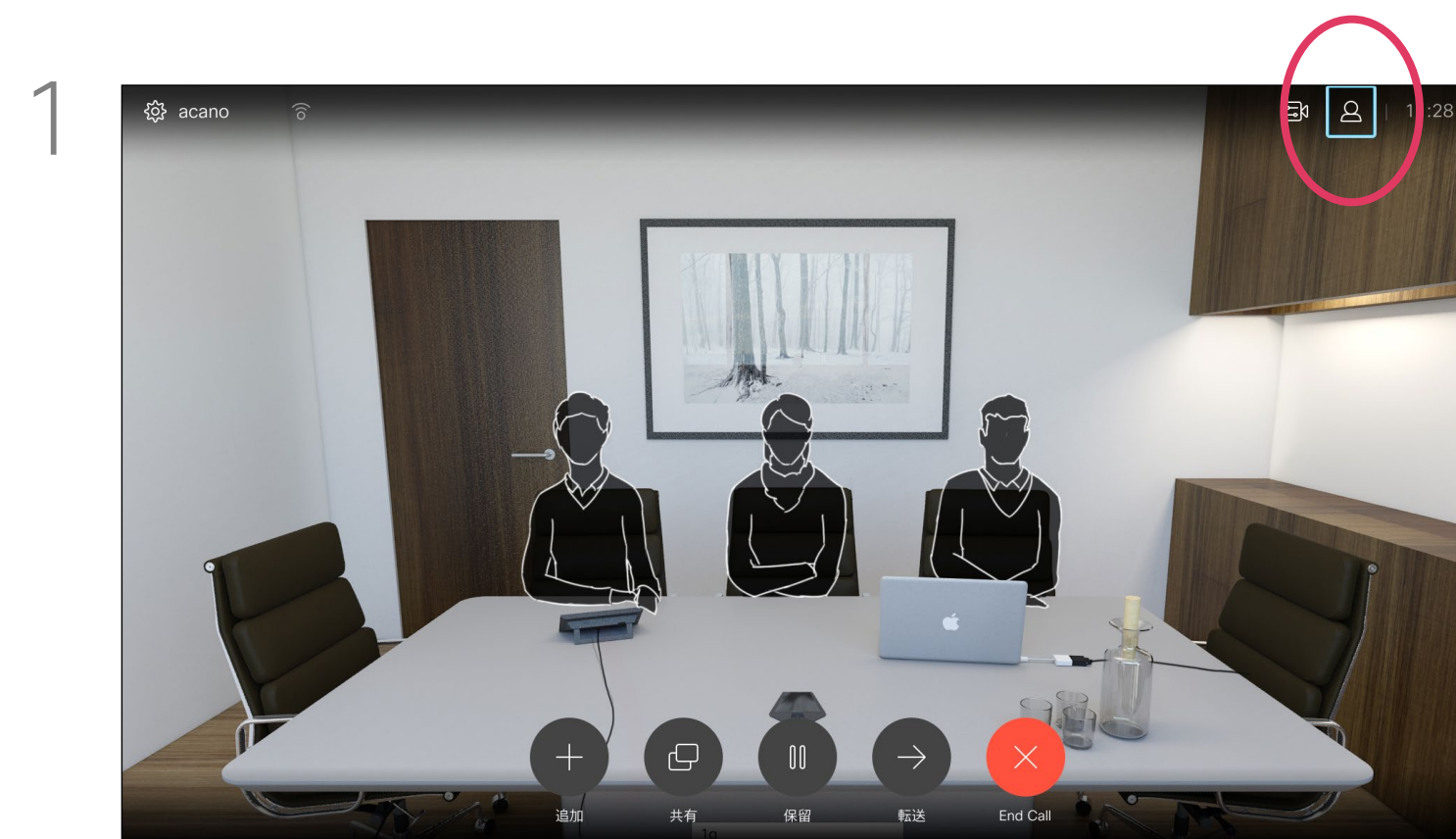


4 また、自画面の固定 (常に表示する) や最大化なども、このメニューの右上にあるアイコンを選択して実行できます。リモート コントロールの戻るを押してメニューを終了します。

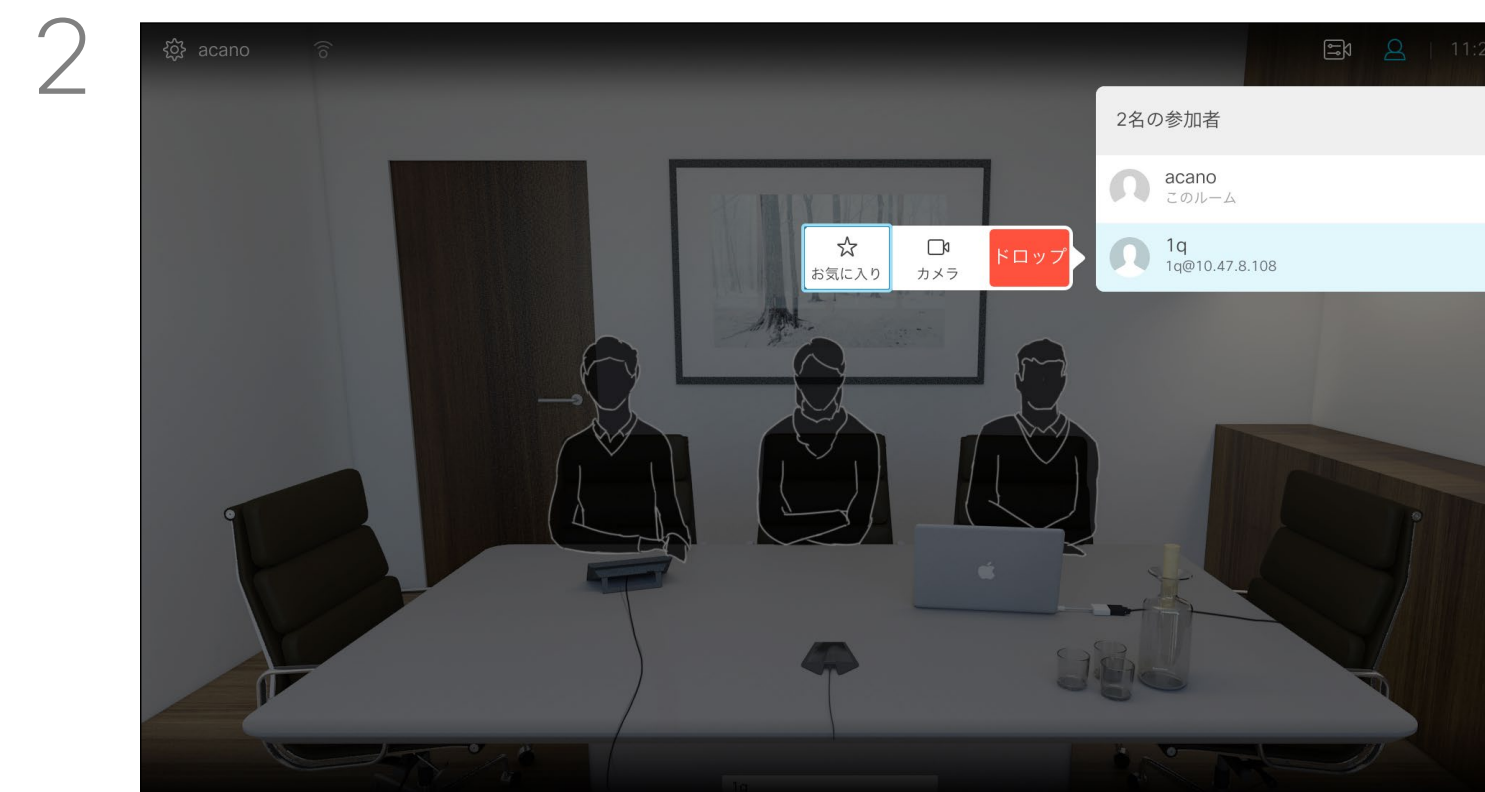
カメラ設定では、カメラのズーム、パン、チルトを制御できます。
 自画面 (他の参加者に表示される画像を自分のシステムに表示する) のオン/オフ、表示の最小化と最大化 (フルスクリーン) の切り替えが可能です。
 自画面は常に表示しておくことができます。これを固定すると言います。

カメラ制御 相手先カメラ制御

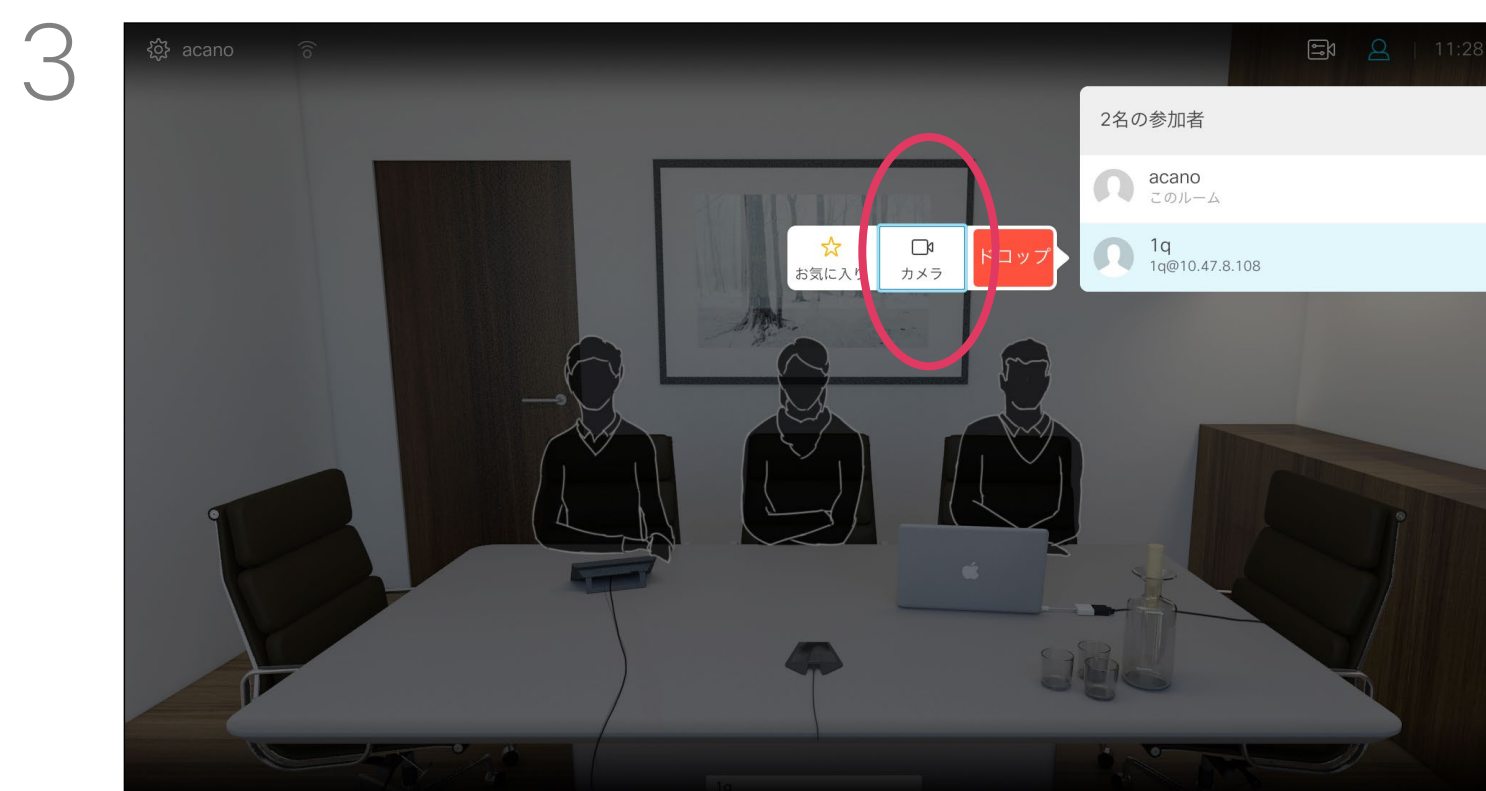
相手先カメラ 制御について



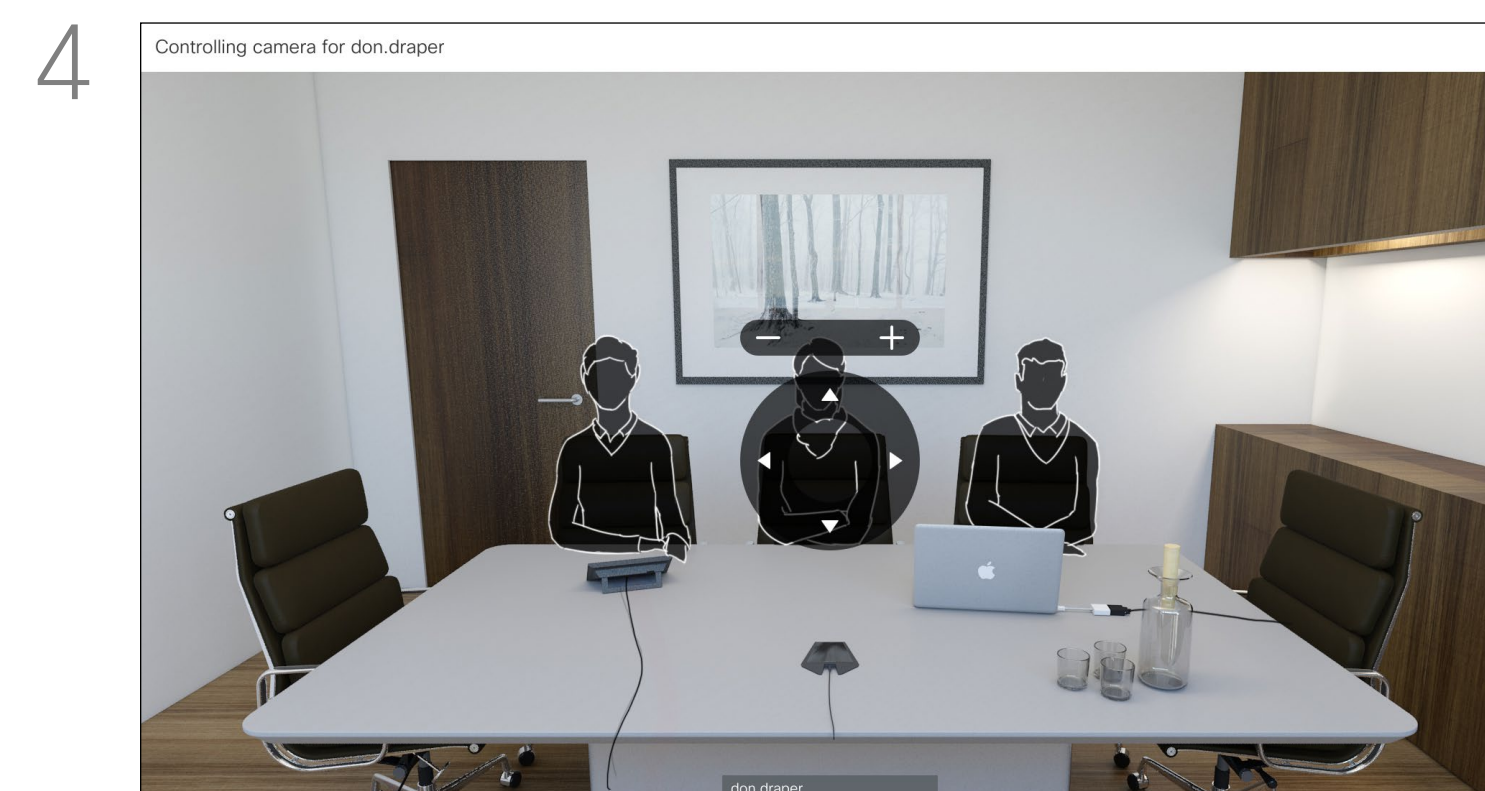
1 右上隅の参加者に移動し、リモートコントロールの OK を押します。



2 通話中の参加者のリストを示すメニューが表示されます。カメラを制御する参加者に移動し、リモートコントロールの OK を押します。サブメニューが表示されます。



3 相手先カメラを制御するには、[カメラ (Camera)]に移動し (右から 2 番目)、リモートコントロールの OK をクリックします。

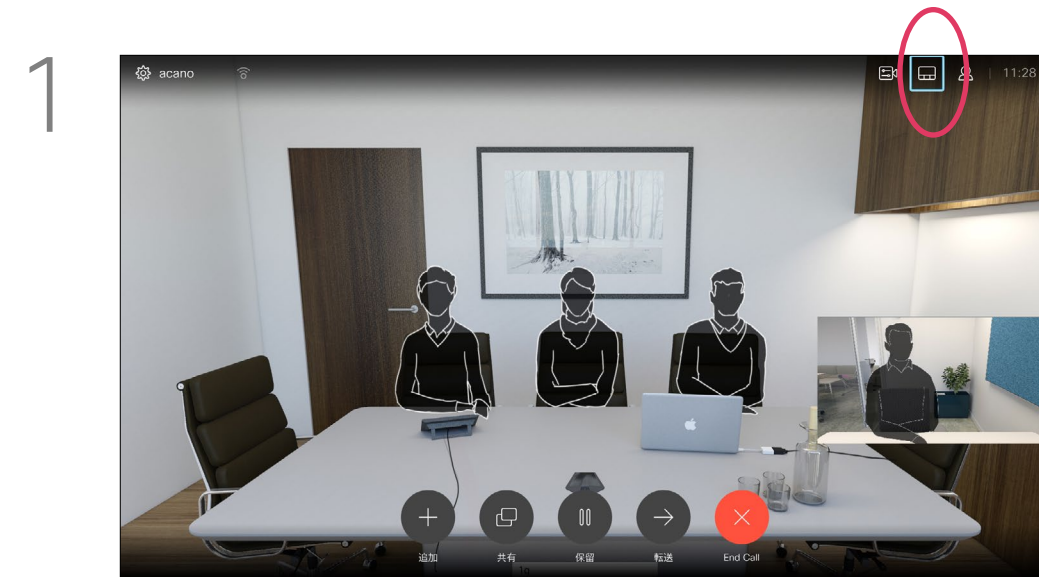


4 好みに応じて、パン、チルト、およびズームの調整をします。リモートコントロールの OK または戻るを使用して終了します。

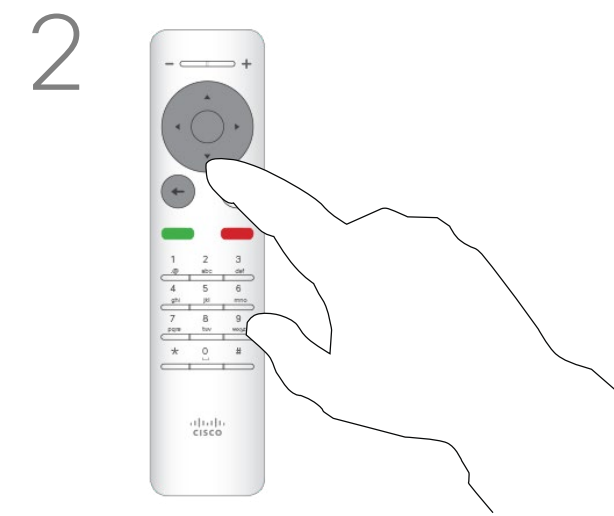
多くのビデオ システムのカメラはリモート制御が可能です。このようなシステムでは、リモート コントロールを使用してパン、チルト、ズームを変更できます。このようなシステムが相手先 (会議の相手) にある場合は、通話中に相手先カメラを制御できます。

カメラ制御 自画面 PiP の移動

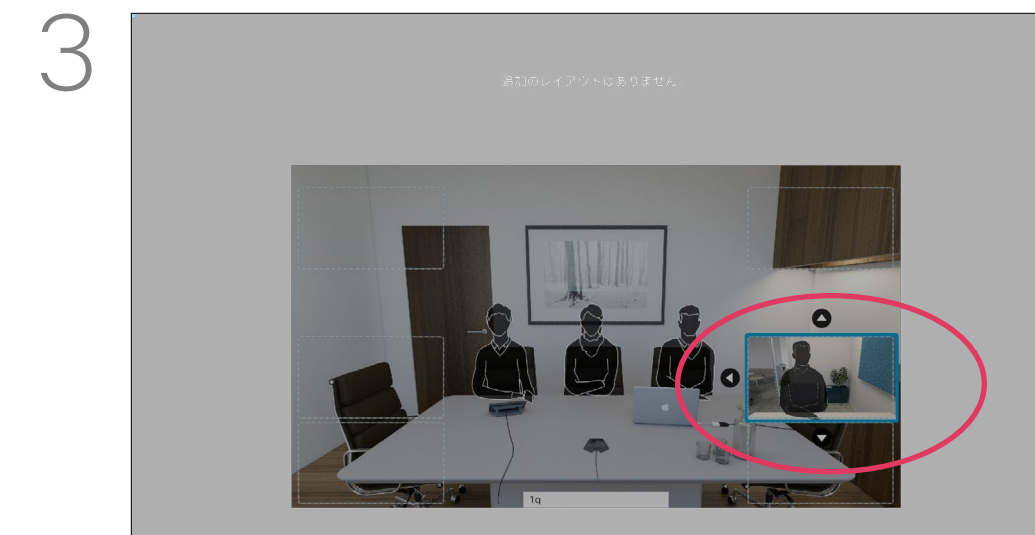
自画面を移動する理由



自画面がアクティブである場合、またはピクチャインピクチャが含まれるレイアウトの場合は、右上隅のレイアウトに移動し、リモートコントロールの OK を押します。レイアウトアイコンは、該当する場合にだけ表示されます。



レイアウトメニューが表示されます。リモートコントロールの下矢印を押して、自画面に移動します。



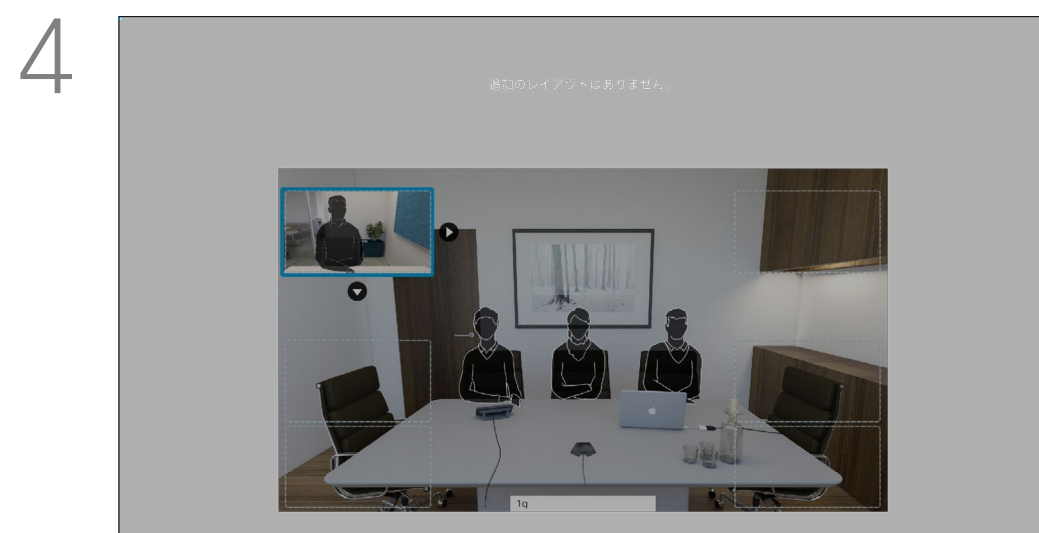
自画面が青色に変わり、選択されていることが表示されます。リモートコントロールの OK を押します。自画面を移動できることを示す矢印が表示されます。新しい位置の候補が表示されます。

自画面には、ビデオシステムから他者に表示される内容が映し出されます。通常は、目的どおりの映像が他者に表示されるかどうかを確認します。

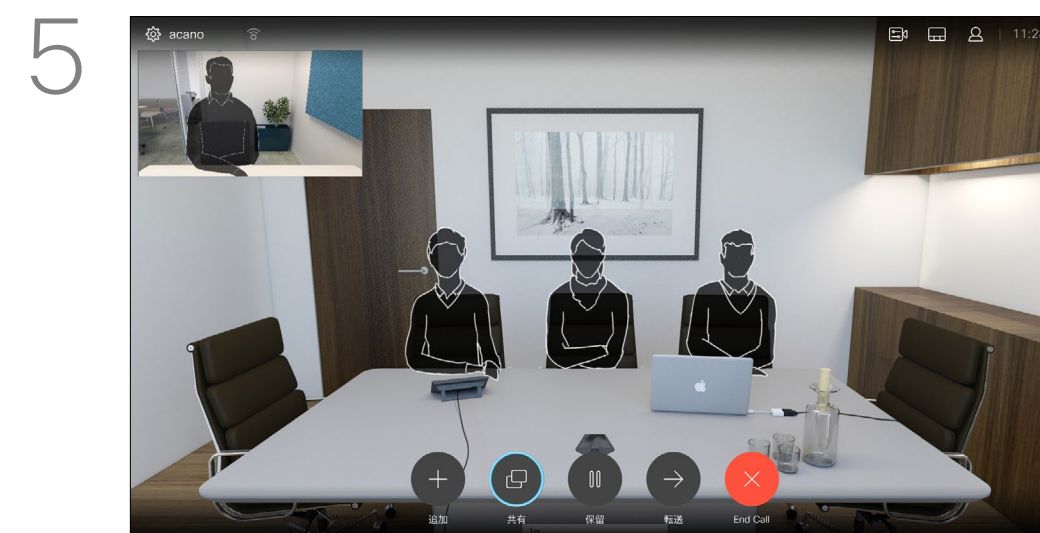
自画面は、PiP (ピクチャインピクチャ) として表示されます。

会議中に、自画面を有効にしたい場合があります。たとえば、自分が画面に映り続けていることを確認するために使用できます。

自画面の現在位置によっては、画面の重要な部分を自画面が覆っているかもしれません。このような場合、自画面を移動できます。

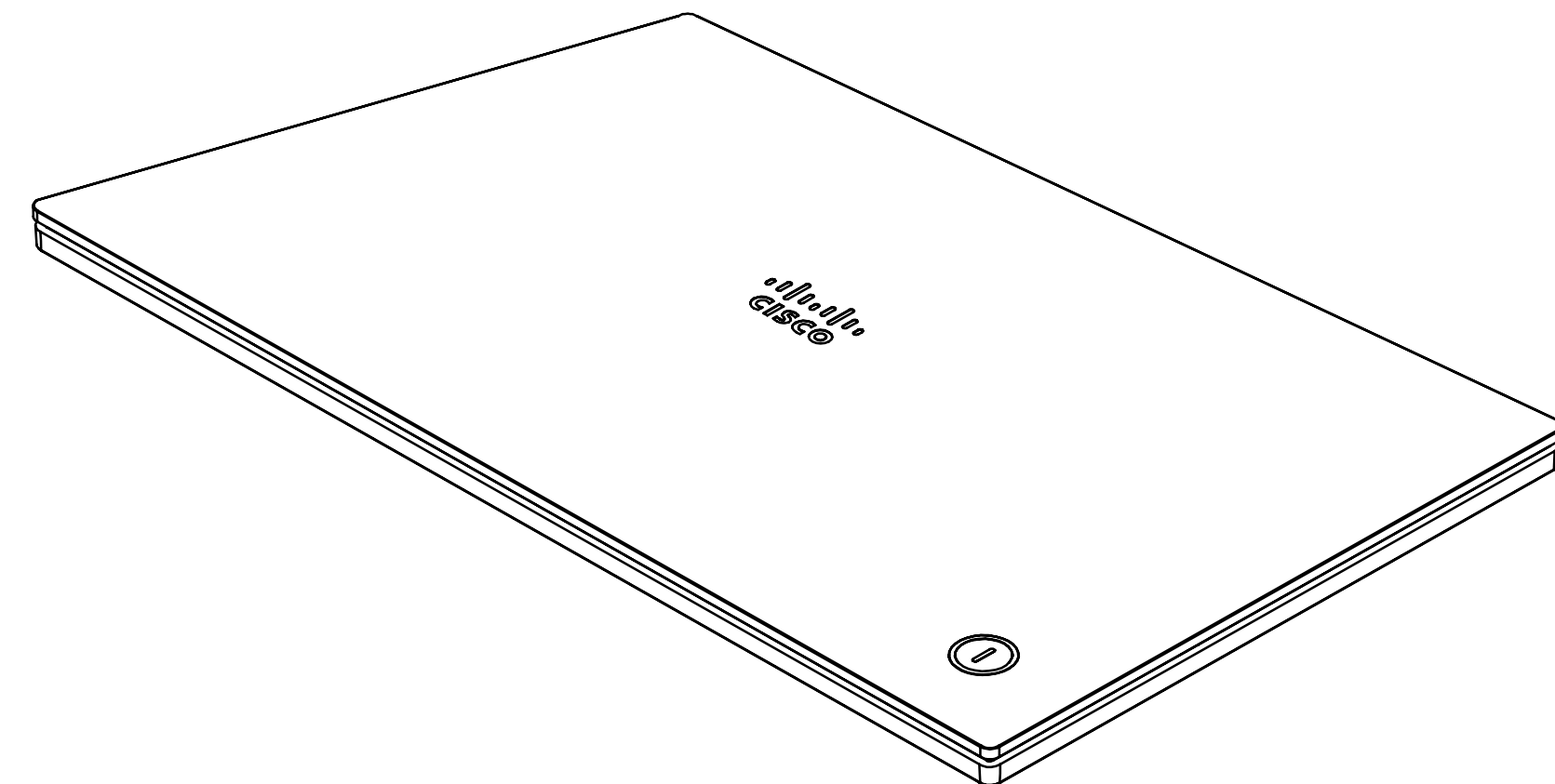
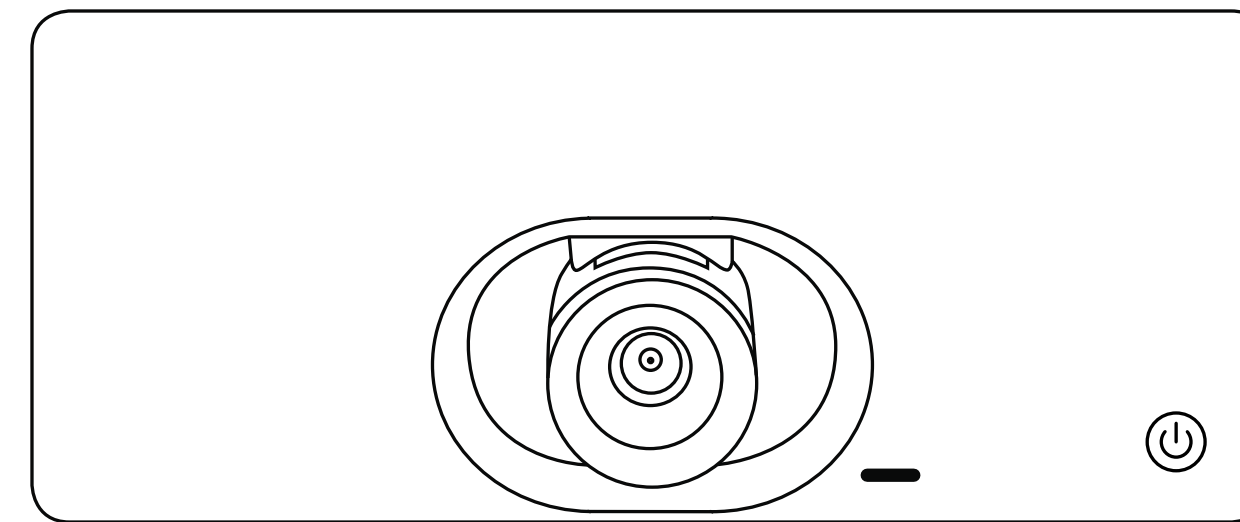


リモートコントロールの方向キーを押して、画像を移動します。終わったら、OKを押します。



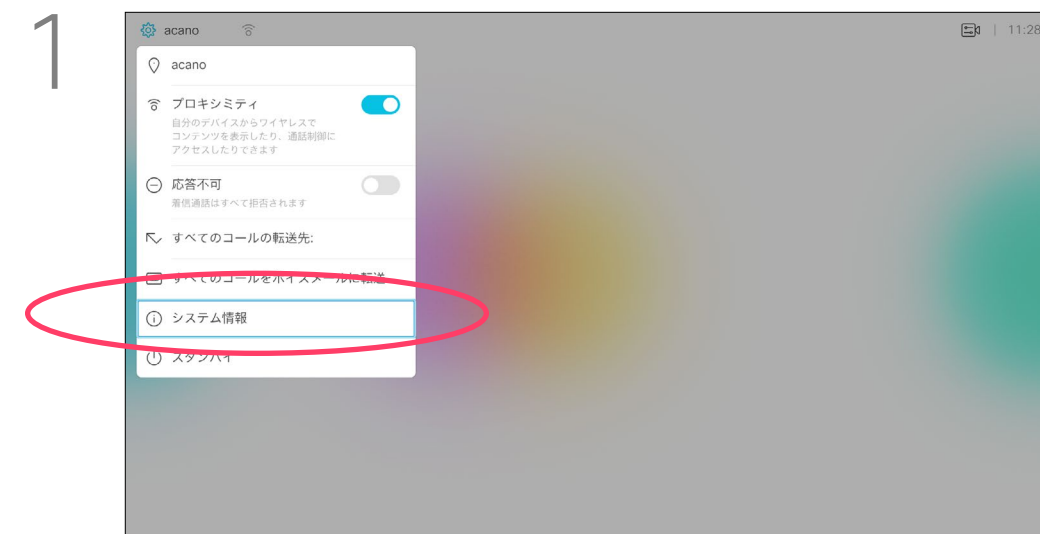
画面上の画像は、自画面の元のサイズのまま新しい位置に表示されます。

設定

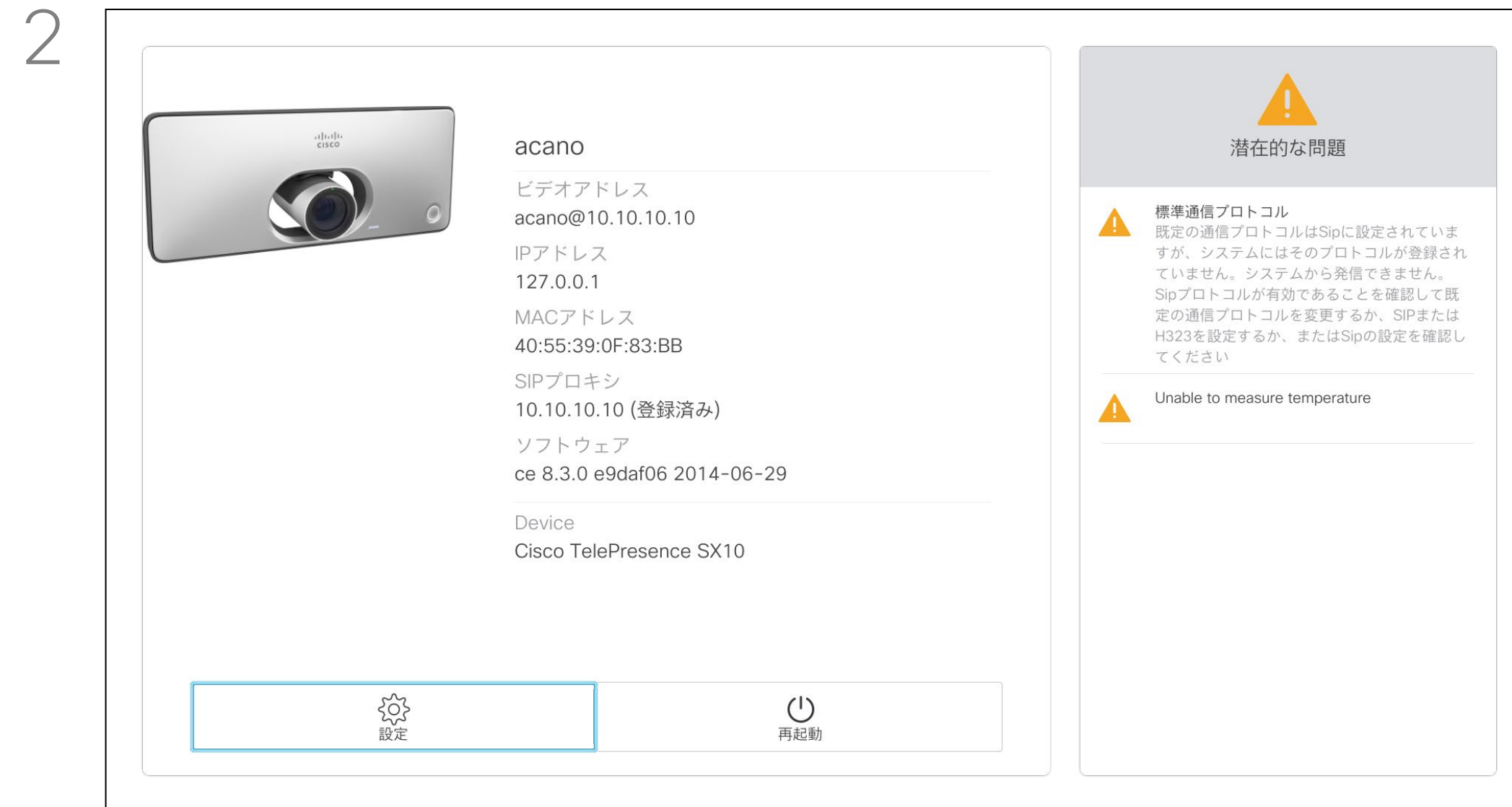


設定 設定にアクセスするには

設定について



1 [設定 (Settings)]メニューにアクセスするには、画面の左上に移動し、リモートコントロールの OK を押します。次に、下にある [システム情報 (System Information)] に移動し (メニューの下から 2 番目)、再度 OK を押します。



2 [設定 (Settings)]にはシステムの基本情報が示されますが、ここではセットアップウィザードにアクセスして、システムを強制的に再起動することもできます。

[システム情報 (System Information)] ページには、IP アドレス、MAC アドレス、SIP プロキシ、インストールされているソフトウェアのバージョン、デバイス名などの情報が表示されます。ここではシステムの再起動ができ、[詳細設定 (Advanced settings)] からセットアップウィザードを使用できます。

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2016年11月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先